

トヨタの概況 2004

データで見る世界の中のトヨタ



TOYOTA

はじめに

本年も広報資料『トヨタの概況 2004』をお届けいたします。

当社は昨年、国内外での積極的な商品投入、海外で初めてとなるレクサス車のカナダでの生産開始や各地域での現地生産の拡大、グループを挙げた原価低減努力など、さまざまな分野で着実に諸施策を展開しました。さらに、国内のチャンネル再編について発表し、また、経営体制の刷新を行うなど、中期的な将来を見据えた取り組みについても着手いたしました。

その結果、昨年は、グループ全体で初めて650万台、またトヨタ単独でも初めて600万台を上回る世界販売を達成するとともに、決算でも売上、利益とも過去最高を更新することができました。海外販売につきましては、当面の目標としておりました、北米での年間販売200万台、欧州での年間販売80万台を、いずれも昨年達成し、また、海外トータルでも初めて400万台の大台を突破いたしました。

また、環境対応につきましては、昨年の秋には日米を皮切りに、新型プリウスの販売を開始いたしました。トヨタではプリウスのほか、エスティマやアルファード、日野との共同開発のトラックなど、これまで国内外あわせて約18万台のハイブリッド車を販売してまいりました。「環境への対応なくして自動車の未来はない」との考えのもと、これからもさらに広く深く取り組みを進めてまいります。

かねてより当社では「世界規模での競争に勝ち抜き、21世紀も成長を続ける企業でありたい」との思いを念頭に置いておりますが、同時に、私ども一人ひとりが企業人として果たすべき社会的責任の重さを改めて認識し、「豊かな社会づくりに貢献し、世界に信頼されるグローバル企業」をめざしてまいります。

当資料では会社概要、研究開発、世界各地での事業展開、環境や安全への対応、社会貢献活動など昨年のこうした企業活動を幅広く紹介いたしました。当社の企業活動をご理解いただく一助として、当資料をご活用いただければ幸いです。

2004年4月
トヨタ自動車株式会社 広報部

当資料は当社のホームページ「TOYOTA INTERNET DRIVE」にもPDF形式で掲載しています。頁イメージのままダウンロードしてご覧いただけます。

http://www.toyota.co.jp/jp/about_toyota/

トヨタの概況 2004・総目次

会社概要 ●	
アウトライン ●	2
基本理念 ●	3
主な新製品 ●	6
技術開発の歴史 ●	7
研究・開発 ●	8
生産・販売・輸出 ●	
海外生産拠点等一覧 ●	10
地域別生産・販売台数／地域別・車名別輸出台数 ●	12
北米での活動 ●	13
中南米での活動 ●	14
ヨーロッパでの活動 ●	15
アフリカでの活動 ●	16
アジアでの活動 ●	17
オセアニア・中近東での活動 ●	18
海外子会社等からの完成車・部品輸出 ●	19
国内の生産・販売体制 ●	20
車名別国内生産台数 ●	22
車名別国内登録台数 ●	23
国内販売車両一覧 ●	24
環境対策 ●	26
安全対策 ●	29
ITS ●	32
ウェルキャブ ●	34
GAZOO ●	35
モータースポーツ ●	36
自動車部品 ●	37
トヨタレンタリース ●	38
U-Car (中古車) ●	39
住宅事業 ●	40
金融事業 ●	41
主な出資会社 ●	
国内出資会社 ●	42
海外出資会社 ●	45
社会貢献活動 ●	48
沿革 ●	52
データ編 ●	55

■会社概要

会社名	トヨタ自動車株式会社 (TOYOTA MOTOR CORPORATION)
創立	1937年(昭和12年)8月28日

注) 2003年3月末現在、従業員数は就業人員数を記載。

従業員数	65,551人 (連結会社合計 264,096人)
資本金	3,970億円

■連結ベース

■経営状況(日本基準)

(1億円未満切捨)

	平成14年3月期 (13.4~14.3)	平成15年3月期 (14.4~15.3)	平成15年9月中間期 ^{※2} (15.4~15.9)
売上高	151,062億円	160,542億円	82,242億円
営業利益	11,234億円	13,636億円	7,677億円
当期純利益	6,158億円	9,446億円	5,244億円
株主資本当期純利益率	8.5%	12.8%	—
設備投資 ^{※1}	9,403億円	9,935億円	4,214億円
研究開発	5,925億円	6,716億円	3,046億円
連結子会社数	564社	581社	561社
持分法適用会社数	50社	51社	54社

注) ※1 リース車両除く。 ※2 米国基準。

■生産実績

		平成14年3月期 (13.4~14.3)	平成15年3月期 (14.4~15.3)	平成15年9月中間期 (15.4~15.9)
車 両 (新 車)	国内	4,029千台	4,162千台	2,023千台
	海外	1,375千台	1,821千台	1,041千台
	合計	5,404千台	5,983千台	3,064千台
	住宅	3,095戸	3,574戸	2,274戸

■販売実績

		平成14年3月期 (13.4~14.3)	平成15年3月期 (14.4~15.3)	平成15年9月中間期 (15.4~15.9)
車 両 (新 車)	国内	2,217千台	2,218千台	1,082千台
	海外	3,568千台	4,028千台	2,089千台
	合計	5,785千台	6,246千台	3,171千台
	住宅	3,685戸	4,021戸	2,169戸

■単独ベース

■経営状況(日本基準)

(1億円未満切捨)

	第98期 (13.4~14.3)	第99期 (14.4~15.3)	第100期前半期 (15.4~15.9)
売上高	82,849億円	87,393億円	43,021億円
経常利益	7,689億円	8,926億円	5,105億円
当期純利益	4,702億円	6,340億円	3,380億円
株主資本当期純利益率	8.3%	11.2%	—

■生産実績

		第98期 (13.4~14.3)	第99期 (14.4~15.3)	第100期前半期 (15.4~15.9)
車両(新車)国内	3,364千台	3,513千台	1,682千台	
車両(新車)海外	1,833千台	2,215千台	1,302千台	

■販売実績

		第98期 (13.4~14.3)	第99期 (14.4~15.3)	第100期前半期 (15.4~15.9)
車両(新車)国内	1,720千台	1,724千台	830千台	
車両(新車)海外	1,708千台	1,835千台	890千台	
住宅	3,095戸	3,577戸	1,951戸	

■車両生産・販売・輸出台数(暦年)

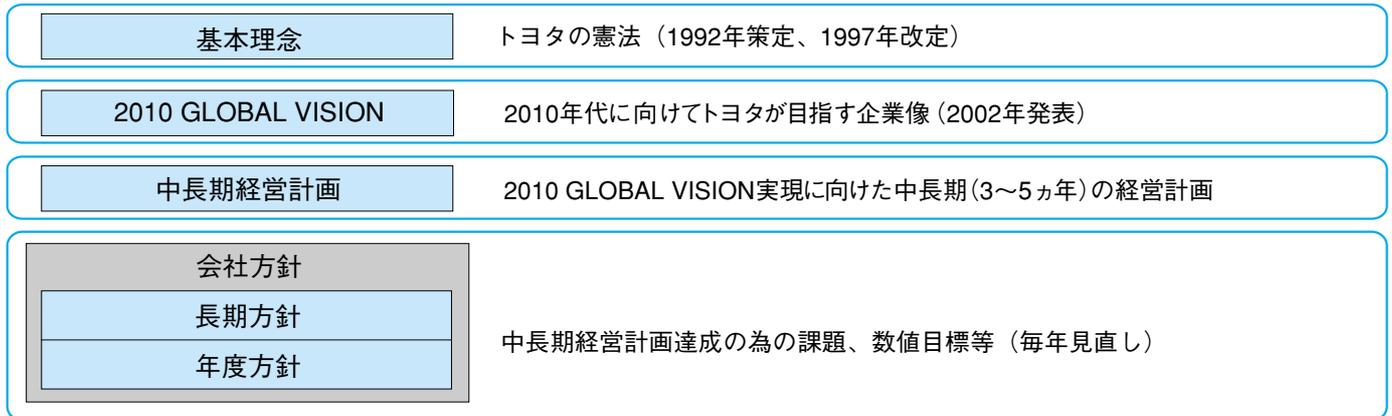
(単位:台)

		2002年(平成14年)				2003年(平成15年)			
		トヨタ	ダイハツ	日野	合計	トヨタ	ダイハツ	日野	合計
生産台数	国内	3,485,162	599,541	54,170	4,138,873	3,520,317	641,236	83,114	4,244,667
	海外	2,155,221	19,914	—	2,175,135	2,557,979	23,520	—	2,581,499
	合計	5,640,383	619,455	54,170	6,314,008	6,078,296	664,756	83,114	6,826,166
販売台数	国内	1,680,479	504,630	33,215	2,218,324	1,715,908	541,854	47,873	2,305,635
	海外	3,838,281	88,173	22,925	3,949,379	4,354,728	89,842	33,258	4,477,828
	合計	5,518,760	592,803	56,140	6,167,703	6,070,636	631,696	81,131	6,783,463
日本からの輸出		1,816,785	76,109	22,925	1,915,819	1,836,008	83,848	33,258	1,953,114

注) 国内生産:完成車+KD(国内ラインオフベース)。
国内販売:登録+届出(海外生産車含む)。
輸出:完成車+KD。
海外生産:KDを除く海外生産(現地ラインオフベース)。

トヨタは、21世紀が社会にとって真に豊かなものであることを願い、人や社会、地球環境、世界経済との調和を図りつつ、モノづくり、車づくりを通して、お客様、株主、社員、取引先の方々等、関わりある多くの人々とともに成長していくことを目指しています。

■基本理念、ビジョン、会社方針の位置づけ



■トヨタ基本理念

- 内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民をめざす。
- 各国、各地域の文化、慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する。
- クリーンで安全な商品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて、住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む。
- 様々な分野での最先端技術の研究と開発に努め、世界中のお客様のご要望にお応えする魅力あふれる商品・サービスを提供する。
- 労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる。
- グローバルで革新的な経営により、社会との調和ある成長をめざす。
- 開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する。

■長期経営方針

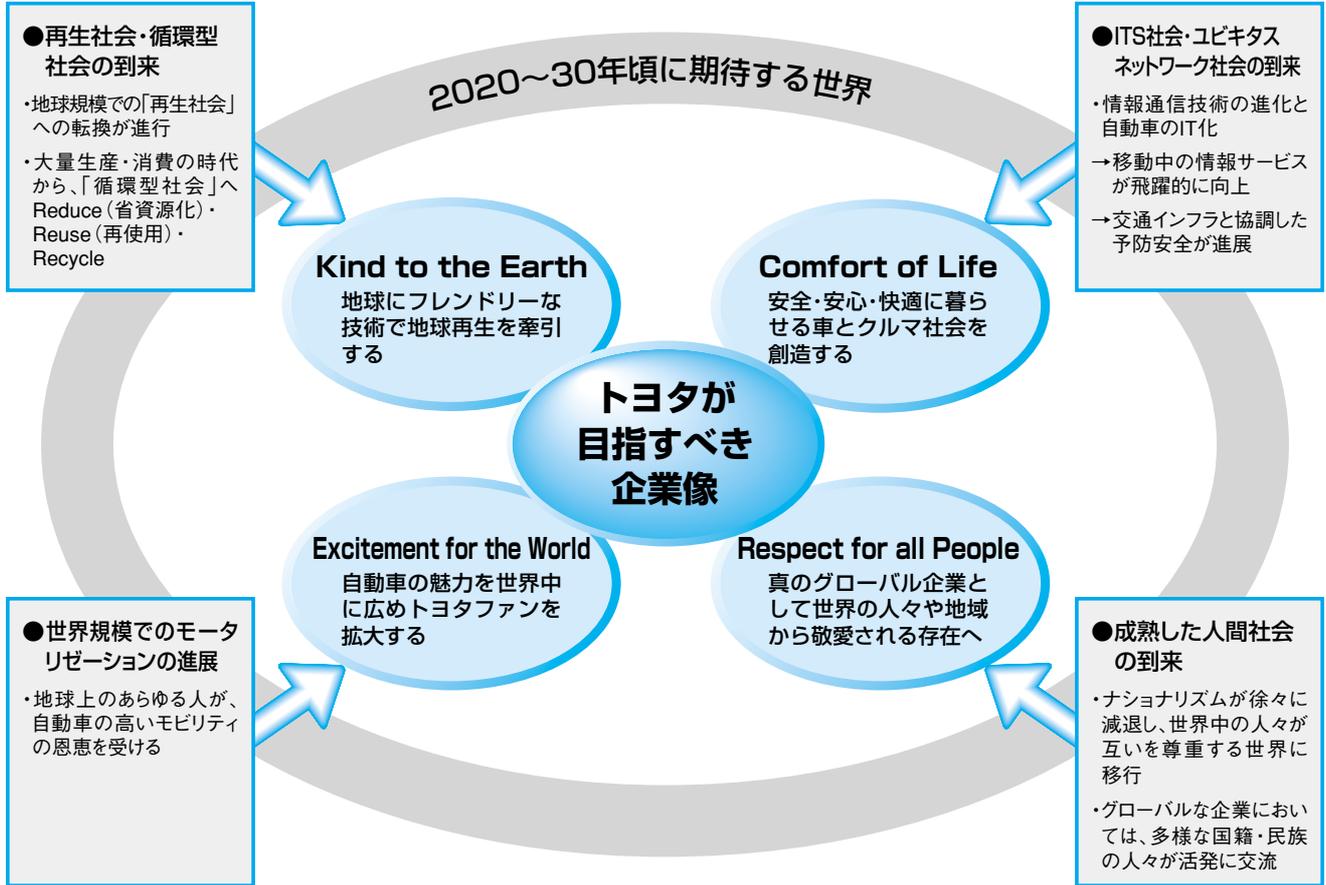
- 地球環境保全を使命とし、安全・快適・利便性を提供することで、自動車事業の成長を図る
- 将来の成長に向けた自動車に次ぐコア事業の開発・育成と既存事業の見直し
- 経営環境の構造的変化に対応した、新たなグループ体制づくりと人を育てる文化の継承
- 需要変動・為替変動に対応しうる安定的収益構造の構築
- 国際社会における企業市民としての社会活動の充実

■2004年度会社方針

- 成長と効率の両立を目指したグローバル事業戦略の取り組み強化
- マネジメントのグローバル化・高度化と活力ある職場づくり
- グループの総力を結集した2004年度収益確保

2010年グローバルビジョンの概要

●トヨタが目指すべき企業像



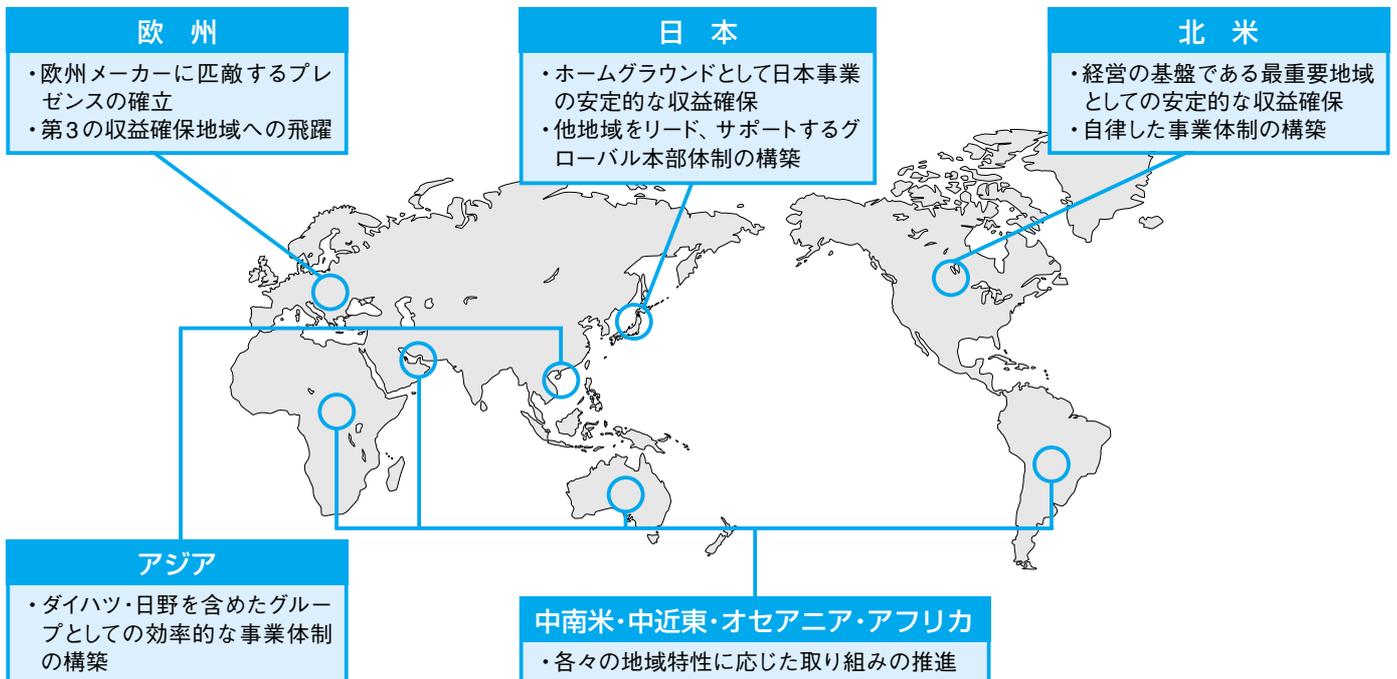
●2010年グローバルビジョン

Innovation into the Future

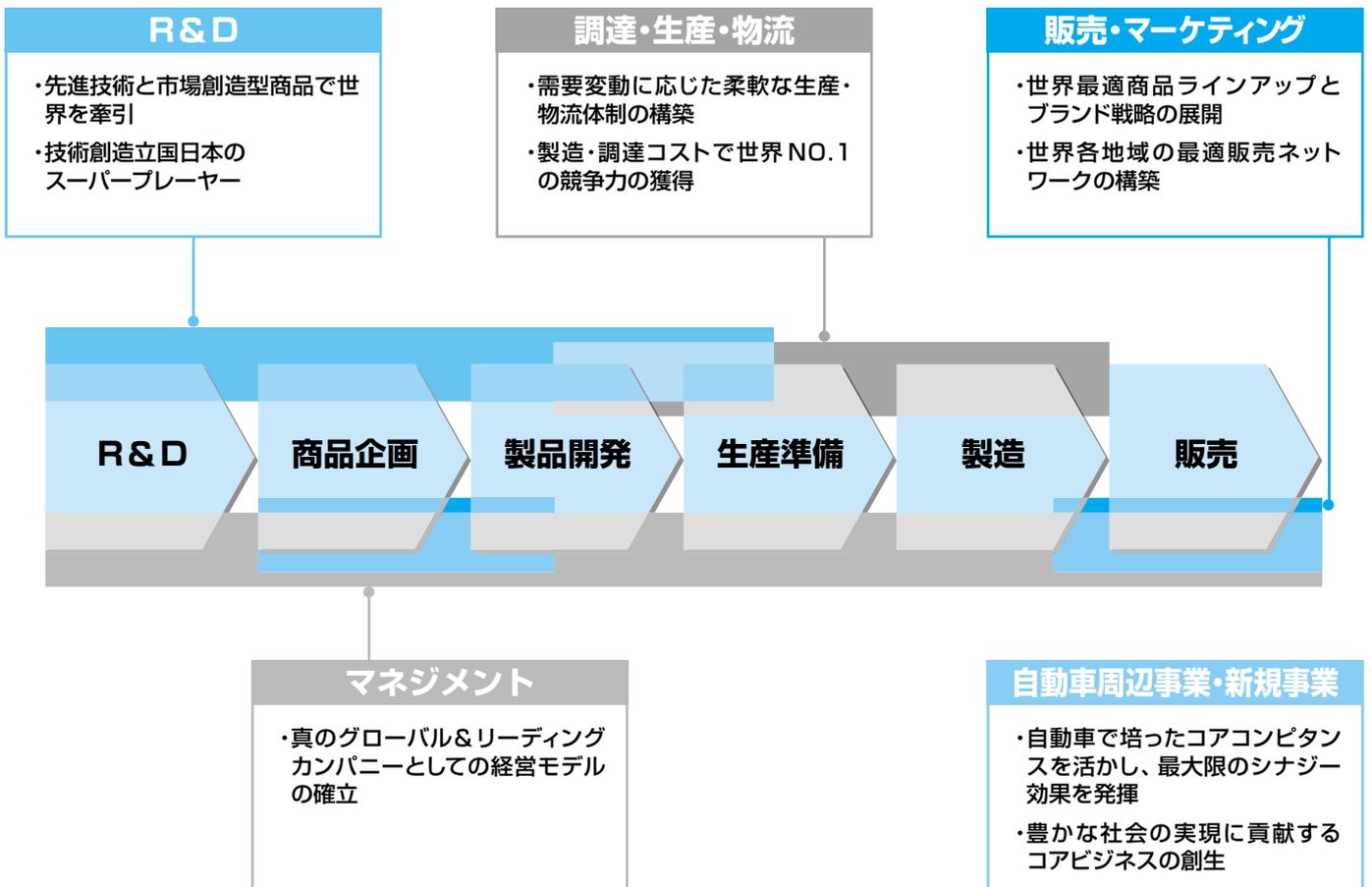
～ 豊かな社会創りに情熱をかけて ～

創業以来の精神である「モノづくり、車づくりを通して社会に貢献する」ということの意味を今一度かみしめ、強い情熱と高い志を持って、『豊かな新世紀社会を実現する』ために邁進する。

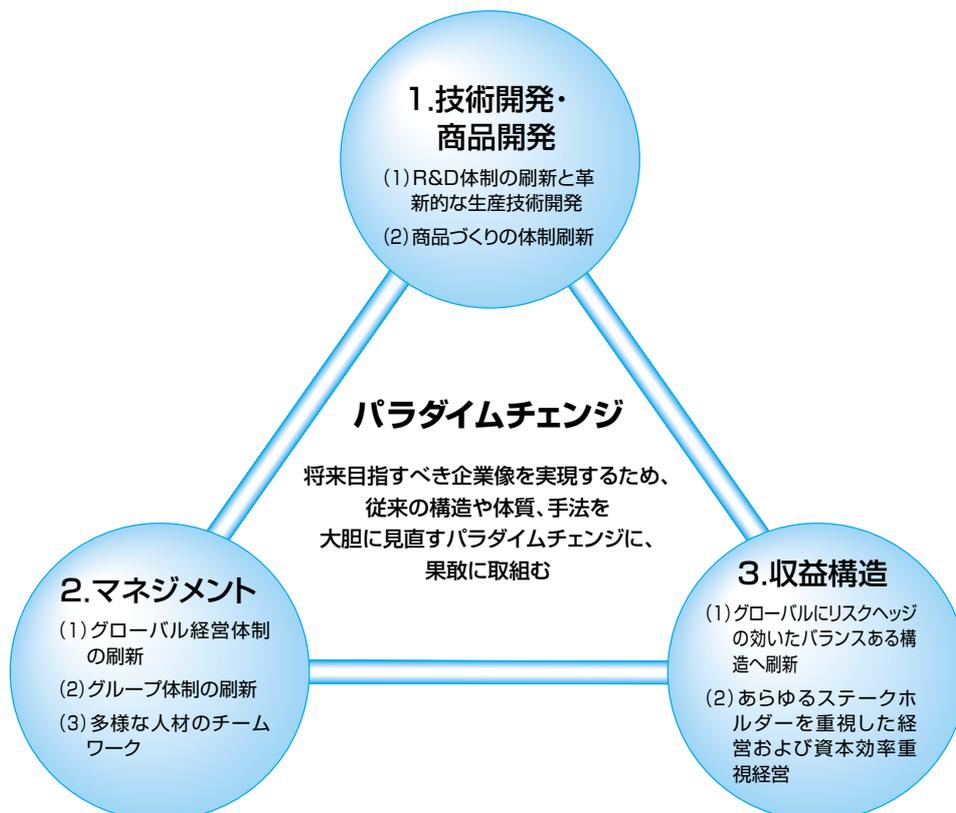
〈地域軸ビジョン〉



〈機能軸ビジョン〉



●目指すべき企業像を実現するためのパラダイムチェンジ



主な新製品

発売時期		製品
2003年	2月	新世代ラグジュアリーSUV「ハリアー」 「H」(エッジ)*対応オリジナル端末「びびっとフォン」2003年モデル *全国で利用可能な高品質かつクリアな通話を実現する音声通信端末
	4月	鉄骨ユニット工法生活提案型住宅 「シンセ・スマートステージL」
	5月	クルマづくりにおけるユニバーサルデザインを具現化した「新型ラウム」 ナビゲーション新モデル(計10機種)

発売時期		製品
2003年	7月	鉄骨軸組立法の都市型2階建て住宅「エスパシオ EFアーバンwind」
	8月	マルチパーパスのプレジャーボート「PONAM-28 II」「PONAM-28G II」
	9月	ハイブリッド乗用車「新型プリウス」
		7人乗りコンパクトミニバン「シエンタ」
	10月	欧州車と日本車の価値観を融合させた新型車「アベンシス」
		屋上緑化に適したクチナシの新品種「ヴァルト」
12月	主要コンポーネントを一新した「新型クラウン」	



●2003年2月
新世代ラグジュアリーSUV「ハリアー」



●2003年2月
「H」(エッジ)対応オリジナル端末「びびっとフォン」
(2003年モデル)



●2003年4月
鉄骨ユニット工法生活提案型住宅
「シンセ・スマートステージL」



●2003年5月
クルマづくりにおけるユニバーサルデザインを具現化した「新型ラウム」



●2003年5月
HDDナビ TV DVDチューナー(M)



●2003年7月
鉄骨軸組立法都市型2階建て住宅
「エスパシオ EFアーバンwind」



●2003年8月
マルチパーパスのプレジャーボート
「PONAM-28 II」「PONAM-28G II」



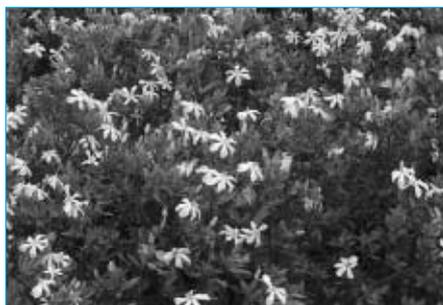
●2003年9月
ハイブリッド乗用車「新型プリウス」



●2003年9月
7人乗りコンパクトミニバン「シエンタ」



●2003年10月
欧州車と日本車の価値観を融合させた
新型車「アベンシス」



●2003年10月
屋上緑化に適したクチナシの新品種「ヴァルト」



●2003年12月
主要コンポーネントを一新した「新型クラウン」

技術開発の歴史

トヨタは、お客様のニーズにお応えしながら環境にやさしく、安全性、走行性、快適性、信頼性などの要素を高度にバランスさせた自動車の開発に努めています。

トヨタの技術開発の歴史（1985～、凡例：▲……環境対策関連技術 ●……安全対策関連技術）

年	1985～89	1990～1999	2000～
エンジン	<ul style="list-style-type: none"> ・油圧駆動ファン ・ハイメカDOHCエンジン(シザーズギア) ・ミッドシップ ・セラミックターボ 	<ul style="list-style-type: none"> ▲スモークレスディーゼルエンジン ▲連続可変バルブタイミング&可変リフト機構(VVTL-i) ●電子制御スロットル ▲ディーゼルスモークコントロールシステム(DSCS) ▲連続可変バルブタイミング機構(VVT-i) ●アルミクランクダンパーブーリー ▲4弁直噴ディーゼル ▲コモンレール式直噴ディーゼターボエンジン(D-4D) ●レーザークラッドシリンダヘッド ▲高効率直噴ガソリンエンジン(D-4) ●5バルブエンジン ●窒素チタンコートシム ▲新世代希薄燃焼エンジン ▲燃料電池電気自動車(FCEV) ▲トヨタハイブリッドシステム(THS) 	<ul style="list-style-type: none"> ▲TOYOTA STOP AND GO SYSTEM ▲燃料電池ハイブリッド車(FCHV-4,FCHV-5) ▲燃料電池ハイブリッド車(トヨタFCHV) ▲トヨタハイブリッドシステム(THS-C,THS-M,THS-II) ▲トヨタインテリジェントアイリングストップシステム ▲ディーゼルハイブリッドシステム
駆動・制動 足廻り	<ul style="list-style-type: none"> ●4WS ●アクティブコントロールサスペンション ●トラクションコントロール(TRC) 	<ul style="list-style-type: none"> ●6速M/T ▲フレックスロックアップシステム ●アクティブ4WS ●車両安定性制御システム(VSC) ●スーパーストラットサスペンション ●ブレーキアシスト ●ロータリートリプレッドカップリング ▲Super CVT ●5速オートマチックトランスミッション ●車両総合制御システム(i-four) ●ARS 	<ul style="list-style-type: none"> ●ランフラットタイヤ ●新工法タイヤ ●電子制御ブレーキシステム(ECB) ●プリクラッシュブレーキアシスト ▲電気式4輪駆動システム(E-Four)
ボディ	<ul style="list-style-type: none"> ●SRSエアバッグ ●ガルウイングドア ●超音波雨滴除去ドアミラー ●サイドエアビーム ●サイドウインドワイパー 	<ul style="list-style-type: none"> ●UVカットアガラス ●はっ水ドアガラス ●スーパーオレフィンバンパー ●新衝突安全ボディ(GOA) ●SRSカーテンシールドエアバッグ ●助手席エアバッグ ●SRSサイドエアバッグ ●フォースリミッター付きシートベルト ▲塗装補修バンパーリサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> ●パワーバックドア ●助手席デュアルステージSRSエアバッグ ●運転席デュアルステージSRSエアバッグ ●プリクラッシュシートベルト ●電動開閉式メタルトップシステム ●前後席SRSカーテンシールドエアバッグ ●運転席SRSニーエアバッグ ●歩行者傷害軽減ボディ
電子・電気	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタルシグナルプロセッサ ●CRT付エレクトロマルチビジョン ●CDインフォメーション ●クリアランスソナー 	<ul style="list-style-type: none"> ●マルチゾーンオートエアコン ●GPSナビゲーション ●ヘッドアップディスプレイ ●CCD式バックモニター ●GPSボイスナビゲーション ▲燃焼圧センサー ●タイヤ空気圧警報システム ●ブラインドコーナーモニター ●レーダークルーズコントロール 	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートキーシステム ●ナイトビュー ●インテリジェントAFS ●音声ガイダンス機能付バックガイドモニター ●G-Book ●プリクラッシュセーフティ ●フロント&サイドモニター ●マイナスイオン発生装置 ●インテリジェントパーキングアシスト ●AC100Vコンセント
材料	<ul style="list-style-type: none"> ●外装塗料(MIOカラー、グラファイトカラー、アーゼンタムマイカ) ▲メタル担体触媒 ●マグネシウムステアリングホイール ●複合機能ファブリック 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ディーゼル酸化触媒 ▲内装用高性能樹脂(TSOP-5) ●樹脂製燃料タンク ●マグネシウムヘッドカバー ▲パラジウム三元触媒 ▲新冷媒エアコン ●デオドラント機能付きファブリック ▲リーンバーン用新三元触媒 ●コンポジットプロペラシャフト ▲ディーゼル触媒 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ディーゼル車用新触媒システム(DPNR) ▲トヨタエコプラスチック ▲ケナフ材バッケーージトレイトリム、ドアトリム ▲植物系生分解樹脂(バイオプラスチック) ▲CO₂冷媒電動ヒートポンプ式エアコン

2003年度に発表した主な新技術(発表時期)

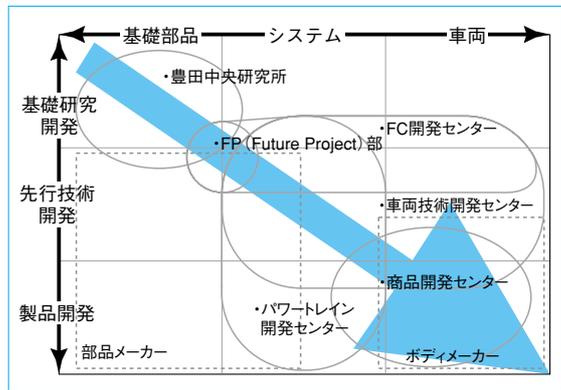
THS-II (2003/4)、トヨタエコプラスチック(2003/5)、インテリジェントパーキングアシスト(2003/9)

トヨタの開発体制

トヨタでは、次の各開発フェーズを通して研究・開発に取り組んでいます。この3つの開発フェーズが連携・融合し合うことで、最少の時間で、先進的、高品質で魅力的な車が継続的に開発されていきます。

1. 「基礎研究開発」
開発の方向性を探るフェーズ。車の基本となるベーシックな部分の研究開発。
2. 「先行技術開発」
コンポーネント、システムなどの技術的ブレークスルーを必要とする開発フェーズ。高度な技術開発を他社に先駆けて進めるために、最新のコンポーネントやシステム研究に専念。
3. 「製品開発」
新型車両の開発を中心に担当。

トヨタグループの開発体制



トヨタテクニカルセンター U.S.A. (株) (トーランス)



キャルティデザインリサーチ (株)



アリゾナ試験場



トヨタテクニカルセンター U.S.A. (株) (アナーバー)



TMEM研究開発グループ (テクニカルセンター)

アメリカ

トヨタテクニカルセンター U. S. A. (株)	所在地 (本社)	ミシガン州アナーバー(分室:ミシガン州プリマス、カリフォルニア州トーランス、ガルデナ、アリゾナ州ウィットマン、ワシントンD. C.)
	設立年月	1977年6月
	出資比率	トヨタ80%、アイシン精機、デンソー各5%、米国トヨタ10%
	主な活動	アメリカの部品・材料の試験や評価から、排出ガスの検定や技術的調査まで車両の研究・開発を実施。特に、北アメリカ向けのトヨタ製品のデザイン研究開発の分野で益々重要な役割を担っています。
キャルティデザインリサーチ(株)	所在地	カリフォルニア州ニューポートビーチ市
	設立年月	1973年10月
	出資比率	トヨタ80%、米国トヨタ20%
	主な活動	トヨタ初の海外でのデザイン開発拠点で、日米のデザイナーにより新デザインを共同調査・開発。第二世代のセリカ、エスティマ(アメリカ名、プレビア)、ソアラ(アメリカ名、レクサスSC430)、タコマ、プリウス、ソラーラのデザインを開発。1991年5月に先進的な外観、内装、カラーデザイン開発用の建物が完成、設備も一新。

■ヨーロッパ

TMEM研究開発グループ (テクニカルセンター)	所在地	ベルギー ザベントム州 (分室：イギリス ダービー州とドイツ ケルベン州)
	設立年月	1987年9月
	主な活動	トヨタのヨーロッパでの事業サポート、ヨーロッパの環境面における車両・材料の評価、トヨタ車の認証・技術の調査・研究
トヨタヨーロッパ デザインディベロップメント(有) (ED ²)	所在地	フランス コートダジュール
	設立年月	1998年11月(稼働2000年5月)
	主な活動	外観・内装・カラーデザインの開発研究、モデル製作、デザイン調査
トヨタモータースポーツ(有) (TMG)	所在地	ドイツ ケルン
	設立年月	1993年7月
	主な活動	F1カーの開発、F1レースへの参加



士別試験場



東京デザイン研究所



トヨタヨーロッパ
デザインディベロップメント(有)(ED²)



トヨタモータースポーツ(有)
(TMG)



トヨタテクニカルセンター
(本社内)



東富士研究所

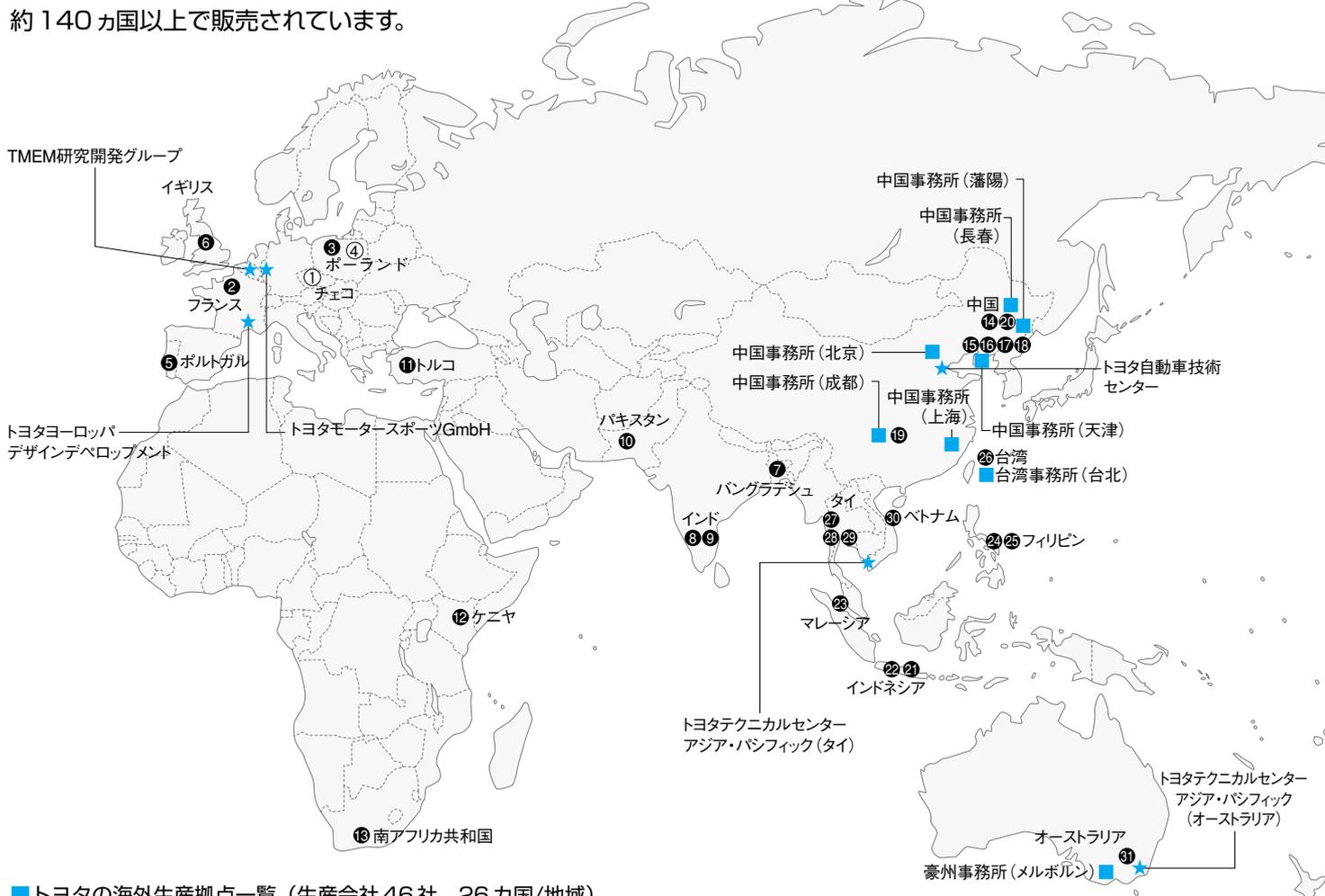
■日本

トヨタテクニカルセンター (本社内)	所在地	愛知県豊田市トヨタ町
	主な活動	デザイン、プロトタイプの研究開発とその企画、車両の評価等
東京デザイン研究所	所在地	東京都八王子市
	設立年月	1989年9月(1999年4月、港区三田から八王子に移転・統合)
	主な活動	先進的なスタイリングのデザイン研究・開発
東富士研究所	所在地	静岡県裾野市御宿
	設立年月	1966年11月
	主な活動	車両の新技術開発及びエンジンの新技術研究
士別試験場	所在地	北海道士別市温根別町
	設立年月	1984年10月
	主な活動	車両の高速総合性能、各種寒冷地試験及び評価

■アジア・太平洋

トヨタテクニカルセンター アジア・パシフィック タイ(株) (TTCAP-TH)	所在地	タイ サムットプラカン県
	設立年月	2003年9月
	主な活動	デザインの研究開発とその評価、アジア太平洋地域の技術情報の提供
トヨタテクニカルセンター アジア・パシフィック オーストラリア(株) (TTCAP-AU)	所在地	オーストラリア メルボルン州、ビクトリア州
	設立年月	2003年6月
	主な活動	デザインの研究開発

2003年末現在、トヨタには26カ国/地域に46の海外生産拠点と、8カ所の海外事務所があり、ワールドワイドに事業展開約140カ国以上で販売されています。



トヨタの海外生産拠点一覧 (生産会社46社、26カ国/地域)

国/地域	会社名	従業員数	
欧州	① Toyota Peugeot Citroën Automobile Czech s.r.o(2005年予定)	3,000	
	② Toyota Motor Manufacturing France S.A.S.	2,395	
	③ Toyota Motor Manufacturing Poland SP.zo.o	④ Toyota Motor Industries Poland SP.zo.o(2005年予定)	800
		350	
	⑤ Salvador Caetano I.M.V.T., S.A.	350	
⑥ Toyota Motor Manufacturing (UK) Ltd.	4,268		
中近東	⑦ Aftab Automobiles Ltd.	103	
	⑧ Toyota Kirloskar Motor Private Ltd.	2,329	
		⑨ Toyota Kirloskar Autoparts Private Ltd.	430
	⑩ Indus Motor Company Ltd.	1,111	
アフリカ	⑪ Toyota Motor Manufacturing Turkey Inc.	2,660	
	⑫ Associated Vehicle Assemblers Ltd.	280	
アジア	⑬ Toyota South Africa Motors (Pty.) Ltd.	7,410	
	中国	⑭ 天津津豊汽車底盤部件有限公司 (Tianjin Jinfeng Auto Parts Co.,Ltd.)	400
		⑮ 天津豊田汽車発動機有限公司 (Tianjin Toyota Motor Engine Co.,Ltd.)	730
		⑯ 天津津豊汽車伝動部件有限公司 (Tianjin Fengin Auto Parts Co.,Ltd.)	270
		⑰ 天津豊田汽車鍛造部件有限公司 (Tianjin Toyota Forging Co.,Ltd.)	80
		⑱ 天津一汽豊田汽車有限公司 (Tianjin FAW Toyota Motor Co.,Ltd.)	888
		⑲ 四川豊田汽車有限公司 (Sichuan Toyota Motor Co.,Ltd.)	1,150
		⑳ 長春一汽豊越汽車有限公司 (Changchun FAW Fengyue Auto Co.,Ltd.)	245
	インドネシア	㉑ PT. Toyota Motor Manufacturing Indonesia	4,388
		㉒ PT. Astra Daihatsu Motor	1,722
	マレーシア	㉓ Assembly Services Sdn. Bhd.	1,652
	フィリピン	㉔ Toyota Autoparts Philippines Inc.	718
		㉕ Toyota Motor Philippines Corporation	1,242

開しています。また、トヨタ車は、160以上のインポーター(輸入業者)／ディストリビューター(卸売業者)を通して、海外の



地域	インポーター ディストリビューター	生産拠点
北米	5	11
中南米	42	4
ヨーロッパ	27	6
アフリカ	48	2
アジア(日本を除く)	12	17
オセアニア	15	1
中近東	19	5
海外合計	168	46

国／地域	会社名	従業員数	
アジア	②⑥ 台湾 國瑞汽車股份有限公司	2,826	
	タイ	②⑦ Siam Toyota Manufacturing Co., Ltd.	1,266
		②⑧ Toyota Auto Body Thailand Co., Ltd	93
		②⑨ Toyota Motor Thailand Co., Ltd.	4,360
	ベトナム	③⑩ Toyota Motor Vietnam Co., Ltd.	673
オセアニア	③① Toyota Motor Corporation Australia Ltd.	4,700	
北米	カナダ	③② Canadian Autoparts Toyota Inc. (CAPTIN)	235
		③③ Toyota Motor Manufacturing Canada Inc. (TMMC)	4,231
	アメリカ	③④ Bodine Aluminum, Inc.	925
		③⑤ New United Motor Manufacturing, Inc. (NUMMI)	5,630
		③⑥ TABC, Inc.	550
		③⑦ Toyota Motor Manufacturing, Alabama, Inc. (TMMAL)	344
		③⑧ Toyota Motor Manufacturing, Kentucky, Inc. (TMMK)	7,213
		③⑨ Toyota Motor Manufacturing, Indiana, Inc. (TMMI)	4,692
		④⑩ Toyota Motor Manufacturing, West Virginia, Inc. (TMMWV)	932
		④① Toyota Motor Manufacturing, Texas, Inc. (TMMTX) (2006年予定)	2,000
		メキシコ	④② Toyota Motor Manufacturing de Baja California S.de R.L.de C.V. (TMMBC) (2004年予定)
中南米	④③ アルゼンチン Toyota Argentina S.A.	792	
	④④ ブラジル Toyota do Brasil Ltda.	1,518	
	④⑤ コロンビア Sociedad de Fabricacion de Automotores S.A.	734	
	④⑥ ベネズエラ Toyota de Venezuela Compania Anonima	572	

トヨタの地域別海外生産台数の推移

(単位：千台)

地域	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
北米	581.3	729.9	783.0	838.3	962.8	1,061.9	1,104.0	1,088.5	1,205.3	1,278.3
中南米	3.7	3.7	3.2	3.8	15.3	16.8	19.6	17.8	28.1	58.1
ヨーロッパ	93.5	95.5	124.4	108.8	175.7	181.5	173.3	216.9	344.6	395.5
アフリカ	76.7	87.7	85.1	91.2	74.1	68.4	77.5	77.5	79.8	93.3
アジア	222.7	259.0	255.1	246.7	124.8	182.1	248.4	254.3	345.7	493.1
オセアニア	68.5	54.1	67.6	77.6	100.4	91.0	92.4	94.6	86.6	113.6
中近東	4.8	23.3	27.7	23.8	14.4	9.4	36.1	31.0	65.1	125.8
海外生産合計	1,051.3	1,253.3	1,346.0	1,390.1	1,467.6	1,611.0	1,751.4	1,780.6	2,155.2	2,558.0
国内生産合計	3,508.5	3,171.3	3,410.1	3,502.0	3,165.8	3,118.2	3,429.2	3,354.4	3,485.2	3,520.3
全世界合計	4,559.8	4,424.6	4,756.1	4,892.1	4,633.4	4,729.2	5,180.6	5,135.0	5,640.4	6,078.3

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。

資料:トヨタ自動車

トヨタの地域別海外販売台数の推移

(単位：千台)

地域	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
北米	1,174.1	1,169.2	1,251.5	1,356.7	1,516.0	1,631.3	1,766.3	1,893.6	1,940.8	2,072.2
中南米	78.9	96.0	82.2	115.1	125.0	99.9	105.6	107.5	96.9	121.3
ヨーロッパ	389.3	384.1	411.9	471.2	540.9	592.3	655.8	666.0	755.6	834.7
アフリカ	113.8	136.2	135.5	143.6	129.7	123.2	121.8	126.5	139.8	160.8
アジア	413.7	433.0	444.8	417.9	229.5	252.9	339.3	342.2	455.0	620.6
オセアニア	152.6	145.0	144.2	148.2	176.5	171.8	176.7	162.2	182.2	215.1
中近東	159.3	132.8	151.7	185.0	212.4	186.6	217.2	248.6	267.9	330.0
海外販売合計	2,481.6	2,496.2	2,621.8	2,837.6	2,930.0	3,058.1	3,382.7	3,546.7	3,838.3	4,354.7
国内販売合計	2,040.9	2,060.1	2,135.3	2,005.9	1,711.0	1,664.4	1,771.7	1,715.2	1,680.5	1,715.9
全世界合計	4,522.5	4,556.3	4,757.1	4,843.5	4,641.0	4,722.5	5,154.3	5,261.9	5,518.8	6,070.6

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。

資料:トヨタ自動車

トヨタ車の地域別輸出台数

(単位：千台)

地域	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
北米	653.6	454.4	456.3	510.8	569.5	650.1	717.7	720.8	852.1	782.8
中南米	89.3	110.9	86.2	135.3	125.1	89.0	93.9	97.4	75.2	71.5
ヨーロッパ	334.5	263.0	303.6	404.1	372.5	447.9	491.1	433.1	392.7	424.6
アフリカ	32.1	46.6	44.2	47.3	49.2	42.3	37.4	38.2	53.6	58.2
アジア	160.4	156.1	184.3	161.6	79.3	93.4	117.5	99.0	147.2	154.7
オセアニア	91.4	76.7	82.1	93.6	104.2	102.3	115.0	113.1	128.1	154.1
中近東	137.1	89.3	112.1	133.7	155.7	114.5	126.3	158.5	160.4	182.6
その他	6.1	5.4	7.8	7.8	7.4	8.5	7.3	5.7	7.5	7.5
合計	1504.5	1202.4	1276.7	1494.3	1462.8	1548.0	1706.2	1665.7	1,816.8	1,836.0

注) 地域区分は日本自動車工業会に基づく。

資料:トヨタ自動車

トヨタ車の車名別輸出台数

(単位：台)

車名	輸出開始年	2003年輸出台数	2003年までの輸出累計
ハイラックス	1968	245,486	8,929,869
カローラ	1966	229,297	11,123,519
RAV4	1994	219,560	1,264,716
ランドクルーザー	1952	201,100	3,597,513
ヤリスエコ(ヴィッツ/プラッツ/ファンカーゴ)	1998	156,946	1,252,431
ハイランダー(クルーザーV)	2000	131,738	384,337
RX300/330(ハリアー)**	1997	104,097	507,869
カムリ/カムリCNG	1982	92,228	2,995,206
ES300(ウインダム)**	1989	77,397	687,411
ハイエース	1967	55,220	1,985,839
LS400/430(セルシオ)**	1989	32,667	446,037
GX470(ランドクルーザー)**	2002	31,999	36,254
プリウス	2000	24,583	77,714
セリカ	1970	24,566	3,285,022
IS200/300(アルテッツァ)**	1998	23,961	154,097

注) 1. **はレクサスブランド。他はトヨタブランド。
2. ハイラックスは4ランナーを含む。
3. RAV4はEVを含む。
4. カローラはカローラスパシオを含む。

5. ハイエースはグランビアを含む。
6. MR-Sの累計台数はMR2を含む。
7. () 内は日本名。

車名	輸出開始年	2003年輸出台数	2003年までの輸出累計
ダイナトヨエース	1957	22,642	853,345
ピクニック(イブサム)	1996	21,283	148,312
GS300/430(アリスト)**	1993	16,705	247,257
プレビア(エステイマ)	1990	16,019	438,744
LX450/470(ランドクルーザーングナス)**	1995	12,919	103,488
Scion xB	2003	12,583	12,583
SC300/400/430(ソアラ)**	1991	11,348	133,567
MR-S	1984	7,260	238,762
Scion xA	2003	7,028	7,028
コースター	1969	5,202	179,462
クラウン	1954	3,800	743,153
ウィッシュ	2003	3,720	3,720
ライトエース/タウンエース	1971	2,326	432,294
xA	2003	1,928	1,928
センチュリー	1967	4	103

資料:トヨタ自動車



■北米市場の概況(2003年)

米国市場は、販売奨励金が積極的に投入され、各自動車メーカーの1台あたりの販売奨励金は平均2,664ドルと2002年に比べ42%増加し、販売台数は1,670万台と史上5番目の記録となりました。

カナダでの販売台数は、159.4万台と史上2番目の記録となりました。

■トヨタの概況(2003年)

トヨタ車の販売台数は207.2万台と北米市場に参入して以来、初めて200万台を超えました。米国での2003年の販売台数は186.6万台に達成し、8年連続で最高記録を更新しました。トヨタ車は、初の最量販乗用車のブランドとなりました。レクサスは、最量販ラグジュアリーブランドのタイトルを4年連続で獲得しました。また6月に米国での累計販売3,000万台を達成しました。

カナダでの販売台数は、16.5万台となり10.4%のシェアを獲得し、初めてシェアが10%を超えました。メキシコでの販売台数は、8モデル合計で1万台となりました。5月にトヨタは、アラバマ工場でピックアップトラックのタンドラに搭載するV8エンジンの生産を始めました。10月にトヨタは、テキサス州で組立工場建設(2006年生産開始予定)の鉄入式を行いました。ピックアップトラックのタンドラを年間15万台生産する予定です。

生産・販売・輸出
北米での活動

■北米におけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
生産台数	581.3	729.9	783.0	838.3	962.8	1,061.9	1,104.0	1,088.5	1,205.3	1,278.3
販売台数	1,174.1	1,169.2	1,251.5	1,356.7	1,516.0	1,631.3	1,766.3	1,893.6	1,940.8	2,072.2
内アメリカ	1,088.1	1,083.4	1,179.8	1,230.1	1,368.3	1,475.4	1,619.2	1,741.3	1,756.1	1,866.3

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2003年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2003)
カナダ	① Canadian Autoparts Toyota Inc.(CAPTIN)	1985.2	アルミホイール	—
	② Toyota Motor Manufacturing Canada Inc.(TMMC)	1988.11	カムリソラーラ、カローラ、マトリックス、エンジン、RX330	227,543 (227,543) 200,317 ^{※2}
アメリカ	③ Bodine Aluminum, Inc.	1993.1	アルミ鋳物	—
	④ New United Motor Manufacturing, Inc.(NUMMI)	1984.12	カローラ、タコマ	320,860 ^{※1} (320,860)
	⑤ TABC, Inc.	1971.11	荷台、触媒コンバータ、プレス部品	—
	⑥ Toyota Motor Manufacturing, Alabama, Inc.(TMMAL)	2003 (予定)	エンジン	52,318 ^{※2}
	⑦ Toyota Motor Manufacturing, Kentucky, Inc.(TMMK)	1988.5	アバロン、カムリ、エンジン	438,426 (438,426) 462,229 ^{※2}
	⑧ Toyota Motor Manufacturing, Indiana, Inc.(TMMI)	1999.2	タンドラ、セコイア、シエナ	291,530 (291,530)
	⑨ Toyota Motor Manufacturing, West Virginia, Inc.(TMMWV)	1998.11	エンジン トランスミッション	397,210 ^{※2}
	⑩ Toyota Motor Manufacturing, Texas, Inc.(TMMTX)	2006 (予定)	タンドラ	—
メキシコ	⑪ Toyota Motor Manufacturing de Baja California S.de.R.L. dec.V (TMMBC)	2004 (予定)	トラック荷台	—

注) 生産台数のうち()は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

※1 NUMMIの生産台数はGMのVibe(74,000台)を含まない。

※2 エンジンの生産台数。

■販売拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2003)
カナダ	Toyota Canada Inc.	1964	165,000
メキシコ	Toyota Motor Sales de Mexico.S. de.R.L.dec.V.	2001	9,800
アメリカ	Servco Pacific Inc. (Hawaii)	1958	1,866,300
	Toyota Motor Sales, U.S.A., Inc.	1957	
プエルトリコ	Toyota de Puerto Rico Corp.	1994	31,000

■その他の拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
カナダ	Toyota Credit Canada Inc.	1990	自動車の販売金融
アメリカ	Caltly Design Research, Inc.	1973	自動車デザイン
	Toyota Motor Credit Corporation	1982	自動車の販売金融、保険
	Toyota Motor North America, Inc.	1996	北米でのトヨタの 渉外・広報機能の統括 およびTMS、TMMNAの 持株会社
	Toyota Motor Manufacturing North America, Inc.	1996	北米製造会社の統括
	Toyota Technical Center, U.S.A., Inc.	1977	自動車技術の研究開発
メキシコ	Toyota Services de Mexico, S.A. de C.V.	2001	自動車の販売金融
プエルトリコ	Toyota Credit de Puerto Rico Corp.	1996	自動車の販売金融



■中南米市場の概況(2003年)

ブラジル、ベネズエラの総市場は前年比でそれぞれ3%、51%の減少となりました。一方、アルゼンチンの総市場は前年比49%の増加となりました。

■トヨタの概況(2003年)

中南米の地域におけるトヨタ車販売は前年比25%増の12.1万台でした。8月に、ブラジルトヨタとベネズエラトヨタで生産された新型カローラの輸出が開始されました。市場環境が厳しいに関わらず、ブラジルでの販売は4.3万台と好調で過去最高を記録しました。新型カローラが小型車市場で最量販車となったことが寄与しました。

ベネズエラでの販売台数は、0.6万台でシェアは8.7%となりました。

アルゼンチンは厳しい市場環境にもかかわらず、7.8%のシェアを維持し、1.1万台の販売となりました。

■中南米におけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
生産台数	3.7	3.7	3.2	3.8	15.3	16.8	19.7	17.8	28.1	58.1
販売台数	78.9	96.0	82.2	115.1	125.0	99.9	105.6	107.5	96.9	121.3

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2003年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2003)
アルゼンチン ①	Toyota Argentina S.A.	1997.3	ハイラックス	15,812 (15,812)
ブラジル ②	Toyota do Brasil Ltda.	1959.5	カローラ、エンジン※1	39,475 (39,475)
コロンビア ③	Sociedad de Fabricacion de Automotores S.A.	1992.3	ランドクルーザー、ハイラックス、ランドクルーザーブレード	6,071
ベネズエラ ④	Toyota de Venezuela Compania Anonima	1981.11	カローラ、ダイナ、ランドクルーザーテリオス※2	4,290 (2,851)

注) 生産台数のうち () 内は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

※1 組立てのみ。※2 タイハツブランドで生産台数に含まず。

■その他の拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
アルゼンチン	Toyota Credit Argentina S.A.	1998	自動車の販売金融
ブラジル	Banco Toyota do Brasil S.A.	1999	自動車の販売金融
ベネズエラ	Toyota Services de Venezuela, C.A.	2001	自動車の販売金融

■販売拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2003)
アルゼンチン	Toyota Argentina S.A.	1994	11,100
ブラジル	Toyota do Brasil Ltda.	1958	42,700
チリ	Toyota Chile S.A.	1980	12,300
コロンビア	Distribuidora Toyota Ltda.	1967	4,900
	Sociedad de Fabricacion de Automotores S.A.	1991	
コスタリカ	Purdy Motor S.A.	1957	3,400
ドミニカ	Delta Comercial, C por A.	1962	1,500
エクアドル	Casabaca S.A.	1959	3,800
	Importadora Tomebamba S.A.	1964	
エルサルバドル	Distribuidora de Automoviles, S.A. de C.V.	1953	3,000
グアテマラ	Cofiño Stahl y Compañia Ltda.	1964	7,700
ホンジュラス	Corporacion Flores, S.A.	1955	2,600
ニカラグア	AUTO NICA, S.A.	1964	2,100
	F.Alf.Pellas, S.A.	1963	
パナマ	Ricardo Perez, S.A.	1956	6,000
ペルー	Toyota del Peru S.A.	1967	3,600
ベネズエラ	Toyota de Venezuela Compania Anonima	1958	5,600

注) 販売拠点は2003年に1,000台以上を販売した拠点を記載。



■ヨーロッパ市場の概況(2003年)

ヨーロッパの自動車市場(EU、スイス、ノルウェー、ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア)は1,670万台と前年比で1%減少しました。イギリスとスペインが好調で、スペインでは他国よりも堅調な経済状況により、史上2番目の販売台数を記録しました。ヨーロッパ最大の市場であるドイツの販売は前年比1%の減少となりました。

■トヨタの概況(2003年)

トヨタの販売台数は前年比10%増の83.5万台となり、7年連続で年間販売台数の記録を更新しました。市場シェアも0.4%増の4.8%となりました。乗用車市場ではトヨタは昨年より1ランク上がって8位にランクされました。ヤリス(日本名ヴィッツ)は、21.7万台を販売し、1999年の発売以来5年連続で最高販売台数を記録しました。新型アベンシスは、11.6万台を販売し、前年比41%の増加となりました。

フィンランド、ノルウェーおよびギリシャではトヨタは乗用・商用車含めてシェアトップを維持しています。イギリスのバーナストーン工場では、カローラとアベンシスを21万台以上生産しました。1月に同工場では新型アベンシス(日本向けにも輸出)の生産を開始しました。フランスのバレンシエンヌ工場では、ヤリスを18.5万台生産しました。1月に同工場ではヤリス向けディーゼル・エンジンの生産を開始しました。4月にTPCA(トヨタとPSAの合弁会社)がチェコで合弁工場の上棟式を行いました。

■ヨーロッパにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位:千台)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
生産台数	93.5	95.5	124.4	108.8	175.7	181.5	173.3	217.0	344.6	395.5
販売台数	389.3	384.1	411.9	471.2	540.9	592.3	655.8	666.0	755.6	834.7

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2003年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2003)
フランス ①	Toyota Motor Manufacturing France S.A.S.(TMMF)	2001.1	ヤリス(ヴィッツ)エンジン*1	184,514 (184,514)
ポーランド ②	Toyota Motor Manufacturing Poland SP.zo.o.(TMMP)	2002.4	トランスミッション	134,222**2
	Toyota Motor Industries Poland SP.zo.o.(TMIP)	2005 (予定)	エンジン	—
ポルトガル ④	Salvador Caetano I.M.V.T., S.A. OVAR PLANT	1968.8	ダイナ、ハイエース、オプティモ	2,413 (139)
イギリス ⑤	Toyota Motor Manufacturing (UK) Ltd.	1992.12	アベンシス、カローラ、エンジン	210,878 (210,878) 180,105**3
チェコ ⑥	Toyota Peugeot Citroën Automobile Czech (TPCA)	2005 (予定)	(小型乗用車)	—

注) 生産台数のうち()内は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。
*1 組立てのみ。*2 トランスミッションの生産台数。*3 エンジンの生産台数。

■販売拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2003)
オーストリア	Toyota Frey Austria Ges.m.b.H.	1970	18,100
ベルギー	Toyota Belgium S.A./N.V.	1966	31,800
チェコ	Toyota Motor Czech spol.s.r.o	1994	6,400
デンマーク	Toyota Denmark A/S	1963	19,400
フィンランド	Toyota Auto Finland Oy	1995	30,100
フランス	Toyota France S.A.	1971	73,300
ドイツ	Toyota Deutschland G.m.b.H.	1971	106,100
ギリシャ	Toyota Hellas S.A.	1987	30,500
ハンガリー	Toyota Motor Hungary Kft	1991	12,100
アイスランド	P.Samuelsson hf.	1980	2,900
アイルランド	Toyota Ireland	1972	21,400
イタリア	Toyota Motor Italia S.p.A.	1990	125,400
オランダ	Louwman & Parqui B.V.	1964	33,500
ノルウェー	Toyota Norge AS	1973	17,300
ポーランド	Toyota Motor Poland Co., Ltd.	1991	36,100
ポルトガル	Salvador Caetano I.M.V.T., S.A	1968	15,600
スロベニア	Toyota Adria d.o.o	1998	5,900
スペイン	Toyota España, S.L.	1992	43,900
スウェーデン	Toyota Autoimport AB	1968	20,000
スイス	Toyota AG	1966	18,700
イギリス	Toyota (GB) PLC	1965	133,800
ロシア	OOO "TOYOTA MOTOR"	2002	25,100

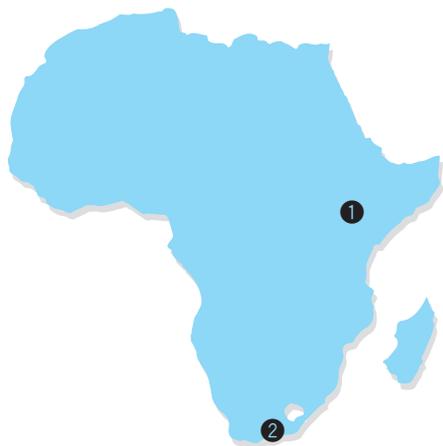
注) 販売拠点は2003年に2,000台以上を販売した拠点を記載。

■その他の拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
ベルギー	Toyota Motor Europe	2002	TMEMおよびTMMEの持株会社、欧州での渉外活動強化
	Toyota Motor Marketing Europe n.v./s.a.	1990	自動車および同部品の販売統括
	Toyota Motor Engineering & Manufacturing Europe n.v./s.a.	1998	自動車の研究・開発
チェコ	Toyota Financial Services Czech s.r.o.	2000	自動車の販売金融
デンマーク	Toyota Financial Services Denmark A/S	2002	自動車の販売金融
フィンランド	Toyota Finance Finland Oy	1995	自動車の販売金融
フランス	Toyota Europe Design Development S.A.R.L.(ED ²)	2000	自動車のデザインの研究・開発
	Toyota France Financement*1	1997	自動車の販売金融
ドイツ	Toyota Motorsport GmbH	1993	F1カーの開発とF1レース参加
	Toyota Kreditbank GmbH	1988	自動車の販売金融
ハンガリー	Toyota Financial Services Hungary Rt.	2002	自動車の販売金融
イタリア	Toyota Financial Services Italy*2	1997	自動車の販売金融
オランダ	Toyota Motor Finance (Netherlands) B.V.	1987	関係会社への融資
ノルウェー	Toyota Kreditbank Norge*1	1997	自動車の販売金融
ポーランド	Toyota Bank Polska S.A.	2000	自動車の販売金融
スペイン	Spain Toyota Financial Services Espana*1	2003	自動車の販売金融
スウェーデン	Toyota Financial Services Sweden*1	2000	自動車の販売金融
イギリス	Toyota Financial Services (UK) PLC	1988	自動車の販売金融

注) *1 Toyota Kreditbank GmbHの支店。
*2 Toyota Financial Services (UK) PLCの支店。



■アフリカ市場の概況(2003年)

南アフリカの自動車総市場は、低金利が貢献して前年比5%増の36.8万台となりました。

■トヨタの概況(2003年)

アフリカにおける総販売台数は前年比15%増の16.1万台となり、1981年以來の高水準となりました。

南アフリカでの総販売台数は9.5万台となり、シェアは25.8%と高水準を維持しています。エジプトにおけるトヨタ車の販売はカローラの販売好調が貢献し、1万台以上を販売し、過去最高を更新しました。アルジェリアにおけるトヨタ車の販売は前年比191%増の9,800台となり、過去最高を更新しました。モロッコ、タンザニア、レユニオン、モーリタニアは、それぞれ過去最高を記録しました。

■アフリカにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
生産台数	76.7	87.7	85.1	91.2	74.1	68.4	77.5	77.5	79.8	93.3
販売台数	113.8	136.2	135.5	143.6	129.7	123.2	121.8	126.5	139.8	160.8

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2003年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2003)
ケニア ①	Associated Vehicle Assemblers Ltd.	1977.8	ダイナ、ハイエース、ハイラックス、ランドクルーザー	1,135
南アフリカ共和国 ②	Toyota South Africa Motors (Pty) Ltd.	1962.6	カローラ、ダイナ、ハイエース、ハイラックス、TUV、大型トラック、エンジン	95,156 (93,343) 95,156 ^{※1}

注) 生産台数のうち()内は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。
※1 エンジンの生産台数。

■販売拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2003)
アルジェリア	Jalco S.P.A.	1993	9,800
カナリア諸島	Toyota Canarias S.A.	1973	7,800
エジプト	Toyota Egypt S.A.E.	1979	10,200
ガボン	Toyota Gabon	1964	1,100
ガーナ	Toyota Ghana Company Ltd.	1998	1,200
ケニア	Toyota East Africa Ltd.	1999	1,500
モロッコ	Toyota Du Maroc S.A.R.L.	1996	4,000
ナイジェリア	Toyota (Nigeria) Ltd.	1996	5,600
レユニオン	Compagnie Marseillaise de Madagascar Automobile	1977	1,800
南アフリカ共和国	Toyota South Africa Motors (Pty) Ltd.	1961	95,100
スーダン	Golden Arrow Co.,Ltd.	1963	1,500
チュニジア	B.S.B.S.A.	1998	1,000

注) 販売拠点は2003年に1000台以上販売した拠点を記載。

■その他の拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
南アフリカ共和国	Toyota Financial Services South Africa(Pty)Ltd.	2000	自動車の販売金融



■アジア市場の概況(2003年)

アジア市場は前年に比べ3%減少しました。韓国とマレーシア市場はそれぞれ5%、18%減少しました。一方で、ASEAN諸国の市場は、12%拡大しました。概してASEAN諸国は回復基調にあり、ASEAN総市場は、1996年のピーク時の約97%まで回復しました。

■トヨタの概況(2003年)

トヨタは、インドネシア、タイ、フィリピン、シンガポール、ベトナム、台湾、ブルネイ7カ国での市場シェアが1位となりました。またトヨタは、アジア向けにデザイン・開発されたコンパクトセダンのヴィオスを発売しました。2002年秋にタイで発売されてからヴィオスは、7カ国以上のアジア各国で発売され、9.4万台を販売しました。アジアでのトヨタ車販売台数は、過去最高を記録しました。

4月にトヨタは、中国の第一汽車集団公司(FAW)とクラウン、カローラ、ランドクルーザー、ランドクルーザー・プラドの共同生産に合意し、ランドクルーザーとランドクルーザー・プラドの生産が年末に開始されました。トヨタとFAWは、乗用車の販売会社である一汽トヨタ自動車販売有限公司(FTMS)を設立し、コースター、ヴィオスといったトヨタ車やダイハツ車の販売を扱う予定です。

■アジアにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
生産台数	222.7	259.0	255.1	246.7	124.8	182.1	248.4	254.3	345.7	493.1
販売台数	413.7	433.0	444.8	417.9	229.5	252.9	338.9	342.2	455.0	620.6

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2003年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2003)
中国	① 天津豊田汽車底盤部件有限公司	1997.6 ^{*1}	ステアリング、プロペラシャフト	—
	② 天津豊田汽車発動機有限公司	1998.6	エンジン	83,104
	③ 天津豊田汽車伝動部件有限公司	1998.5	等速ジョイント	—
	④ 天津豊田汽車鍛造部件有限公司	1998.12	鍛造部品	—
	⑤ 天津一汽豊田汽車有限公司	2002.10	ヴィオス(中国名:威馳)、カローラ(2004.2)	49,529 (49,529)
	⑥ 四川豊田汽車有限公司	2000.12	コースター、ランドクルーザー・プラド	3,232 (2,897)
	⑦ 長春一汽豊越汽車有限公司	2003.10	ランドクルーザー	666
インドネシア	⑧ PT. Toyota Manufacturing Indonesia	1970.5	カムリ、カローラ、ダイナ、ソルナー、TUV、エンジン	95,132 (82,505) 149,854 ^{*2}
	⑨ PT. Astra Daihatsu Motor	1992.1	小型乗用車、ゼブラ ^{*3} 、タルナ ^{*3} 、セリア ^{*3}	—

注) 生産台数の()内は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

*1 トヨタの資本参加した年月。*2 エンジンの生産台数。

*3 ダイハツブランド。*4 トランスミッションの生産台数。

*5 オーストラリア向CKDを含む。(11,038台)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2003)
マレーシア	⑩ Assembly Services Sdn. Bhd.	1968.2	カムリ、カローラ、ハイエース、ハイラックス、TUV、ヴィオス、エンジン	39,959 (32,038)
フィリピン	⑪ Toyota Autoparts Philippines Inc.	1992.9	トランスミッション、等速ジョイント	221,616 ^{*4}
	⑫ Toyota Motor Philippines Corp.	1989.2	カムリ、カローラ、TUV、エンジン	20,620 (18,234)
台湾	⑬ 國瑞汽車股份有限公司	1986.1	カムリ、コロナ、カローラ、ターセル、TUV、ハイエース、ヴィオス	103,425 (103,425)
タイ	⑭ Siam Toyota Manufacturing Co., Ltd.	1989.7	エンジン、プロペラシャフト	269,367 ^{*2}
	⑮ Toyota Auto Body Thailand Co., Ltd.	1979.5	プレス部品	—
	⑯ Toyota Motor Thailand Co., Ltd.	1964.12	カムリ、カローラ、ハイラックス、ヴィオス、ウィッシュ、ソルナーヴィオス、エンジン	207,537 ^{*5} (194,654)
ベトナム	⑰ Toyota Motor Vietnam Co., Ltd.	1996.8	カムリ、カローラ、ハイエース、ランドクルーザー、TUV、ヴィオス	11,714 (9,873)

■販売拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2003)
ブルネイ	NBT (Brunei) Sdn. Bhd.	1973	2,900
中国	Toyota Motor (China) Limited	1994	45,900
	(Hong Kong) Crown Motor Ltd.	1966	8,100
インドネシア	PT. Toyota-Astra Motor	2003	101,500
韓国	Toyota Motor Korea Co., Ltd. (TMKR)	2001	3,700
マカオ	YAT Fung Motors Ltd.	1993	1,100
マレーシア	UMW Toyota Motor Sdn. Bhd.	1982	40,600
フィリピン	Toyota Motor Philippines Corp.	1989	27,800
シンガポール	Borneo Motors (Singapore) Pte. Ltd.	1967	26,500
台湾	Hotai Motor Co., Ltd.	1949	108,100
タイ	Toyota Motor Thailand Co., Ltd.	1964	188,700
ベトナム	Toyota Motor Vietnam Co., Ltd.	1996	11,800

注) 販売拠点は2003年に1,000台以上を販売した拠点を記載。

■その他の拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
シンガポール	Toyota Motor Asia Pacific Pte. Ltd.	1990	アジア各国への部品供給とアジアでの販売サポート
タイ	Toyota Leasing Thailand Co., Ltd.	1993	自動車の販売金融
マレーシア	UMW Toyota Capital Sdn. Bhd.	2001	自動車の販売金融
台湾	Hotai Finance Corporation	2002	自動車の販売金融
	Hotai Leasing Corporation	2002	自動車のリース



■オセアニア市場の概況(2003年)

オーストラリアの総市場は過去最高となり、前年比10%増の91万台に達しました。小型車やSUVが販売台数増加に寄与しました。

■トヨタの概況(2003年)

オーストラリアでのトヨタの販売台数は前年比19%増の19万台となり、過去最高を記録し、市場シェアでトップを奪回しました。ニュージーランドでトヨタは、16年連続で市場シェア1位を維持しました。

■オセアニアにおけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
生産台数	68.5	54.1	67.6	77.6	100.4	91.0	92.4	94.6	86.6	113.6
販売台数	152.6	145.0	144.2	148.2	176.5	171.8	176.6	162.2	182.2	215.1

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2003年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2003)
オーストラリア ①	Toyota Motor Corporation Australia Ltd.	1963.4	アバロン、カムリ、エンジン	113,621 (113,621) 86,673*1

注) 生産台数のうち()は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。
*1 エンジンの生産台数。

■販売拠点

(2003年末現在)

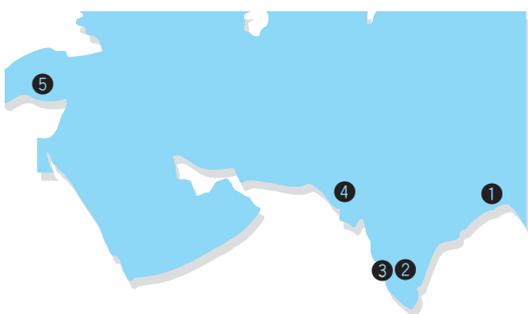
国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2003)
オーストラリア	Toyota Motor Corporation Australia Ltd.	1959	190,900
グアム	Atkins Kroll, Inc.	1975	3,100
ニュージーランド	Toyota New Zealand Ltd.	1966	17,200
バブアニューギニア	Toyota Tsusho (PNG) Ltd.	1962	1,000

注) 販売拠点は2003年に1000台以上販売した拠点を記載。

■その他の拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	運営開始	主な活動
オーストラリア	Toyota Finance Australia Ltd.	1982	自動車の販売金融
ニュージーランド	Toyota Finance New Zealand Ltd.	1988	自動車の販売金融



■中近東市場の概況(2003年)

インドでは乗用車市場が高水準を維持し、販売台数は前年比20%増の85.7万台となりました。

湾岸諸国では、円安や原油価格が強含みで推移したことにより、日本の自動車メーカーの販売は堅調でした。

■トヨタの概況(2003年)

インドでのトヨタの販売は、新型カローラやクオリスの販売好調により、初めて4万台を超え、過去最高を記録しました。

湾岸諸国では、トヨタの販売は新型カムリや新型プラドの販売好調が寄与したことにより20万台以上に達し、1982年に記録した最高販売台数とほぼ同程度を達成しました。

■中近東におけるトヨタの生産・販売台数の推移

(単位：千台)

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
生産台数	4.8	23.3	27.7	23.8	14.4	9.4	36.1	31.0	65.1	125.8
販売台数	159.3	132.8	151.7	185.0	212.4	186.6	216.9	248.6	267.9	330.0

注) 地域区分はトヨタ自動車の区分であり、日本自動車工業会のものとは異なる。生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■生産体制

(2003年末現在)

国/地域	会社名	生産開始	生産品目	生産台数(2003)
バングラデシュ ①	Aftab Automobiles Ltd.	1982.7	ランドクルーザー	135
インド ②	Toyota Kirloskar Motor Private Ltd.	1999.12	クオリス、カローラ	37,722 (37,722)
	Toyota Kirloskar Autoparts Private Ltd.	2002.4	アクセル、プロペラシャフト	-
パキスタン ④	Indus Motor Company Ltd.	1993.3	カローラ、ハイラックス	20,127 (17,550)
トルコ ⑤	Toyota Motor Manufacturing TURKEY Inc.	1994.9	カローラ	70,554 (70,554)

注) 生産台数のうち()は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。

■販売拠点

(2003年末現在)

国/地域	会社名	販売開始	販売台数(2003)
バーレーン	Ebrahim Khalil Kanoo BSC(C)	1967	8,700
バングラデシュ	Navana Ltd.	1963	1,500
インド	Toyota Kirloskar Motor Private Ltd.	1999	40,500
イラン	Irtoya Co.	1994	1,500
ヨルダン	Central Trade & Auto Co.	1998	4,300
イスラエル	Union Motors Ltd.	1991	14,000
クウェート	Mohamed Naser Al-Sayer & Sons Est.Co.W.L.L.	1956	23,200
レバノン	Boustany United Machineries Co. S.A.L.	2001	1,600
オマーン	Saud Bahwan Automotive L.L.C.	1975	33,100
パキスタン	Indus Motor Company Ltd.	1990	21,200
カタール	Abdullah Abdulghani & Bros. Co. W.L.L.	1964	10,000
サウジアラビア	Abdul Latif Jameel Import & Distribution Co., Ltd.	1955	111,200
シリア	Al Saady Trading Co.,Ltd.	1993	2,100
トルコ	Toyotasa Toyota Sabanci Marketing and Sales Inc.	2000	16,900
U.A.E.	Al-Futtaim Motors Company-L.L.C.	1955	35,500
イエメン	Automotive & Machinery Trading Center	1956	3,200

注) 販売拠点は2003年に1,000台以上を販売した拠点を記載。

海外子会社等からの完成車輸出 (2003年)

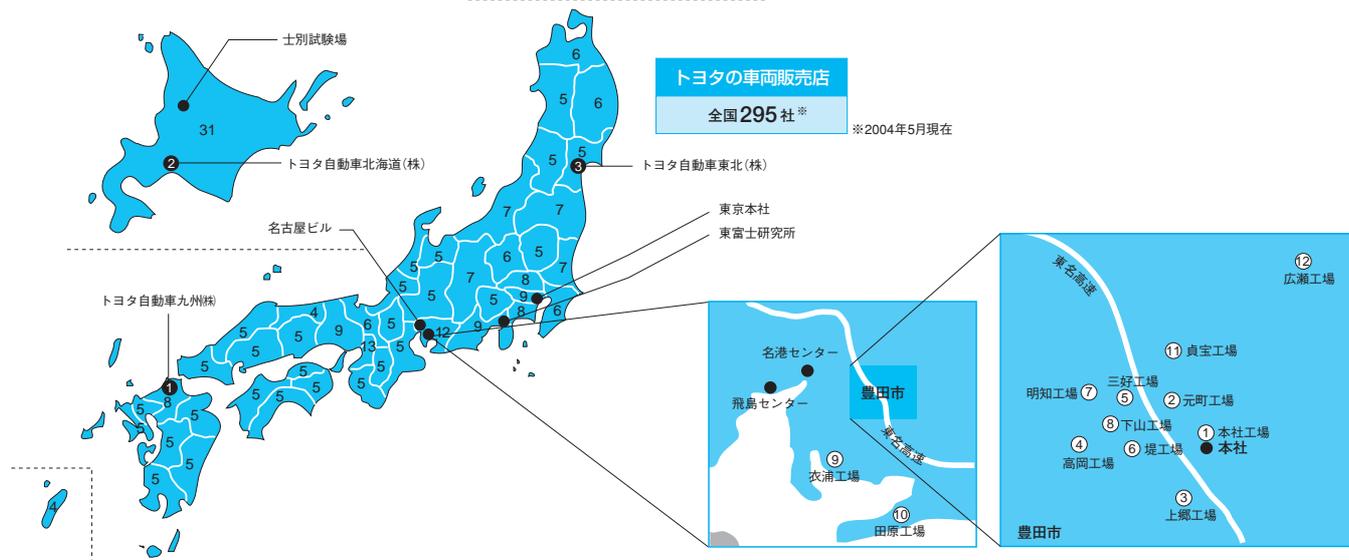
(単位:台)

生産国/地域 (生産会社)	車種	輸出先	輸出台数
カナダ (TMMC)	カローラ、マトリックス	アメリカ、メキシコ	153,700
	RX330(ハリアー)	アメリカ、メキシコ	
アメリカ (NUMMI)	タコマ	カナダ	31,600
	(TMMK) カムリ、アパロン	カナダ、メキシコ、中近東	
	(TMMI) タンドラ、シクォア、シエナ	カナダ	
アルゼンチン	ハイラックス	ブラジル、メキシコ 他	7,900
ブラジル	カローラ	アルゼンチン 他	5,000
コロンビア	ハイラックス、ランドクルーザー、ブラド	エクアドル、ベネズエラ	2,000
ベネズエラ	ランドクルーザー、カローラ	コロンビア、エクアドル	900
フランス	ヤリス(ヴィッツ)	欧州、メキシコ	177,000
ポルトガル	ダイナ、オプチモ(コースター)	欧州	200
トルコ	カローラ	欧州、中近東	62,900
イギリス (TMUK)	アベンシス、カローラ	欧州(カローラ、アベンシス)、中近東、アフリカ、中南米(アベンシス)、日本(アベンシス)	177,400
南アフリカ	カローラ、ハイラックス、TUV	ジンバブエ、マラウイ、モザンビーク、ザンビア、ナイジェリア 他	2,000
インドネシア	キジャン	ブルネイ、パプアニューギニア、南太平洋	100
タイ (TMT)	ソルナーヴィオス	ブルネイ、シンガポール、フィリピン、インドネシア	26,000
	カローラ	インドネシア、シンガポール	
	ハイラックス	フィリピン、ラオス、カンボジア、シンガポール、オーストラリア	
オーストラリア (TMCA)	カムリ、アパロン(ニュージーランドのみ)	ニュージーランド、中近東、南アフリカ 他	66,200

海外子会社等からの部品等輸出 (2003年)

生産国/地域 (生産会社)	品名	輸出先	
アメリカ (TMMK)	AZエンジン	日本、カナダ	
	MZエンジン	日本、カナダ	
	カムリ、アパロン用CKD部品	オーストラリア	
	(TMMWV) ZZエンジン	日本、カナダ	
	(TABC) 触媒	日本、カナダ	
	コンバータ	日本、カナダ	
(Bodine)	デフキャリアカバー	日本	
	シリンダーヘッド	日本	
イギリス (TMUK)	ZZエンジン部品	日本、トルコ、ベネズエラ、ブラジル、南アフリカ	
	SZエンジン	フランス	
	カローラ用CKD部品	ブラジル、ベネズエラ、南アフリカ	
南アフリカ (TSAM)	アルミホイール	欧州	
	触媒コンバータ	日本、フランス	
	カローラ用CKD部品	ブラジル、ベネズエラ	
中国 (TTME)(天津豊田汽車発動機(株))	シリンダーブロック、カムシャフト	日本	
	(TFAP)(天津豊田汽車伝動部品(株))	等速ジョイント	日本
	(TTFC)(天津豊田汽車鍛造部品(株))	インボードジョイント	日本
インドネシア (TMMINM)	鍛造粗形材等	フィリピン	
	7Kエンジン	日本、ASEAN、台湾、インド、南アフリカ、オーストラリア等	
	TUV用CKD部品	ASEAN、台湾、インド、南アフリカ、オーストラリア等	
マレーシア (ASSB)	カローラ、カムリ、ハイラック用CKD部品等	ASEAN、台湾、インド、オーストラリア等	
ポーランド (TMMP)	トランスミッション	フランス、イギリス	
フィリピン (TAP)	トランスミッション	日本	
	トランスミッション	ASEAN、台湾、インド、南アフリカ等	
	等速ジョイント	ASEAN、台湾、インド、南アフリカ等	
	(TMP) カローラ、カムリ用CKD部品	台湾、インド、ASEAN、オーストラリア等	
台湾	ジャッキ	日本	
	TUV、カローラ、カムリ用CKD部品等	ASEAN、インド、南アフリカ、オーストラリア、ブラジル等	
タイ (STM)	エンジン	日本、ASEAN、台湾、インド、南アフリカ、オーストラリア	
	シリンダーブロック	日本	
	エンジン部品	ASEAN、台湾、インド、南アフリカ、オーストラリア	
(TMT)	ボディパネル	日本	
	カローラ、カムリ用CKD部品等	ASEAN、台湾、インド、オーストラリア等	

国内の主要事業所・販売・サービスの体制



国内の生産拠点

名称	事業内容・生産品目	完成年月	土地面積	建物面積	従業員数
①本社工場	ランドクルーザー・トラック・バスのシャシー、鍛造部品、足廻り機械部品	1938.11	55万m ²	44万m ²	2,913人
②元町工場	クラウン、プレビス、プログレ、マークIIブリット	1959. 8	155	82	5,360
③上郷工場	エンジン	1965.11	87	55	3,100
④高岡工場	カロラ、アレックス、イスト、bB、プラッツ、ファンカーゴ、ヴィッツ、シエンタ	1966. 9	136	70	5,041
⑤三好工場	足廻り、小物部品	1968. 7	38	17	1,600
⑥堤工場	プリウス、ウィンダム、カムリ、オーバ、プレミオ、アリオン、カルディナ、ウィッシュ	1970.12	94	60	5,482
⑦明知工場	エンジン、足廻り鋳物部品、足廻り機械部品	1973. 6	56	27	1,844
⑧下山工場	エンジン、排出ガス対策部品	1975. 3	45	23	1,400
⑨衣浦工場	駆動関係部品	1978. 8	81	36	2,878
⑩田原工場	セルシオ、クラウン、アリスト、ランドクルーザー、ハイラックス、RAV4、イプサム、エンジン	1979. 1	402	114	6,620
⑪真宝工場	機械設備、鋳鍛造型及び樹脂成形型	1986. 2	30	11	1,900
⑫広瀬工場	電子部品、半導体等の研究、開発及び生産	1989. 3	25	9	1,300
①トヨタ自動車九州(株)	ハリアー、クルーガー	1992.12	124	25	2,097
②トヨタ自動車北海道(株)	オートマチックトランスミッション、トランスファー、アルミホイールなど自動車部品	1992.10	98	15	1,000
③トヨタ自動車東北(株)	メカトロ部品の生産	1998.10	29	2	150

注)1. 2003年3月現在、但し生産品目は2004年2月末現在。
 2. トヨタ自動車九州(株)、トヨタ自動車北海道(株)、トヨタ自動車東北(株)はトヨタ自動車の100%出資会社。
 3. 土地面積は貸借中の土地面積を含む。

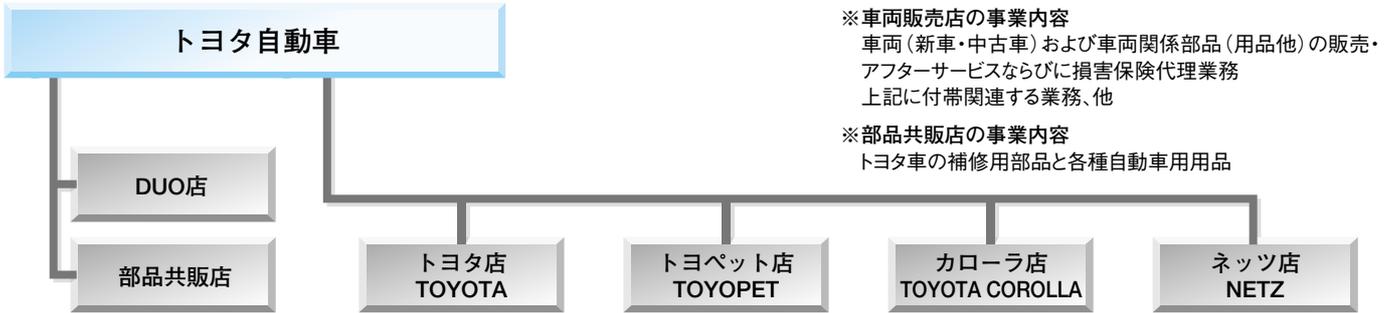
その他の拠点

名称	事業内容	完成年月	土地面積	建物面積	社員数
東富士研究所	車両の新技术開発及びエンジンの新技术研究	1966.11	200万m ²	23万m ²	2,540人
士別試験場	車両の高速総合性能・各種寒冷地試験及び評価	1984.10	930	2	197
名港センター	車両船積	1964. 5	66	2	30
飛島センター	海外向け部品の船積	1985. 6	28	0.3	—
春日部品センター	中物補給部品の入出荷	1961. 9	10	5	150
稲沢部品センター	大物補給部品の入出荷	1978.10	11	6	60
大口部品センター	中・小物補給部品の入出荷	1978. 1	10	6	150
上郷物流センター	海外及び国内遠隔地生産用部品・内外装補給部品の入出荷、車両中継地	1968. 8	36	14	259
飛島物流センター	海外向けの生産用部品・補給部品の入出荷	1988.11	24	8	142

注)2003年3月現在。

国内の生産・販売体制

販売・サービス網と事業内容



取扱車(2004年5月現在)

店名	トヨタ店			トヨペット店		トヨタカローラ店		ネッツ店
	東京トヨタ	大阪トヨタ	沖縄トヨタ	東京トヨペット	大阪トヨペット	トヨタカローラ	トヨタカローラ沖縄	
センチュリー	●	●	●	●	●			
セルシオ	●	●	●	●	●			
クラウン	●	●	●	●	●			
アリスト								●
プレビス	●	●	●		●			
プログレ		●		●	●			
ウィンダム						●	●	
マークII		●	●	●	●		●	
カムリ						●	●	
プレミオ		●		●	●			
アリオン	●	●	●		●			
アルテッツァ								●
アベンシス								●
プリウス	●	●	●	●	●			
カローラ						●	●	
プラッツ			●	●	●			
ソアラ	●	●	●	●	●			
セリカ						●	●	
MR-S								●
オーバ			●	●	●			
アレックス								●
ラウム								●
ファンカーゴ						●	●	●
bB								●
WILL サイファ						●	●	●
イスト			●	●	●			●
ヴィッツ								●
デュエット				●	●	●	●	
カルディナ	●	●	●	●	●			
エスティマT	●	●	●		●			
エスティマL						●	●	
エスティマハイブリッド	●	●	●		●	●	●	
ガイア	●	●	●		●			
イブサム			●	●	●			●
ウィッシュ								●
シエンタ						●	●	●
アルファードG			●	●	●			●
アルファードV								●
アルファードハイブリッド			●	●	●			●
ノア						●	●	
ヴォクシー								●
ランドクルーザー	●	●	●					
ハイラックス	●	●	●		●			
ハリアー			●	●	●			
クルーガーL						●	●	
クルーガーV								●
RAV4L						●	●	
RAV4J								●
キャミ			●	●	●			
サクシード	●	●	●	●	●			
プロボックス						●	●	
ハイエース		●		●	●			
レジアスエース								●
ダイナ	●	●	●					
トヨエース				●	●			
タウンエース						●	●	
ライトエース								●
コースター	●	●	●					

DUO店 <VW> Lupo, Polo, Golf, Golf Wagon, New Beetle, Passat, Passat Wagon

※トヨタ特装車は、ベース車と同じ販売店で扱っています。

トヨタ車の車名別国内生産台数(完成車輸出・CKD分含む)

車名	生産開始年	2003年 生産台数	2003年 までの累計
カローラ	1966	468,038	22,168,751
ランドクルーザー	1951	270,168	4,366,143
ハイラックス	1967	261,441	10,168,830
RAV4	1994	230,719	1,597,951
ウィッシュ	2003	171,536	171,536
ヴェイツ	1999	143,439	1,379,276
クルーガー	2000	141,736	437,193
ハリアー	1997	133,690	675,664
イスト	2002	112,228	221,737
ハイエース	1967・97	99,019	4,564,411
カムリ	1980	97,679	3,656,667
エスティマ (内エスティマハイブリッド)	1990 2001	91,625 4,875	1,637,543 22,668
アルファード (内アルファードハイブリッド)	2002 2003	84,792 4,150	140,822 4,150
ノア	2001	84,352	194,172
ウィンダム	1991	82,025	859,922
ブラッツ	1999	76,576	537,764
ファンカーゴ	1999	62,750	456,061
トヨエース・ダイナ	1954・56	61,157	3,346,811
クラウン	1954	58,100	5,404,696
ヴォクシー	2001	56,508	151,339
bB	2000	53,286	254,190
セルシオ	1989	52,751	788,328
イブサム	1996	52,165	624,095
プロボックス	2002	49,702	78,711
アリオン	2001	42,929	99,879
プリウス	1997	41,938	159,626

車名	生産開始年	2003年 生産台数	2003年 までの累計
プレミオ	2001	41,588	105,755
ラウム	1997	40,980	207,661
マークII	1968	40,491	6,496,406
シエンタ	2003	30,913	30,913
アルテッツァ	1998	29,117	259,547
サクシード	2002	28,259	47,874
セリカ	1970	26,659	4,106,250
カルディナ	1992	24,415	791,113
アリスト	1991	19,943	389,765
タウンエース	1976	18,612	2,399,072
グランビア	1995	16,992	341,389
Will サイファ	2002	15,984	25,441
アレックス	2001	14,952	69,276
ライトエース	1970	13,046	2,156,746
ソアラ	1981	12,033	461,211
コンフォート	1995	11,063	113,041
ガイア	1998	9,115	150,905
MR-S	1999	8,893	65,015
コースター	1963	8,485	310,684
オーパ	2000	7,115	73,665
ブレビス	2001	5,688	26,925
ヴェロッサ	2001	4,823	25,472
プログレ	1998	4,379	69,633
ビスタ	1982	3,179	735,082
Will VS	2001	1,438	14,690
ナディア	1998	655	78,042
センチュリー	1967	527	38,240

資料:トヨタ自動車

- 注) 1. バンを含む。
 2. カローラにはカローラバシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。
 3. ハイラックスの累計生産台数にはT100を含む。
 4. カムリにはアルティスを含む。累計にはカムリグランダも含む。
 5. RAV4はEVを除く。
 6. クラウンにはクラウンコンフォート、クラウンエステートを含む。
 7. コンフォートには教習車を含む。
 8. マークIIにはマークIIプリットを含む。
 9. bBにはbBオープンデッキを含む。
 10. アルテッツァにはアルテッツァジータを含む。
 11. タウンエースの累計生産台数にはマスターエースを含む。
 12. コースターの累計生産台数は1965年以降の台数。それ以前はダイナに含まれる。
 13. 1986年以前の輸出用スープラはセリカを含む。
 14. トヨエース・ダイナにはクイックデリバリー、アーバンサポーターを含む。
 15. グランビアにはランドハイエース、ハイメディック、救急車を含む。
 16. ハイエースにはレジアスを含む。

※海外生産台数(主なもの)

車名	生産開始年	2003年 生産台数	2003年 までの累計
カローラ	1979	710,005	6,027,335
カムリ	1987	546,839	5,341,744
ヤリス(ヴェイツ)	2001	184,514	380,824
タコマ	1995	161,530	1,362,343
コロナ/アベンシス	1979	144,862	1,733,017
ハイラックス ^{※1}	1981	135,975	1,721,826
TUV	1976	120,695	1,513,805
シエナ	1997	119,191	674,543
タンドラ	1999	105,661	484,705
シクォイア	2000	66,669	230,527
アパロン	1994	56,309	796,036
クオリス	1999	29,317	105,559
RX330(ハリアー)	2003	13,335	13,335
ハイエース	1989	6,882	106,457
ソルーナ	1996	4,188	115,814

- 注) 1. 海外生産台数は現地調達率40%以上(F.O.B.価格ベース)の台数。
 2. カローラにはマトリックス、ヴォルツを含む。
 3. カムリにはカムリソラーラを含む。
 4. ※1 タイで生産のオーストラリア向けCKDは含まず。

トヨタ車の車名別国内登録台数

車名	販売開始年	2003年登録台数	2003年までの累計
カローラ	1966	199,238	11,098,756
ウィッシュ	2003	158,670	158,670
イスト	2002	103,955	207,537
ノア	2001	85,226	189,737
アルファード	2002	83,537	136,969
エスティマ	1990	74,942	1,187,204
ヴィッツ	1999	71,117	631,813
ヴォクシー	2001	58,041	148,512
クラウン	1955	56,213	4,678,579
プロボックス	2002	50,462	76,433
アリオ	2001	44,297	96,214
ハイエース	1967	44,180	2,501,162
ファンカーゴ	1999	42,728	323,762
マークII	1968	41,740	4,777,200
bB	2000	40,819	239,695
プレミオ	2001	39,979	100,665
ラウム	1997	38,577	204,852
イプサム	1996	29,708	470,792
サクシード	2002	28,879	46,425
ハリアー	1997	28,686	161,989
カルディナ	1992	26,699	752,684
シエンタ	2003	26,604	26,604
ランドクルーザー	1951	25,461	603,999
ダイナ	1956	22,024	1,103,873
ブラッツ	1999	20,195	159,744
セルシオ	1989	19,400	340,064
タウンエース	1976	18,659	2,076,290
ハイラックス	1968	17,044	1,123,453
プリウス	1997	17,040	80,472
WILL サイファ	2002	16,443	24,546
トヨエース	1954	15,254	1,279,973
アレックス	2001	15,179	71,950

車名	販売開始年	2003年登録台数	2003年までの累計
デュエット	1998	12,864	120,978
RAV4	1994	11,731	330,172
コンフォート	1995	11,049	94,122
ライトエース	1970	10,535	1,704,319
ガイア	1998	10,049	149,647
クルーガー	2000	9,814	48,636
レジアス	1997	9,770	155,957
オーパ	2000	7,918	73,181
アルテッツァ	1998	6,765	104,236
カムリ	1980	6,262	1,182,254
アベンシス	2003	6,238	6,238
プレビス	2001	5,900	26,373
ヴェロッサ	2001	5,038	24,980
ヴォルツ	2002	4,439	8,892
プログレ	1998	4,438	69,456
ウィンダム	1991	4,255	222,838
ビスタ	1982	3,869	734,005
アリスト	1991	3,464	141,628
コースター	1963	2,455	130,787
セリカ	1970	2,184	860,777
キャミ	1999	2,015	37,222
MR-S	1999	1,743	15,741
WILL VS	2001	1,705	14,568
クイックデリバリー	1995	1,510	15,762
ソアラ	1981	814	342,120
ナディア	1998	804	77,936
センチュリー	1967	515	38,174
プロナード	2000	445	7,614
ハイメディック	1997	343	1,607
スパーク	2000	312	8,979
トヨタFCHV	2002	10	17

資料：トヨタ自動車

- 注) 1. バンを含む。
 2. クラウンにはクラウンコンフォート、クラウンエステートを含む。
 3. マークIIにはマークIIブリットを含む。
 4. カムリの累計登録台数にはカムリグラシアを含む。
 5. アルテッツァにはアルテッツァジャータを含む。
 6. ビスタにはビスタアルデオを含む。
 7. カローラにはカローラスパシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。
 8. bBにはbBオープンデッキを含む。
 9. コンフォートには教習車を含む。
 10. ハイエースにはグラントハイエース、ツーリングハイエース、ハイエース救急車を含む。
 11. ダイナ、トヨエースにはアーバンサポーターを含む。

国内販売車両一覧(2004年2月現在)

車名	車名の由来	初代モデル発表時期	最終組立工場																			
			トヨタ					NUMMI	TMMK	TMUK	ボディメーカー											
			本社工場	元町工場	高岡工場	堤工場	田原工場				トヨタ車体	関東自動車工業	セントラル自動車	アラク	岐阜車体工業	ダイハツ工業	日野自動車	豊田自動織機	トヨタ自動車九州			
1	ランドクルーザー ¹⁾	Land(陸)と Cruiser(巡洋艦)を合成した名前で、「陸の巡洋艦」という意味	1951.8	△				◎							◎							
2	ダイナトヨエース	ダイナはDynamic(活力ある、機動力ある)の短縮、トヨエースはTOYOTAとAce(第一人者、最も優れた者、切り札)からの合成語	1956.5(ダイナ) 1954.9(トヨエース)	△							◎					◎					◎	
3	クラウン ²⁾	英語で「王冠」という意味	1955.1		◎			◎					◎									
4	コースター	「沿岸貿易船」「巡航船」という意味	1963.3	△											○							
5	カローラ ³⁾	英語で「花の冠」という意味	1966.10			◎							◎	◎								◎
6	センチュリー	英語で「1世紀=100年」という意味	1967.9										○									
7	ハイエース(含レジアスエース)	High(高級な、より優れた)とAceの合成語	1967.10										◎			◎						
8	ハイラックス ⁴⁾	High(高級な、より優れた)とLuxury(ぜいたくな、豪華な)の合成語	1968.3					◎													◎	
9	マークII ⁵⁾	「コロナの第2世代」「コロナの上級車」という意味	1968.9		◎								◎									
10	セリカ	スペイン語で「天の」「天空の」「神の」「天国のような」の意味	1970.10										○									
11	ライトエース	Light(軽い、軽快な)とAceの合成語	1970.10	△									○									
12	タウンエース	Town(町、都会)とAce(第一人者、最も優れたもの、切り札)の合成語	1976.10	△									○									
13	カムリ	カムリは日本語の「冠」をもとにつくった言葉	1980.1					○														
14	ソアラ	英語で「最上級グライダー」という意味	1981.2											○								
15	セルシオ	ラテン語で「至上、最高」という意味	1989.10					○														
16	エスティマT エスティマL	英語で「尊敬すべき」という意味のエスティマブル(estimable)からの造語	1990.5										○									
17	ウインダム	英語のwin(〜に勝つ)とdom(〜の状態)を合成。勝っている状態、常勝の意をこめた造語	1991.9					◎					◎									
18	アリスト	英語で「最上の」「優秀な」の意味	1991.10					○														
19	ハイメディック	「高規格な医療設備を備えた車」という意味	1992.5													○						
20	カルディア	イタリア語のCARDINALE(「中心的な、主要な」の意)からの造語	1992.11					○														
21	RAV4 L RAV4 J	Recreational Active Vehicle 4 wheel driveの略LはLiberty、JはJoyfulの意味	1994.5					◎														◎
22	コンフォート ⁶⁾	「安らぎ、快適」という意味	1995.12											○								
23	イプサム	ラテン語 IPSUM「本来の」の意味	1996.5					◎					◎									
24	レジアス	ラテン語で「華麗な」「すばらしい」の意味	1997.4										○									
25	ラウム	英語の「ROOM」に相当するドイツ語	1997.5											○								
26	プリウス	ラテン語で「〜に先立って」の意味	1997.10					○														
27	ハリアー	英語で「小さな鷹の一種“チュウヒ”」の意味	1997.12																			○
28	プログレ	フランス語で「進歩」「進取」の意味	1998.5		○																	
29	ガイア	ギリシャ神話に登場する「大地の女神」の意味	1998.5										○									
30	デュエット	DUET英語で「二重奏」の意味	1998.9																			○ (OEM)

注) 1) ランドクルーザーブレードを含む。 2) クラウンコンフォート、エステートを含む。 3) カローラバシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。 4) ハイラックスサーフを含む。

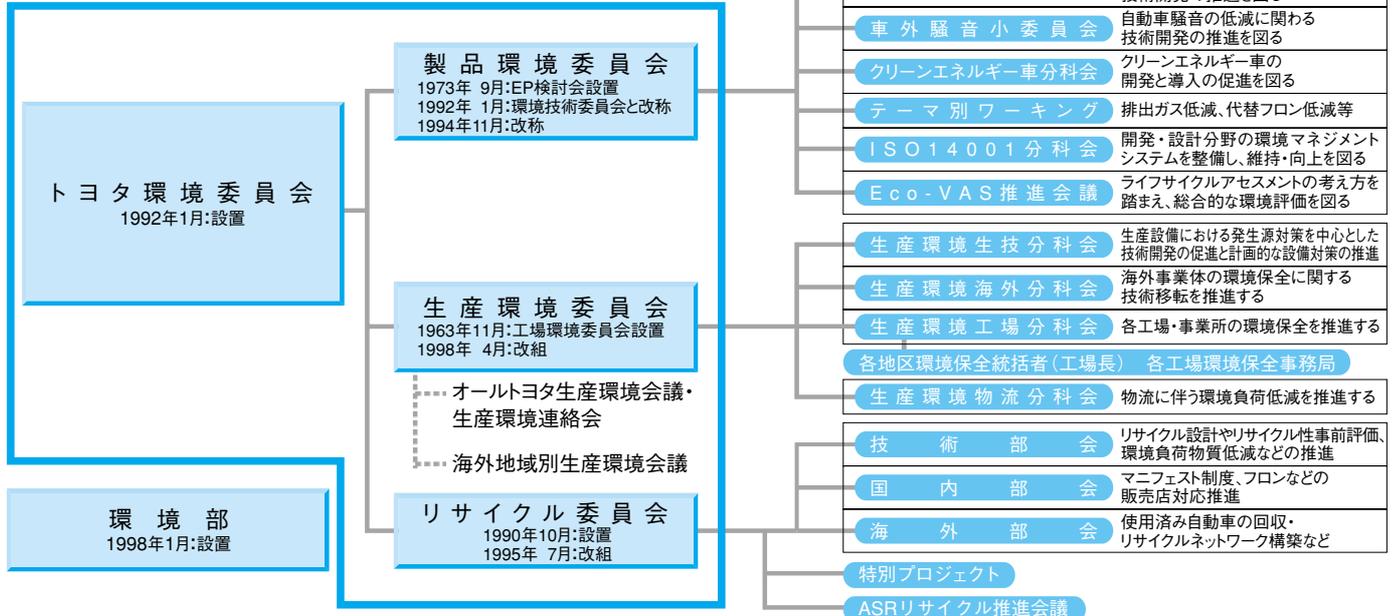
トヨタは1992年1月に「地球環境に関するトヨタの取り組み方針（通称：トヨタ地球環境憲章）」を制定し、1993年2月にはこれをより具体的に企業活動へ反映させるため「トヨタ環境取り組みプラン」を策定しました。2001年より2005年度目標を定めた第3次取り組みプランに基づく活動を開始し、目標達成に向け取り組みを進めています。

■「トヨタ地球環境憲章」と「トヨタ環境取り組みプラン」

トヨタ地球環境憲章(通称)		トヨタ環境取り組みプラン(第3次:2001年~2005年)				
基本方針	行動指針	項目	具体的な実施事項・目標等(抜粋)			
豊かな21世紀社会への貢献	1.すべての段階でゼロエミッションに挑戦	①燃費の向上	・国内新燃費基準の早期達成			
		②排出ガスの低減	・ガソリン車の一層の低エミッション化 ・クリーンディーゼル車の開発、導入			
		③クリーンエネルギー車の開発	・普及拡大に向けたハイブリッドシステムの一層のレベルアップと搭載車種の拡充 ・燃料電池車(FCHV)の開発と早期導入			
		④リサイクル性の向上	・2015年リサイクル実効率95%に対応するリサイクル設計を2005年までに車両へ織り込み			
		⑤環境負荷物質含有量の管理・低減	・水銀、カドミウム、砒素の使用廃止と鉛、六価クロムの使用低減			
		⑥車の騒音の低減	・燃費向上、排ガス低減との両立をはかった騒音低減技術の開発			
		⑦エアコンの温暖化対応	・CO ₂ 冷媒エアコンの開発等			
		⑧温暖化防止対策の推進	・CO ₂ 総排出量を1990年度比で2005年度末までに5%、2010年度末までに10%低減			
		⑨環境負荷物質の管理・低減	・VOC(塗装溶剤排出量)を2005年度末までに全ライン平均35g/mi以下 ・PRTR*対象物質を2005年度末までに1998年度比50%減			
		⑩廃棄物低減と省資源	・2003年度末までに全工場で埋立廃棄物ゼロ ・焼却廃棄物を2005年度末までに1990年度比1/3以下			
環境技術の追求	(1)トップレベルの環境性能を有する製品の開発・提供	⑪水資源の節約	・車両工場の水使用量を2005年度末までに台あたり原単位を1995年度比20%減			
		⑫物流合理化の推進	・輸送効率の向上によりCO ₂ 総排出量を1990年度以下に安定			
		⑬総合的な事前評価体制の整備	・生産・使用・廃棄の各段階での環境負荷物質管理基準、低減目標への製品別適合状況フォロー体制の充実			
		⑭環境関連事業の推進	・環境改善に寄与する各種ITSの開発と普及推進 ・植林事業の着実な推進			
		自主的な取り組み	2.関係会社との協力	⑮仕入先との活動充実	・環境マネジメントシステム整備の促進・支援とトヨタ基準に基づく環境負荷物質管理の徹底	
				⑯販売店との活動充実	・環境マネジメントシステムの整備、及びトヨタ販売店環境基準目標達成の促進・支援	
			3.社会的取り組み	(1)循環型社会づくりへの参画	⑰リサイクルシステムの整備	・95%リサイクル処理技術の実証と提案 ・政府、自治体、関連業界との連携による、製造から廃車処理までの自動車リサイクルシステム構築への参画
					⑱交通システムの研究と提言	・渋滞対策等環境改善に資する道路交通政策の研究と提言
				(2)環境政策への協力	⑲環境基礎研究の充実と提言	・自動車排出ガスの沿道環境への影響実態調査、及び生体影響調査・研究の推進
			(3)事業活動以外でも貢献	⑳社会貢献活動の推進	・里山資源の新たな活用研究・試行、及び市民活動と連携した森づくり、環境教育の実施	
4.情報開示	⑳広報活動の展開		・環境報告書の充実と継続発行			
	㉑従業員への教育・啓発活動		・全社員教育の体系的実施と充実			
	㉒総合的な環境マネジメントの推進		・連結環境マネジメント体制の整備と推進			
〈取り組み体制〉						

*環境汚染物質排出・移動登録

環境問題への社内対応組織

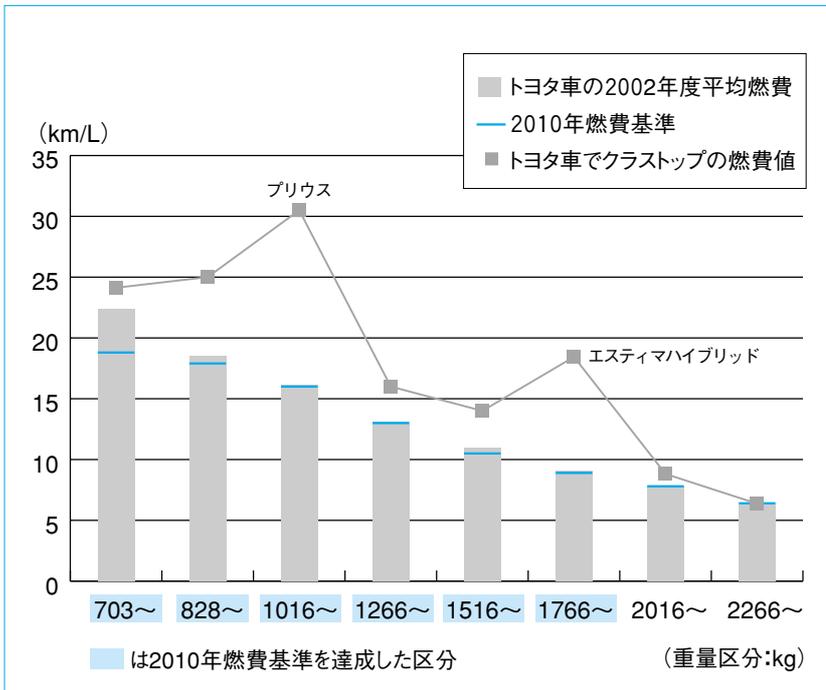


持続可能なモビリティ社会を実現するため、自動車は燃費向上と排出ガス低減に最大限に取り組むことが重要です。トヨタでは、新世代エンジンや新しい排出ガス低減システムの開発・導入などにより、2010年燃費基準の早期達成と超一低排出ガスレベル達成車の拡大を進めています。

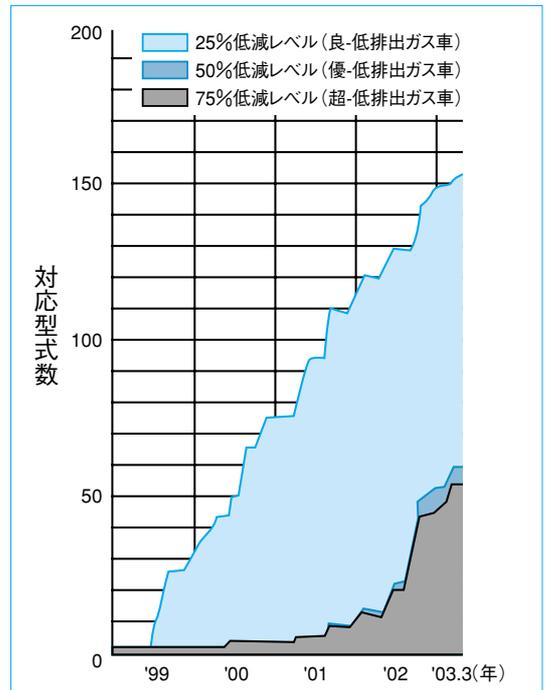
2002年度には、重量クラス別8区分のうち6区分の平均燃費で2010年燃費基準を上回り、総生産台数の75%を達成しました。また、同基準をクリアし、かつ超一低排出ガスレベルを達成した、グリーン購入法*における政府公用車基準を満たす生産台数の比率は2003年3月で53%に拡大しました。

※「国等による環境物品等の調達等に関する法律」で、環境配慮製品の普及促進を図るため、国などの公的機関が積極的にグリーン購入することを制定。

■ 2002年度の2010年燃費基準とトヨタ車の燃費実績

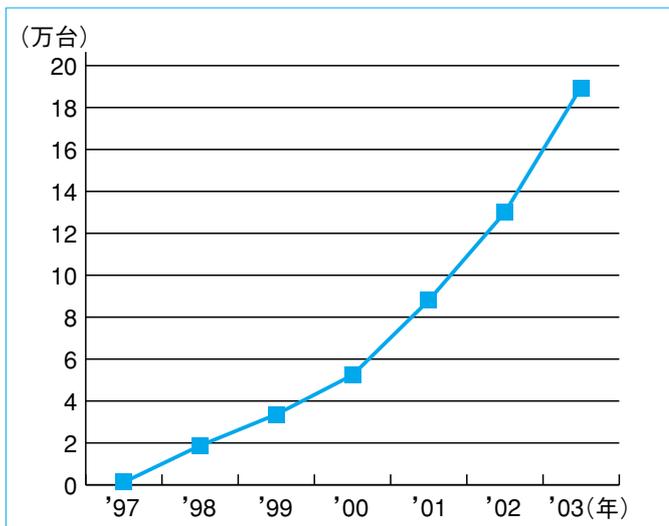


■ ガソリン車平成12年低排出ガス規制レベル対応型式数の推移



1997年に世界初の量産ハイブリッド車プリウスを発売して以来、エスティマハイブリッド、クラウンマイルドハイブリッドなどを国内市場に導入し、2003年末でハイブリッド車の累計販売台数は国内外合わせ18万台を突破しました。また、2002年12月に燃料電池ハイブリッド車「トヨタFCHV」の限定発売を開始してから、2003年末までに、日米で15台の車両を販売しました。さらに、2003年8月には東京都にFCバス1台を納め、国内で初めて実用運行を開始しました。

■ ハイブリッド車の累計販売台数 (全世界)



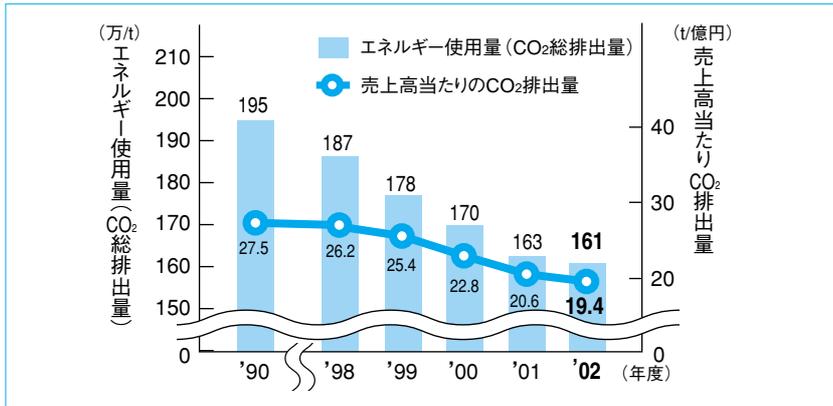
■ 燃料電池ハイブリッド車「トヨタ FCHV」



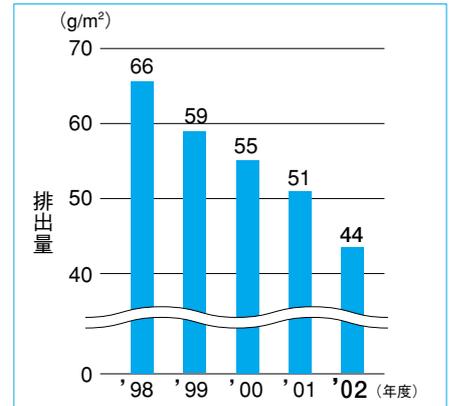
環境対策
燃費・排出ガス対策とクリーンエネルギー車の開発

「トヨタ生産システムの追求」と「ゼロエミッションへの挑戦」をリンクして進め、徹底したムダ排除による環境負荷の低減を目指すことが生産工程における環境取り組みの基本的考えです。この考えを基に2005年を目標とした低減シナリオに従い活動した結果、2002年度の自動車生産工程におけるCO₂排出量は、前年度比1%減、売上高当たりでは7%低減しました。またVOC（揮発性有機化合物）についても、水溶性塗料を用いた新型塗装システムの採用、揮発性成分の少ないシンナーの採用拡大等により全ライン平均で前年度比14%の低減を実現しました。

■自動車生産工程におけるエネルギー使用量と売上高当たりのCO₂排出量の推移

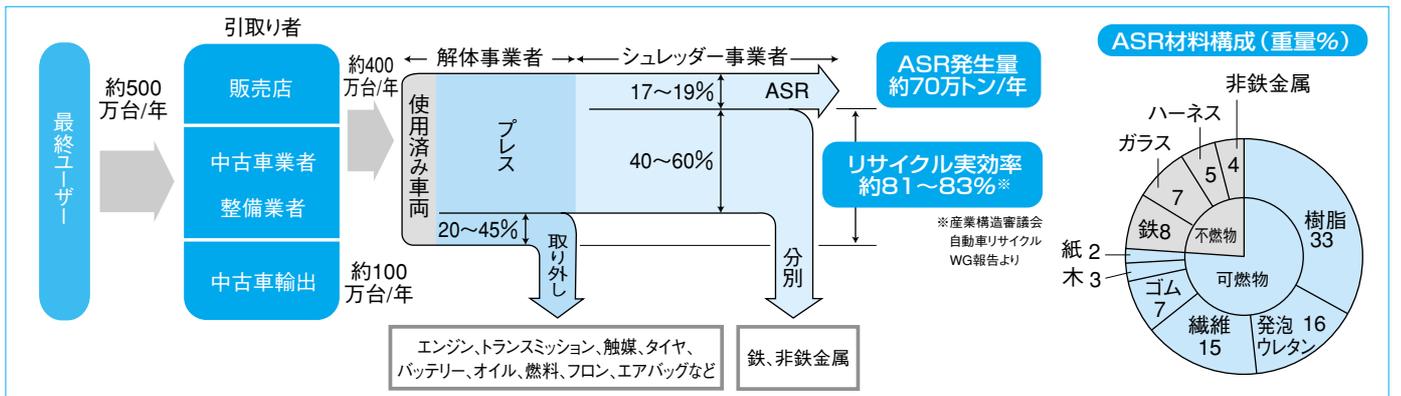


■VOC排出量(全ライン平均)の推移



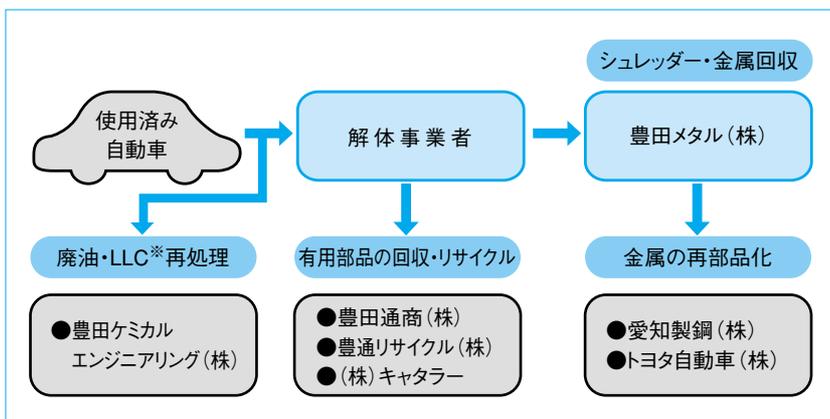
自動車のリサイクルは一企業だけで完結できるものではなく、トヨタでは1970年より関連企業と連携してリサイクルへの取り組みを進めてきました。2002年7月に制定された「使用済み自動車の再資源化等に関する法律」(自動車リサイクル法)の審議にあたって、既存システムの尊重とより高度・高効率な社会コストミニマムとなる最適なシステムの構築を基本的な考え方として、積極的に参画してきました。また、2002年12月にはサーマルリサイクルの実証プラントを豊田メタル(株)半田工場内に建設し、同法で自動車メーカーの引き取り責任となったシュレッダーダストリサイクルの一層の促進とリサイクル費用低減を図るべく、実証試験を進めています。

■使用済み自動車の処理ルート(日本)



資料：トヨタ自動車

■トヨタの使用済み自動車のリサイクルシステム



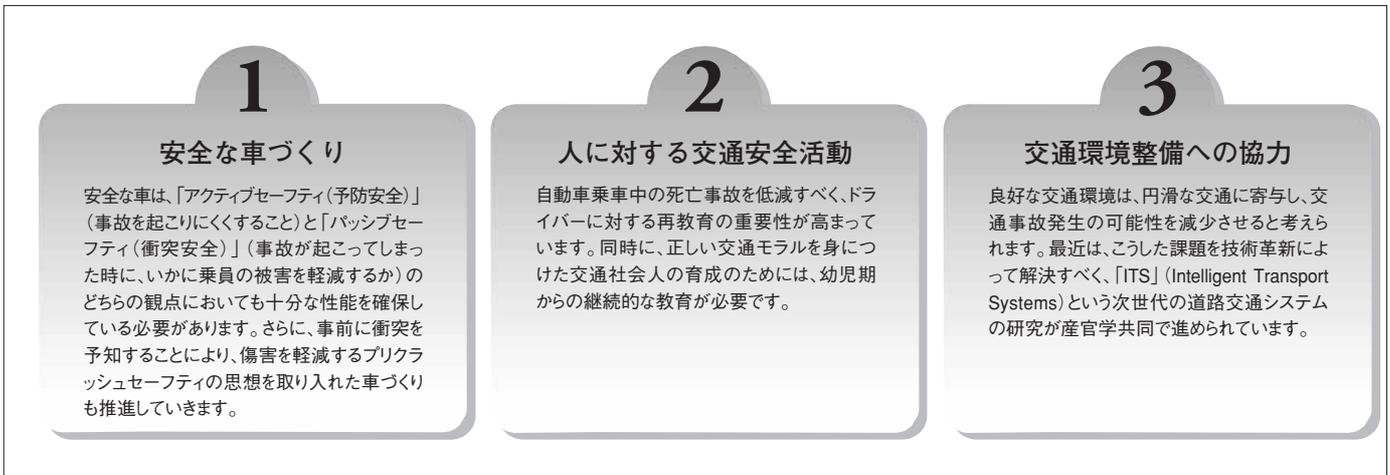
* LLC：ロング・ライフ・クーラント(エンジン冷却液)



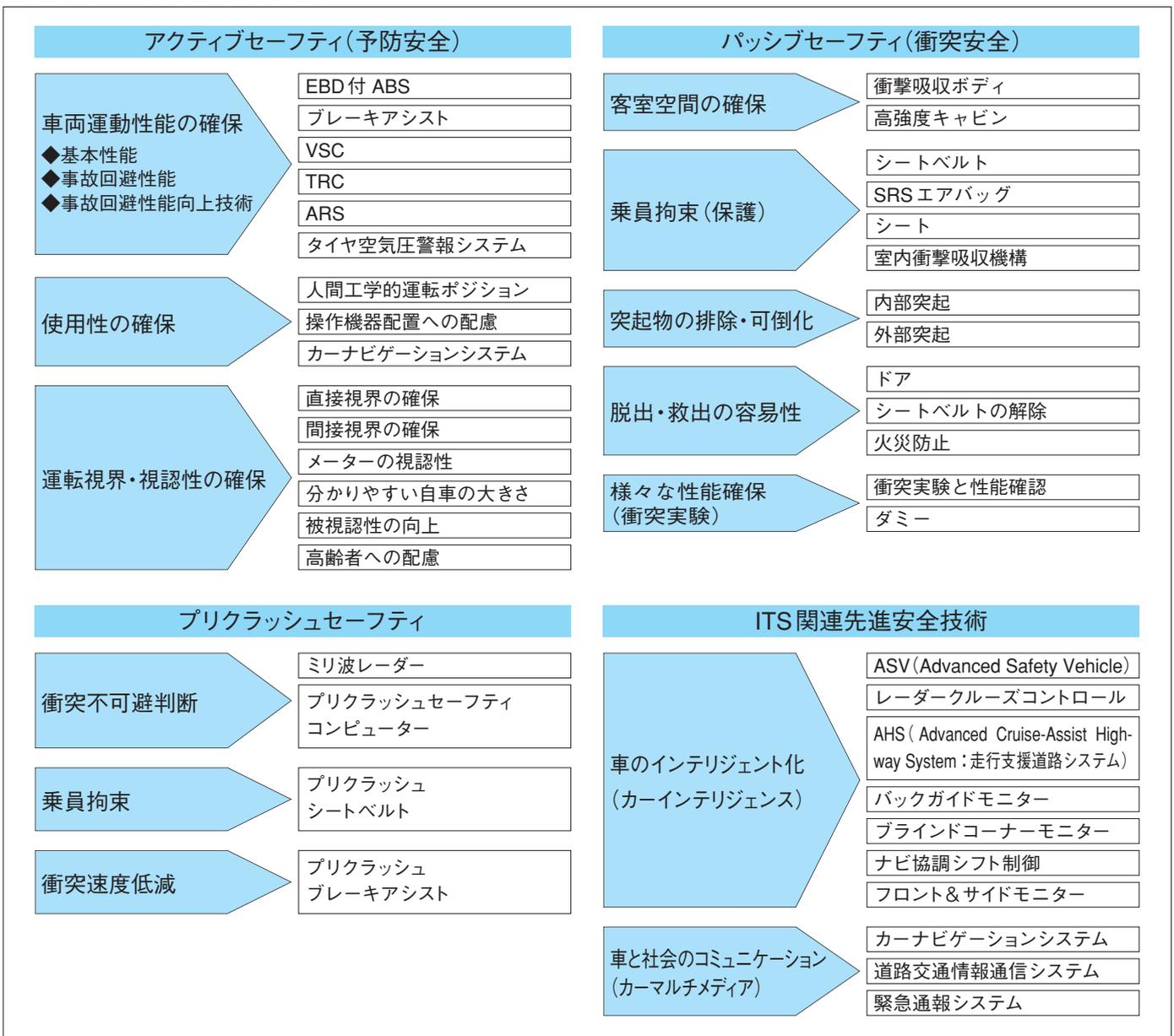
自動車シュレッダーダストサーマルリサイクル実証プラント(愛知県半田市)

交通安全の実現のためには、車の安全性のみならず、それを利用する人々や、交通環境についても考慮する必要があります。これらのことを踏まえ、トヨタは総合的な視点で、積極的な取り組みを続けています。

交通安全に取り組む際の3つの視点

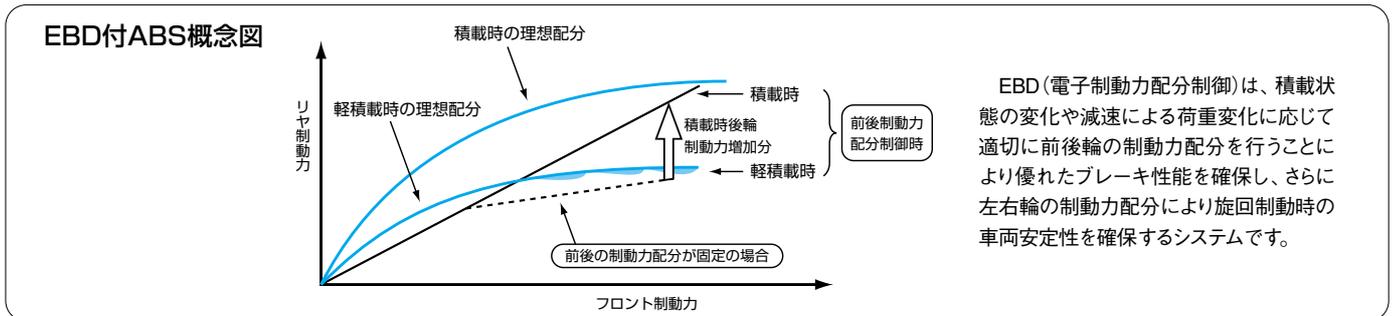


安全な車づくりの具体的な取り組み



アクティブセーフティの基本は、車の本来の機能(安全の重要度からいえば「止まる」「曲がる」「走る」)がドライバーの意図通りに発揮できることです。トヨタは、最新の技術を駆使して常にこの3性能の向上に努めています。また内外から多くの事故データを入力し、コンピューターによる衝突シミュレーション、年間1,000台を超える実車衝突実験を繰り返しながら、安全なボディ構造の追及、乗員保護装置の開発などを実施し、人の傷害をできるだけ少なくする車づくりを推進しています。

■アクティブセーフティ関連技術の例：EBD (Electronic Brake force Distribution) 付ABS



■パッシブセーフティ関連技術の例：「GOA」ボディ (GOA: Global Outstanding Assessment 世界トップレベルの安全性評価)

64 km/h オフセット前面衝突実験の様子



GOAは、「衝撃吸収ボディ」と「高強度キャビン」があいまって乗員の生存空間を確保し、同一排気量クラスで世界トップレベルの乗員保護性能を追求した衝突安全ボディです。このGOAは1995年12月、当時トヨタのラインアップでは最も小さなスターレットから採用を開始し、現在までにほぼ全ての乗用車(含むSUV)に展開を済ませました。そして、クラス世界トップレベルを維持するために試験条件・性能目標を常に進化させています。例えば、実車衝突実験では55 km/hでのフルラップ前面衝突、64 km/hでのオフセット前面衝突、55 km/hでの側面衝突とそれぞれ速度を高め、より厳しい試験条件のもとでGOAの進化を達成しています。

■主要安全装備の充実 (2004年3月現在、SUVを含む乗用車系)

主要な安全装備については、2001年3月に策定した「安全技術採用拡大計画」に基づいて、2005年までにSUVを含む乗用車系のほぼ全ての車種への採用を推進しています。

アクティブセーフティ	事故回避性能向上	EBD付きABS	ABSは全車標準装備完了。 センチュリー、セルシオ、プレビス、プログレ、ウインダム、ソアラ、マークII、ヴェロッサ、カムリ、オーパ、プレミオ、アリオン、プリウス、セリカ、WiLL VS、カローラ、アレックス、bB、プラッツ、ファンカーゴ、ヴィッツ、デュエット、エスティマT,L、エスティマハイブリッド、ガイア、イプサム、ヴォクシー、ノア、クルーガー-L,V、RAV4L,J、キャミ、カルディナ、ウィッシュ、ハリアー、イスト、ハイラックスサーフ、ラウム、アルファードハイブリッド、シエンタ、アベンシスの全車、及びクラウン、アルテッツァ、アルファード、ハイエース、ランドクルーザーに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
		VSC	センチュリー、セルシオ、アリスト、プレビス、プログレ、ソアラ、エスティマハイブリッド、アルファードハイブリッドの全車、及びクラウン、ウインダム、マークII、ヴェロッサ、アルテッツァ、プリウス、カルディナ、カローラ、デュエット、ハイエース、エスティマT,L、イプサム、ヴォクシー、ノア、ランドクルーザー、ハリアー、クルーガー-L,V、ラウム、アベンシス、ヴィッツ、bB、ファンカーゴ、イストに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
		ブレーキアシスト	センチュリー、セルシオ、クラウン、アリスト、プレビス、プログレ、ウインダム、ソアラ、マークII、ヴェロッサ、カムリ、プレミオ、アリオン、WiLL VS、カローラ、アレックス、ラウム、bB、プラッツ、ファンカーゴ、ヴィッツ、エスティマハイブリッド、ガイア、イプサム、ヴォクシー、ノア、ハリアー、クルーガー-L,V、RAV4L,J、ウィッシュ、アルファードハイブリッド、プリウス、シエンタ、アベンシスの全車及びアルテッツァ、カルディナ、ハイエース、エスティマT,L、ランドクルーザー、ラウムに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
プリクラッシュセーフティ	衝突被害軽減	プリクラッシュセーフティシステム	セルシオ、クラウン、ハリアーに装着車を設定。
パッシブセーフティ	乗員拘束(保護)	客室空間	GOA 新型車に順次採用し、ほぼ全ての乗用車(含むSUV)に拡大。
		プリテンショナー&フォースリミッター付シートベルト	新型車に順次採用し、ほぼ全ての乗用車(含むSUV)に拡大。
		デュアルステージSRSエアバッグ	セルシオ、クラウン、ウインダム、ソアラ(助手席)、カムリ、アベンシス、ハリアー、ランドクルーザー、プリウスに全車標準装備。
		SRSサイドエアバッグ	センチュリー(前後席)、セルシオ、アリスト、プログレ、ウインダム、ソアラ、アベンシスに全車標準装備。クラウン、プレビス、マークII、ヴェロッサ、カムリ、アルテッツァ、セリカ、デュエット、イプサム、ヴォクシー、ノア、ハリアー、クルーガー-L,V、ウィッシュ、アルファードハイブリッド、プリウス、シエンタに装着車を設定(順次装着車を拡大)。
SRSカーテンシールドエアバッグ	セルシオ、アリスト、ウインダムに全車標準装備。 クラウン、プレビス、プログレ、マークII、ヴェロッサ、カムリ、アルテッツァ、イプサム、ヴォクシー、ノア、ウィッシュ、アルファードハイブリッド、プリウス、アベンシスに装着車を設定。		

安全対策
アクティブセーフティ(予防安全)・パッシブセーフティ(衝突安全)・プリクラッシュセーフティ

トヨタでは1969年に開始した「トヨタ交通安全キャンペーン」を中心に、シートベルト・チャイルドシートの着用啓発や実技講習会の実施など、「人」に対する幅広い交通安全活動を展開しています。

■トヨタ交通安全キャンペーン

全国交通安全運動の期間に連動して、毎年春・秋に展開しています。

全国の車両販売店、L&F店、部品共販店、レンタリース店の447社と共同で行うこのキャンペーンは、各地域に根ざした活動として34年間継続されています。

①幼児安全啓発活動

1969年の交通安全キャンペーン開始当初から、毎年、全国の幼稚園・保育所の新入園児を中心に交通安全絵本を贈呈。累計で約1億500万部を配布しています。

2003年度は、絵本263万部と紙芝居4万4千部を贈呈しました。これらの中で、道路への急な飛び出しの危険性、道路の正しい歩き方・渡り方に加え、保護者向けにチャイルドシートの正しい使い方等を解説しています。



②シートベルト・チャイルドシート着用啓発活動

シートベルトの着用を安全の第一歩と考え、長年シートベルトの着用啓発に取り組んで来ました。1983年からは、啓発リーフレットの制作・配布に取り組み、近年ではシートベルト・チャイルドシートの正しい使い方やエアバックとの関わりなどへの理解を呼び掛けています。



■トヨタ・ドライバーコミュニケーション

1987年に開始した安全運転実技講習会で、2003年度までに累計約8,400人が受講しています。この講習会は、車の限界挙動の体験やABS等の安全装備の効果と正しい使い方の習得を通じ、安全運転のレベルアップを図るプログラムです。

2003年度は、富士スピードウェイと東京臨海副都心のメガウェブにおいて、受講者のレベルに応じたきめ細かい講習を展開し、約600人が受講しました。



■トヨタ・チャイルドセーフティコミュニケーション

チャイルドシートの必要性や正しい取り付け方について学ぶ体験型講習会です。

2000年より「子供の安全ネットワーク・ジャパン*」、(社)日本自動車連盟(JAF)等との連携により、全国の産院・小児科などで、妊産婦・保護者を対象に開催。

2003年度は、約450人が受講しました。

また、この活動は内閣府より、チャイルドシート利用推進のためのモデル事業に選定(2000年度)されました。

※1997年より全国の産婦人科医・小児科医を中心に小児の事故防護啓発活動を進める団体。



■「トヨタサマースクール」「トヨタセーフティスクール」

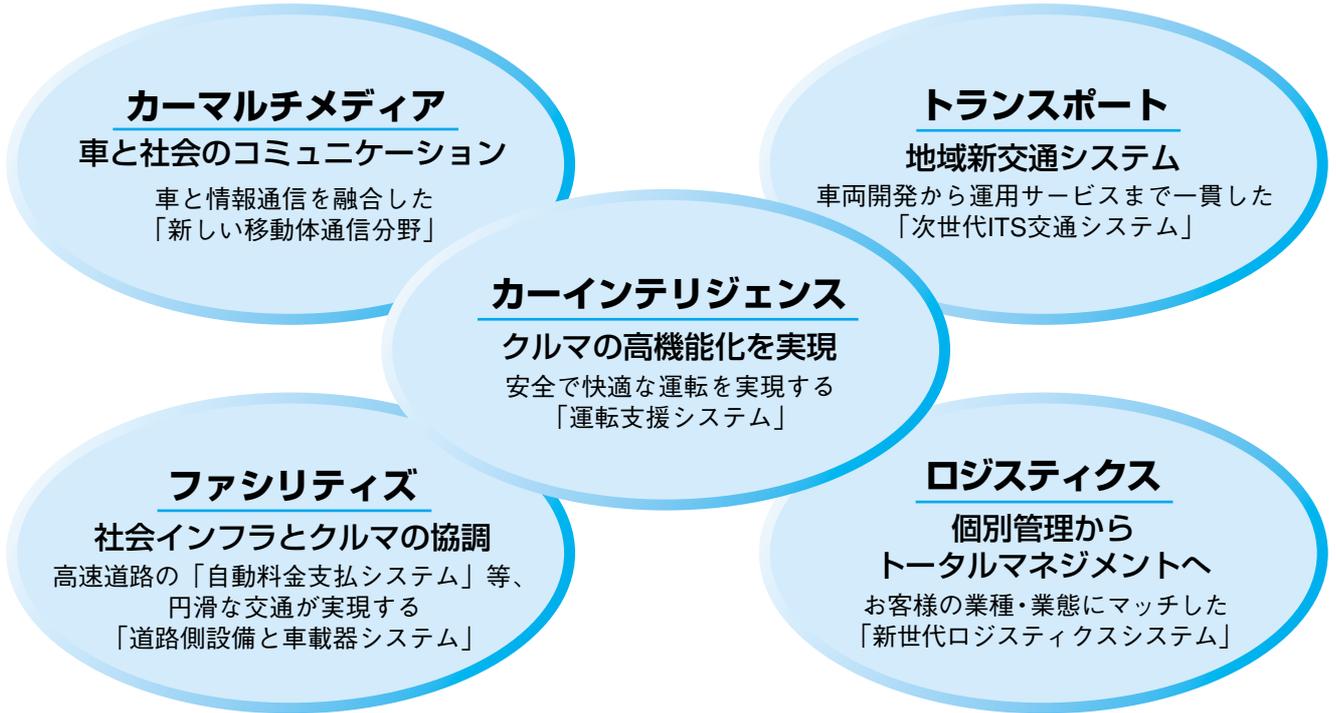
地域交通安全活動の一環として愛知県内の子供たちを本社に招き、社員自ら実地指導する交通安全教室で、1969年より小学生向けの「トヨタサマースクール」を、また、1975年より幼児向けの「トヨタセーフティスクール」を毎年開催しています。

2003年度は約11,500人が参加しました。



トヨタはITSをビジネスの側面だけではなく、自動車交通のもたらすさまざまな課題を解決する、21世紀の新しい社会システム提案の場として捉えています。そして中長期的な視点を持って、より整合性のあるモビリティ社会を構築するために、ITSの取り組むべき分野を5つに分け、これらを総合的、有機的に連携させることで、総合モビリティ企業として21世紀の調和ある成長を目指そうとしています。

■ ITS 事業ビジョン



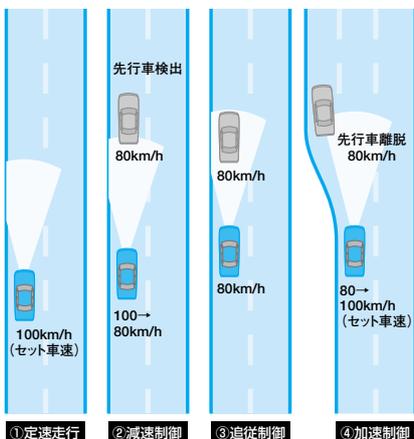
■クルマのインテリジェント化

高度な情報通信技術やセンシング技術を駆使し、障害物の見落とし、ブレーキの踏み遅れ、車線の逸脱等のヒューマン・エラーを何らかの形で補完し、安全を確保し、運転する楽しみを拡げる、いわば人間の五感を補う高機能の実現です。トヨタは、自律型システムの高機能化からインフラとの協調による将来の自動運転まで、ドライバーの多様なニーズにお応えするため、他に先駆けて、実用化に向け積極的に取り組んでおります。

■すでに商品化されたITS 装備

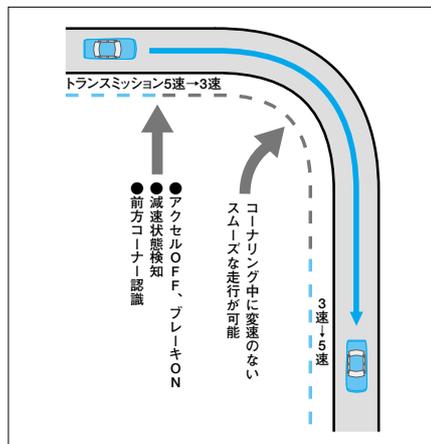
ブレーキ制御付レーダークルーズコントロール
Radar Cruise Control

バンパー内に設置されたレーザーレーダーセンサーなどからの情報により、設定車速内で車速に比例した車間距離を保ちながら追従走行します。また必要に応じブレーキ制御による減速を行うことで、より実用性の高いシステムとしています。



NAVI・AI-SHIFT

ナビでの経路案内中、ナビからの情報をもとにコーナーを認識し、ドライバーがコーナーの前でアクセルを離すと、自動的に5速から3速にシフトダウンし、コーナー走行時は3速を維持。コーナーを出た後、制御を解除するのでスムーズなコーナー走行が可能となります。



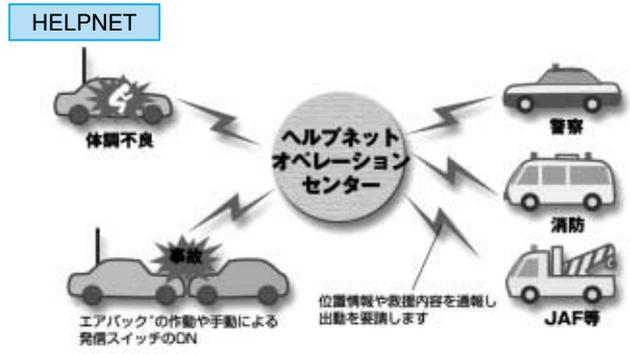
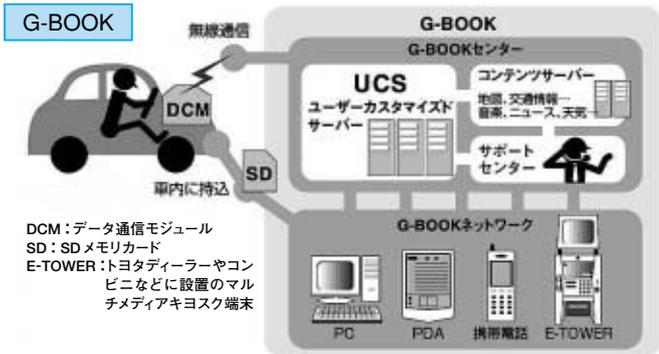
インテリジェント パーキングアシスト
Intelligent Parking Assist

電動パワーステアリングとバックガイドモニター技術を応用し、縦列駐車や車庫入れ等の後退時に自動操舵により運転をサポートします。ディスプレイ上にドライバーが指定した駐車位置まで簡単・安全に誘導してくれます。



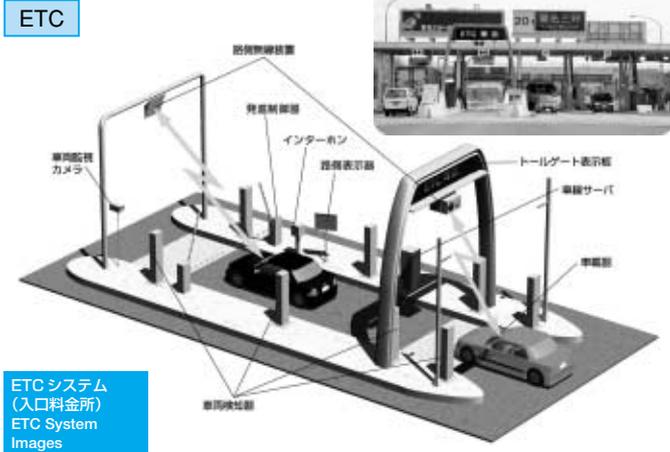
■カーマルチメディア

トヨタは長年の実績を持つ自動車と情報通信の融合によって生まれる新しい移動体通信分野を「カーマルチメディア事業」と位置づけ、インタラクティブな情報提供サービスに取り組んでいます。移動中の車からのリクエストに応じて、リアルタイムに旅行やドライブに役立つ情報を提供するサービスや交通事故・急病発生時に緊急センターを通じ、必要な情報を迅速に救援機関へ伝達するシステムなどを実用化しています。



■ファシリティズ

車と社会インフラが協調しあうことは、ITSの大きな特色です。トヨタは自動車ユーザーの立場からも、より利用しやすい効果的な社会インフラのあり方を研究・提案しています。この分野の代表的システムであるETC(自動車料金支払システム)では、トヨタは東名・名神など主要な高速道路のETC設備工事を受注し、車載器開発と合わせ、国内における有料道路自動車料金支払システムの普及促進に積極的に参画しています。



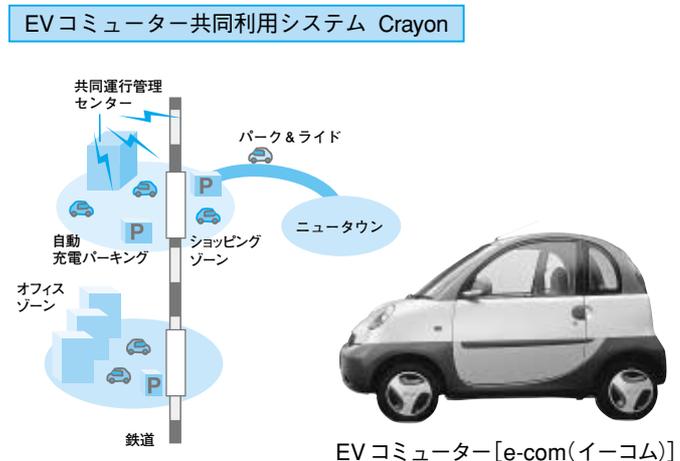
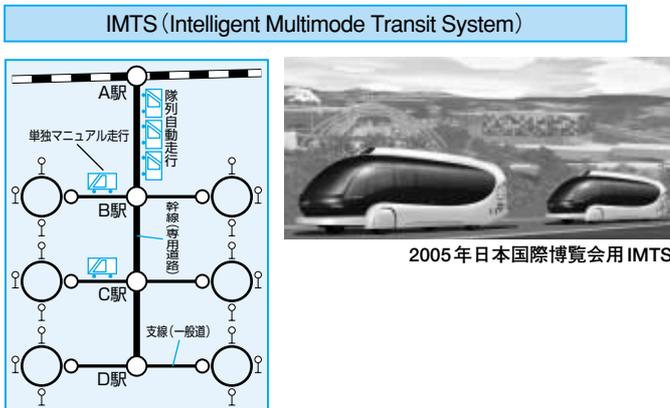
■ロジスティックス

物資の輸送ニーズが高まる中、従来のような単にモノを調達する、加工する、そして運ぶといったひとつひとつの機能で成り立っていた物流から、高度な通信技術を活用した総合的なロジスティックスの構築が必要となっています。トヨタは多様な部品や資材のアッセンブル産業として永年蓄積したノウハウや技術を生かし、業種・業態に適合した総合的なシステムを提案・提供しています。



■トランスポート

トヨタは地域の交通全体のシステム改善に向け、従来の公共車両交通が持つ利点を取り入れ、その短所を改善した中距離・中量から短距離・パーソナルまで対応した次世代ITS交通システムの提案と事業化を目指しています。



ウェルキャブ

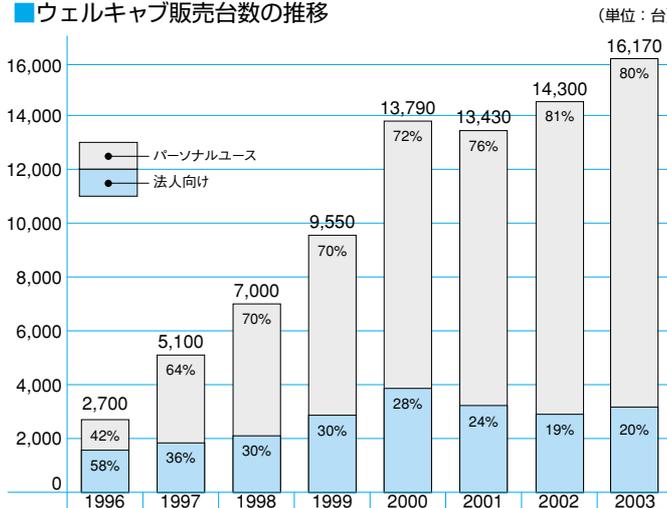
トヨタは「すべての方に快適な移動の自由をご提供する」ことを目指し、自立や介護をサポートする車両の開発・普及に積極的に取り組んでいます。

■ラインアップ

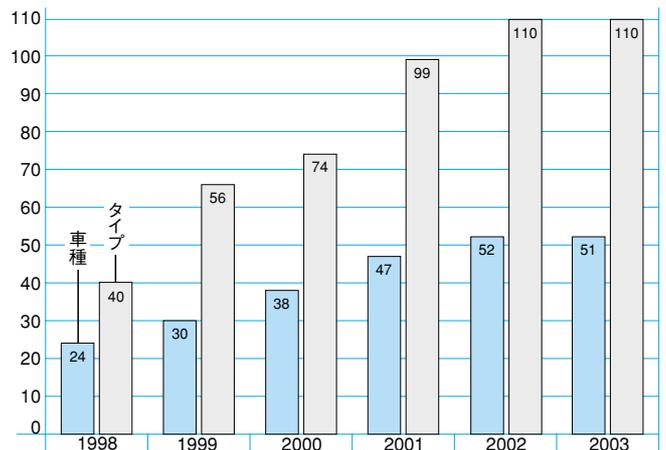
フレンドマッチック車/ フレンドマッチック 取付用専用車	プリウス ^① ② マークII ^② マークIIプリット ^② カムリ ^③ プレミオ ^④ アリオン ^⑤ カルディナ ^① ② カローラ スパシオ ^③	カローラ ^③ カローラ フィールダー ^③ カローラ ランクス ^③ アレックス ^④ ラウム ^④ ⑤ イスト ^④ ⑤ bB ^④ ブラッツ ^④ ⑤	ファンカーゴ ^④ ⑤ ヴィッツ ^④ エスティマT ^① /L ^① ガイア ^⑤ イブサム ^④ ⑤ ウィッシュ ^④ ⑤ シエンタ ^④ ⑤	
助手席回転 スライドシート車	プリウス ^① ② マークII ^② マークIIプリット ^② カムリ ^③ オーバ ^④ プレミオ ^④	アリオン ^⑤ カルディナ ^① ② カローラ ^③ カローラ スパシオ ^③ カローラ フィールダー ^③ カローラ ランクス ^③	アレックス ^④ bB ^④ イスト ^④ ⑤ ファンカーゴ ^④ ⑤ ブラッツ ^④ ⑤ ヴィッツ ^④	ウィッシュ ^④ ⑤ シエンタ ^④ ⑤ ラウム ^④ ⑤ 
全自動助手席回転 スライドシート車	セルシオ ^① ② プログレ ^③ クラウン ロイヤルシリーズ ^①	クラウン エステート ^① クラウン マジェスタ ^① プレビス ^①	マークII ^② マークIIプリット ^② カムリ ^③	
後席回転スライドシート車	ラウム ^④ ⑤			
全自動後席回転スライドシート車	セルシオ ^① ②			
助手席リフト アップシート車	オーバ ^④ カローラ スパシオ ^③ ラウム ^④ ⑤ イスト ^④ ⑤ bB ^④ ファンカーゴ ^④ ⑤ ブラッツ ^④ ⑤ ヴィッツ ^④	アルファードG ^④ ⑤/V ^④ エスティマT ^① /L ^① ② エスティマハイブリッド ^① ② ガイア ^⑤ イブサム ^④ ⑤ ウィッシュ ^④ ⑤ ヴォクシー ^④ ノア ^④	ハリアー ^④ クルーガーL ^④ ⑤/V ^④ RAV4 L ^④ /J ^④ シエンタ ^④ ⑤	 
サイドリフト アップシート車	ハイエース ^⑥ アルファードG ^④ ⑤/V ^④	エスティマT ^① /L ^① ② エスティマハイブリッド ^① ②	ヴォクシー ^④ ノア ^④ アルファードハイブリッド ^④ ⑤	
車いす仕様車	ファンカーゴ ^④ ⑤ アルファードG ^④ ⑤/V ^④ ハイエース ^⑥ レジアスエース ^⑦	エスティマT ^① /L ^① ② ヴォクシー ^④ ノア ^④ タウンエースバン ^⑧	ライトエースバン ^⑧ コースター ^⑧ シエンタ ^④ ⑤	 
後席回転シート仕様	センチュリー ^⑨ クラウン セダン ^⑨	クラウン コンフォート ^⑨ コンフォート ^⑨		
福祉タクシー仕様車	ハイエース ^⑥			

注) 2004年1月現在 取り扱い店 ①:トヨタ店 ②:トヨペット店 ③:カローラ店 ④:ネット店 ⑤:ピスタ店(一部地区で取り扱いが異なる場合がある)

■ウェルキャブ販売台数の推移



■ラインアップの拡大



■ウェルキャブ総合展示場「トヨタハートフルプラザ」来場者数

「トヨタハートフルプラザ」では、常時8台～10台のウェルキャブ車を展示し、「実車を見たい」「使い勝手を確かめたい」といったお客様の要望にお応えするとともに、専任スタッフが一人ひとりのニーズに合わせたカスタマイズなどを含めたコンサルティングを行い、障害者、高齢者のモビリティライフ向上に向けた取り組みを進めています。

	札幌	千葉	千葉中央	東京	名古屋	神戸	広島	福岡
来場者数 (オープン～2003年12月)	約740人	約13,330人	約770人	約37,570人	約8,490人	約22,560人	約3,300人	約12,040人
オープン	2003年9月	2001年7月	2003年6月	1998年7月	2002年9月	1998年10月	2000年10月	1999年11月

「ガズー(GAZOO)」は、トヨタの楽しいビジュアル情報ネットワークです。クルマの情報だけでなく、毎日の暮らしを楽しく、便利にする情報をたくさん紹介しています。GAZOOは、GAZOO(画像)およびGA(絵)のZOO(動物園)を意味する造語です。(GAZOOのURL : <http://gazoo.com>)

がずべっと



場所や時間、形態にこだわらない、自由なガズーの情報発信スタイル。

ガズーはインターネットによるアクセスだけでなく、様々な場所でご利用いただくことができます。また、その内容はカーライフ情報を中心に各エリアごとに変化しています。しかもメンバーになることによって、どのエリアでも同じようにガズーを楽しむことができます。



■AUTO TOWN
 新車・中古車など、カーライフに関する様々な情報を提供しています。
 保険情報・メンテナンス情報やオートキャンプ場情報など多彩な情報をご用意しています。

- New Car(新車情報)
- U-Car(中古車情報)
- Car Life(カーライフ)

■SHOPPING TOWN
 ギフト商品からパソコン、BOOK、DVDなどさまざまな商品の販売とホテル旅館の検索や予約ができます。マネーや暮らしに関する情報もご案内します。

- CD・DVD・GAME
- BOOK
- DOWNLOAD
- TRAVEL
- SERVICE
- MONEY

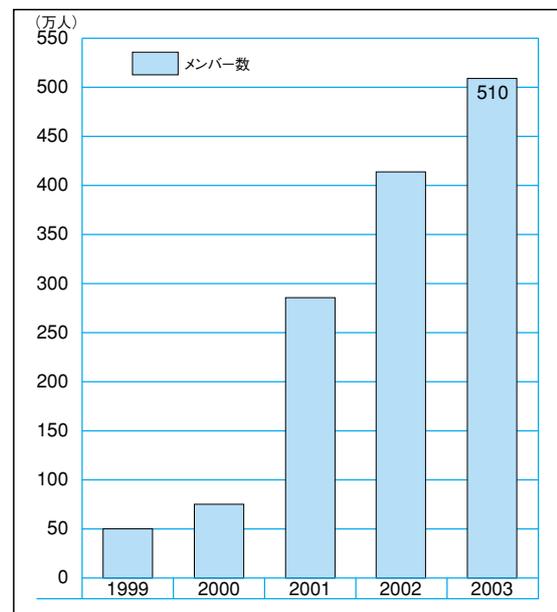
■COMMUNITY TOWN
 メンバー同士のフォーラム・チャットなど、コミュニケーションが中心の情報スペースです。がずべっと(育成シミュレーション)ゲームや星占いはごらさず。

- フォーラム
- チャット
- Web Paradise
- GAME
- 占い

■ガズーメンバーについて

ガズーメンバーとは、住所や氏名を登録することで全てのガズーコンテンツをより便利で安全に楽しんでいただくためのサービスです。(入会費・年会費は無料)

■ガズーメンバー数推移



モータースポーツ

トヨタのモータースポーツ活動は、「クルマの楽しさの提供」によるトヨタファンの拡大と「技術力の向上」を目的とし、40年以上にわたり、国内はもちろんのこと、世界規模であらゆるレベルのモータースポーツに参戦し、実績を積み上げてきました。

2002年にはF1に初参戦するなど、今後もモータースポーツ活動において素晴らしい成果を挙げることで、21世紀の人々に夢を提供しつづける企業でありたいと考えています。

■フォーミュラ・ワン世界選手権 (F1)



- ・2002年シーズンから、トヨタは“パナソニック・トヨタ・レーシング”として、単独チーム(フル・コンストラクター)で参戦。
- ・2004年シーズンのドライバーは、クリスチアーノ・ダ・マッタ、オリビエ・パニスの2人。
- ・トヨタF1活動の拠点は、ドイツにあるトヨタの子会社 トヨタ・モータースポーツ有限会社(TMG)。トヨタF1プロジェクトにおいて、シャシー・エンジンの開発、チーム運営を担当。

■インディカーシリーズ (IndyCar Series)



- ・トヨタは1996年より米国を中心に開催されるCARTシリーズにエンジンサプライヤーとして参戦。2002年シーズンは、マニファクチャラーならびにドライバーのダブルタイトルを獲得。
- ・2003年には舞台をCARTシリーズからインディカーシリーズに移行。マニファクチャラーならびにドライバーのダブルタイトルを獲得。
- ・高木虎之介選手もトヨタエンジン搭載車でインディカーシリーズに参戦中。

■国内活動



■富士スピードウェイ



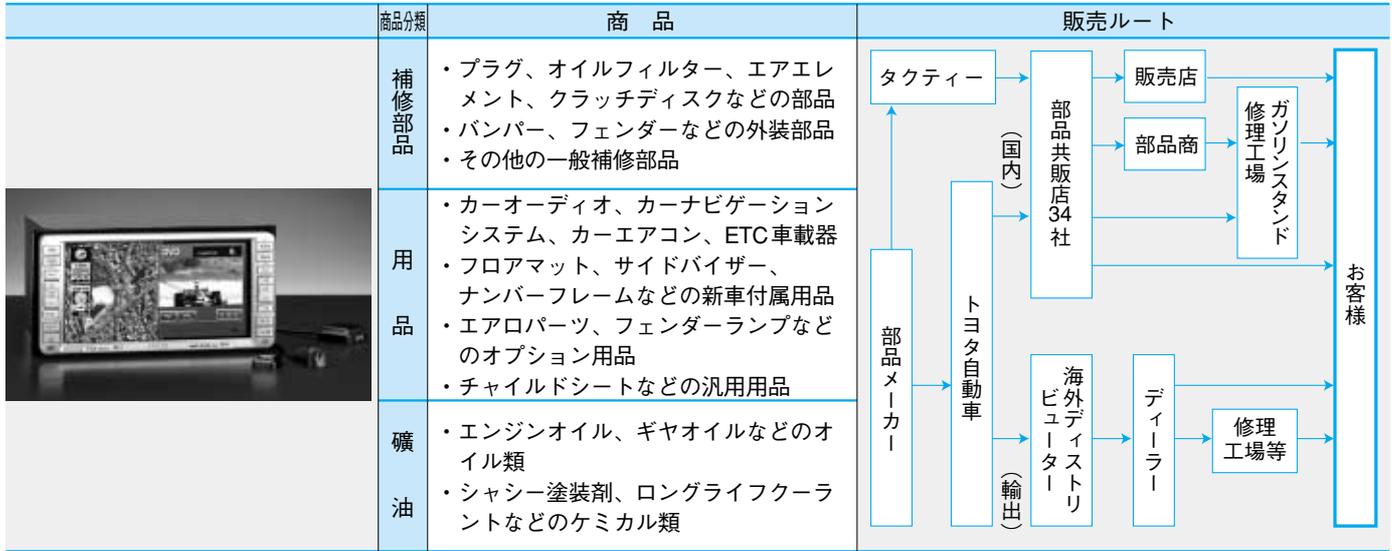
- ①全日本GT選手権(JGTC)
 - ・トヨタテクニクラフト(株)(TRD)を通じて、JGTCに参戦するチームへ参戦車両(スーパ、セリカ、MR-S)を提供。
- ②その他国内レース
 - ・全日本F3選手権に参戦するトムス他を支援。
 - ・ESSOフォーミュラ・トヨタの開催。
 - ・NETS・カップの開催。

- ・トヨタは2000年11月に富士スピードウェイ(株)の経営権を取得。
- ・2005年3月の完成を目指し、「モータースポーツの振興」「若者への情報発信」「安全運転教育の推進」を3つの柱とした、改修を実施中。

自動車部品

トヨタの部品・用品販売は、修理、整備に必要な補修部品、カーアクセサリ用品、オイル類を中心に販売。また、国内だけでなく海外においてもサービス体制を整え、お客様のニーズに迅速に対応できるようにしています。

事業内容



注) 2004年2月現在。

トヨタ部品・用品販売の推移

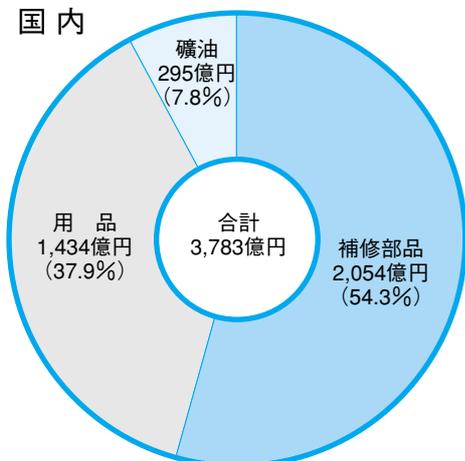
(単位: 億円)

	0	2,000	4,000	6,000	8,000
2003	国内		3,783	海外*	1,882
2002			3,623		1,983
2001			3,741		1,749
2000			3,697		1,577
1999			3,630		1,676
1998			3,711		1,900
1997			3,989		1,867
1996			4,147		1,764
1995			4,051		1,478
1994			3,958		1,572

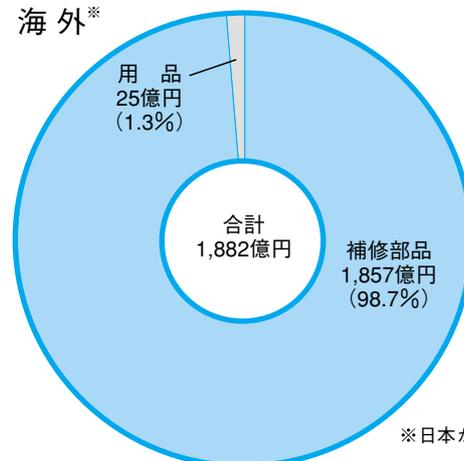
※日本からの輸出分のみ

トヨタ部品・用品の売上の構成 (2003年)

国内



海外*



※日本からの輸出分のみ

トヨタレンタリース

トヨタ自動車をフランチャイザーとしたトヨタレンタリース店65社を国内に展開し、2003年(9月末時点)のトヨタレンタリースのレンタカー保有台数は、7.6万台(前年比110%)、カーリース保有台数は33.9万台(同106%)と、年々着実に拡大しています。

トヨタレンタリースの売上高推移

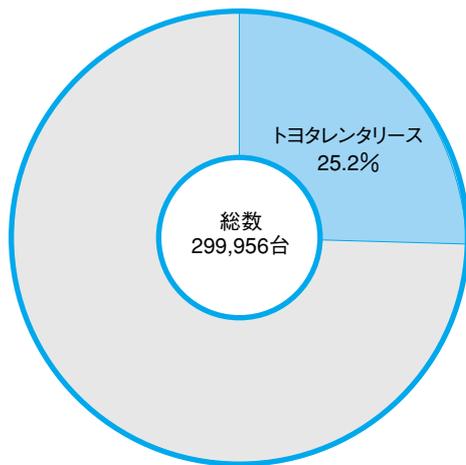
●レンタカー (単位: 億円)			●カーリース (単位: 億円)		
年	売上高	前年比	年	売上高	前年比
2003	951	105	2003	1,531	102
2002	908	100	2002	1,493	102
2001	910	105	2001	1,469	103
2000	870	108	2000	1,424	101
1999	807	105	1999	1,405	99
1998	770	100	1998	1,426	102
1997	772	103	1997	1,392	105
1996	751	104	1996	1,324	105
1995	719	104	1995	1,265	103
1994	694	103	1994	1,223	104

国内のレンタカー、カーリースの保有台数推移(各年9月末時点)

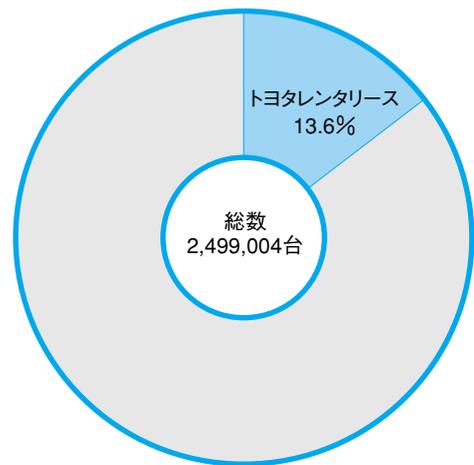
●レンタカー (単位: 台)			●カーリース (単位: 台)		
年	総数	トヨタレンタリース	年	総数	トヨタレンタリース
2003	299,956	75,812	2003	2,499,004	338,989
2002	288,075	68,759	2002	2,399,571	320,865
2001	287,503	67,952	2001	2,315,271	307,356
2000	271,332	62,335	2000	2,229,053	287,509
1999	261,100	57,949	1999	2,130,293	276,107
1998	255,149	55,393	1998	2,056,274	266,638
1997	255,023	54,233	1997	1,930,882	256,957
1996	244,951	52,254	1996	1,816,205	241,523
1995	228,930	49,592	1995	1,709,883	227,476
1994	216,277	47,104	1994	1,621,172	212,801

国内のレンタカー、カーリース市場におけるシェア(2003年)

●レンタカー(除軽)



●カーリース(含軽)



レンタカー予約の窓口



インターネットによるレンタカー予約

インターネット限定キャンペーンなどの予約受付を展開し、申込み件数も年々増加しています。

URL <http://www.toyota.co.jp/rent>

全国统一フリーフォン(0070-8000-10000)導入

国内でのご利用は **トヨタレンタカー予約センター** [全国共通フリーフォン] **0070-8000-10000** (ハッセン イチマン)
 ◆オープン時間 8:00~20:00

海外でのご利用は **Heritz** **ハーツレンタカー予約センター** **0120-489882** (ヨサク ハーツ)
 ◆オープン時間 9:00~19:00(土・日・祝・年末年始除く)

2003年のU-Car(中古車)市場<除軽>は530万台、前年比99%でした。新車市場と比較すると、U-Car市場は11年連続で、乗用車は13年連続して新車台数を上回りました。2003年のトヨタ車のU-Car登録は195万台でした。

■ 2003年のU-Car市場(新車と比較)

	台数(除軽)	前年比
U-Car登録	5,296,684	99.2%
新車登録	4,027,875	101.5%

■ U-Car市場の年式別構成比

	A~C年式	D・E年式
2001年	47.4%	52.6%
2002年	45.4%	54.6%
2003年	42.1%	57.9%

■ 2003年のトヨタ車のU-Car登録

(単位:台)

	トヨタ車	他メーカー車	合計
乗用車	1,760,130(37.9)	2,888,820	4,648,950
商用車	186,141(28.7)	461,593	647,734
合計	1,946,271(36.7)	3,350,413	5,296,684

注) ()内は中古車市場に占めるトヨタ車%率。

U-Carの年式の区分

A年式—当年式、前1年式、前2年式 (例)2003年においては、
 B年式—前3年式、前4年式 A年式—2003・02・01年式
 C年式—前5年式、前6年式 B年式—2000・1999年式
 D年式—前7年式、前8年式 C年式—1998・97年式
 E年式—前9年式以降 D年式—1996・95年式
 E年式—1994年式以前

資料:トヨタ自動車

■ トピックス

1) 仕入れ

●トヨタ買取りネットワーク「T-UP」の展開

2000年4月より、お客様のニーズにお応えして幅広いサービスを提供するトヨタ買取りネットワーク「T-UP」を営業しております。電話やインターネットからも無料お試し査定がご利用いただけます。 ※2003年12月末現在611店舗開業。(業界NO.1の店舗数)

フリーフォン 0070-800-00-1234 (イチ・ニイ・サン・シ・ティ・アップ)

ホームページ <http://www.toyota.co.jp/t-up/>

携帯電話 ezウェブ: EZインターネット→ライフ→車・住宅
 ボーダフォンライブ! : ボーダフォンウェブ→メニューリスト→趣味・レジャー→クルマ・バイク
 iモード: www.toyota.co.jp/t-up/i



2) 流通

●トヨタ・オートオークション「TAA」

現在、関東・中部・近畿・東北・九州の現車5会場と、オフィスに居ながら、セリに参加可能なパソコンオークションにより、全国規模でU-Carビジネスをバックアップしています。

2003年はTAA5会場計で41.6万台(前年比111%)の出品台数でした。

3) 小売

●U-Car検索システム GazooUVIS

店舗やインターネットから毎日更新される約4.5万台の在庫を検索でき、欲しい車を選べるGazooUVIS導入店舗が続々拡大中。

※トヨタ販売店約1,800店舗、コンビニ他約6,800ヶ所に設置。(2003年12月末現在)

ホームページ http://gazoo.com/auto/Ucar_top.asp

携帯電話 <http://gazoo.com/ez/uvis>

<http://gazoo.com/i/uvis>



●大規模小売店舗「カーロット」の展開

最大400台展示、サービス工場も併設した大規模小売店舗「カーロット」。現在、宮の沢(札幌)、岐阜(岐阜)、長良(岐阜)、浜松(静岡)、三好(愛知)、新大阪(大阪)、倉敷(岡山)、国分寺(香川)の8店舗で併せて毎月約13,000人のお客様に來場していただいています。

今後、全国に店舗展開を予定しています。

ホームページ

<http://www.carlots.jp>

携帯電話

<http://www.carlots.jp>

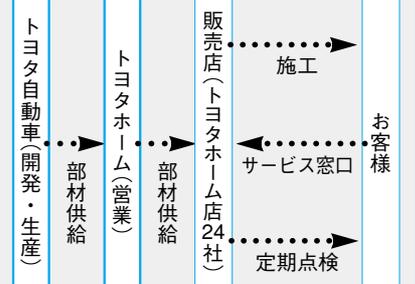


住宅事業

トヨタは1975年から本格的に住宅事業への取り組みを開始し、現在、戸建住宅では鉄骨ユニット工法、鉄骨軸組工法、スチールハウス工法の3工法で豊富に商品を取りそろえています。またオリジナル住宅ローンの開発や、品質責任制度の強化充実を図り、業界トップレベルの安心施策を実現しました。

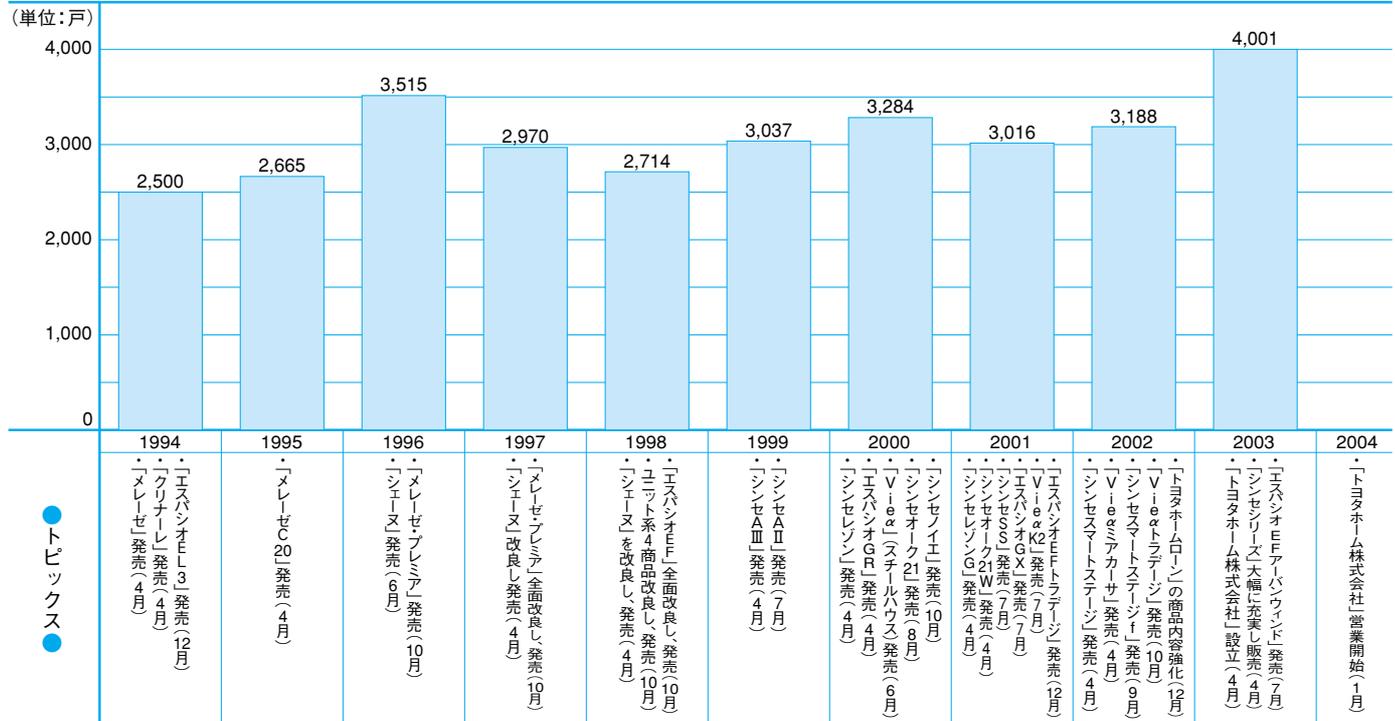
2004年1月、営業機能を担うトヨタホーム株式会社が営業を開始しました。

■事業内容

	商品分類	商品	販売ルート
	鉄骨ユニット工法	・シンセ A II ・シンセ レゾン G ・シンセ レゾン S ・シンセ レゾン J ・シンセスマートステージ	
	鉄骨軸組工法	・エスパシオ EF ・エスパシオ EF3 ・エスパシオ GR ・エスパシオ GX	
	トヨタSW工法	・Vie α	

注) 2004年2月現在。写真はエスパシオ EFアーバンwind。

■トヨタホームの販売戸数の推移(戸建)



注) 2004年2月現在。

■主要事業所

名称	事業内容・生産品目	完成年月	土地面積	建物面積	従業員数
春日井事業所	トヨタホームの研究開発及び生産	1987. 4	14万m ²	3万m ²	248人
栃木事業所	トヨタホームの生産	1989. 8	5	2	69
山梨事業所	トヨタホームの生産	1991.10	17	5	58

注) 2004年2月現在。

■トピックス

玄関スマートキー ～21世紀の玄関を開く鍵～

セルシオに搭載された装備を応用したもので、鍵を靴やポケットの中に入れてそのまま玄関に近づくだけで自動的に施錠・解錠ができるという、住宅用の鍵では世界初のシステム。

玄関のドアに近づくだけで錠が自動的に開きます。



トヨタは、金融事業の競争力強化と意思決定の迅速化を図るため、内外の金融子会社を傘下におく統括会社トヨタファイナンシャルサービス株式会社(以下TFS)を2000年7月に設立。TFSグループは個人のお客様を中心に総合的な金融サービスの提供を目指しています。

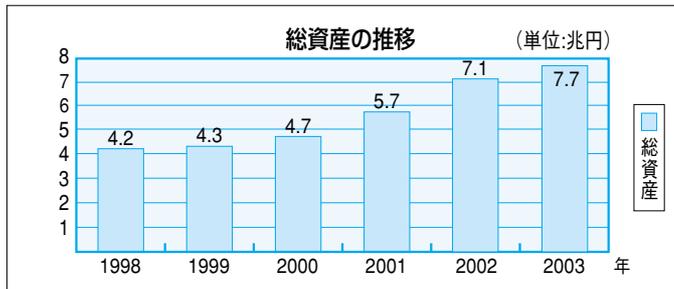
■特徴

●TFSグループのミッション

トヨタのお客様に健全な金融サービスを提供し、豊かな生活に貢献し、トヨタファンの拡大を目指しています。

●グローバル販売金融事業を展開

トヨタ車市場の90%をカバーし、アジアなどを中心にネットワークを拡大しています。



●日本企業で最高の財務信用力

スタンダード&プアーズ社、ムーディーズ社より最高ランク格付「AAA」「Aaa」を取得。

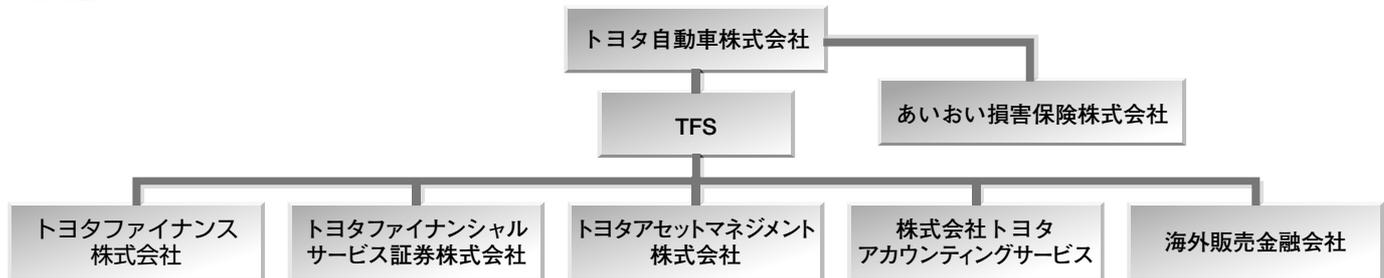
●グローバルな販売金融ネットワーク

世界20数カ国におよぶグローバルな販売金融ネットワークを展開し、450万人以上のお客様にサービスをご提供しています。

●お客様の生活に密着した総合金融サービス

年齢とともに変化するお客様のニーズに対応し、結婚、出産、進学、自動車や住宅の購入などのあらゆるライフ・イベントをサポートするための商品・サービスをご提供し続けます。

■組織図



■グループ会社案内

会社名	設立	資本金(単位:億円)	従業員数
トヨタファイナンシャルサービス株式会社	2000年7月	750.2	53 (2003年12月末時点)
トヨタファイナンス株式会社	1988年11月	165	1,240 (〃)
トヨタファイナンシャルサービス証券株式会社	2000年7月	60.0	50 (〃)
トヨタアセットマネジメント株式会社	1990年2月	6	53 (〃)
株式会社トヨタアカウンティングサービス	1999年7月	1	42 (〃)
あいおい損害保険株式会社	1918年6月	1,000	8,467 (〃)

■グローバルネットワーク

地域	国	会社名	設立※1	従業員数
アメリカ	U.S.A.	Toyota Motor Credit Corporation (TMCC)	1982年10月	2,733※2
	カナダ	Toyota Credit Canada Inc. (TCCI)	1990年2月	111
	ブラジル	Banco Toyota do Brasil S.A. (BTB)	1999年1月	67
	アルゼンチン	Toyota Credit Argentina S.A. (TCA)	1998年9月	23
	メキシコ	Toyota Services de Mexico, S.A. de C.V. (TSM)	2001年10月	24
	ベネズエラ	Toyota Service de Venezuela, C.A. (TSV)	2001年10月	29
ヨーロッパ/ アフリカ	イギリス	Toyota Financial Services (U.K.) Plc (TFSUK)	1988年11月	156
	ドイツ	Toyota Kreditbank GmbH/Toyota Leasing GmbH (TKG)	1988年4月	177
	フランス	Toyota France Financement (TFSF)	1997年12月	58
	スウェーデン	Toyota Financial Services Sweden (TFSSW)	2000年3月	18
	ノルウェー	Toyota Finans Service Norge (TFSN)	1997年10月	18
	イタリア	Toyota Financial Services Italy (TFSI)	1997年7月	51
	チェコ共和国	Toyota Financial Services Czech s.r.o (TFS CZ)	2000年6月	15
	南アフリカ	Toyota Financial Services South Africa (Pty) Ltd. (TFSSA)	2000年4月	56
	フィンランド	Toyota Finance Finland Oy (TFF)	1995年8月	23
	ポーランド	Toyota Bank Polska S. A. (TBP)	2000年3月	27
	デンマーク	Toyota Financial Services Denmark a/s (TFSDK)	2002年3月	6
	ハンガリー	Toyota Financial Services Hungary Rt. (TFSH)	2002年7月	8
	スペイン	Toyota Financial Services Espana (TFSES)	2003年4月	16
	アジア/ オセアニア	オーストラリア	Toyota Finance Australia Ltd. (TFA)	1982年6月
ニュージーランド		Toyota Finance New Zealand Ltd. (TFNZ)	1989年7月	43
タイ		Toyota Leasing (Thailand) Co., Ltd. (TLT)	1993年10月	428
マレーシア		UMW Toyota Capital Sdn. Bhd. (UMWTC)	2001年12月	109
フィリピン		Toyota Financial Services Philippines Corporation (TFSPH)	2002年8月	40
台湾		Hotai Finance Corporation (HFC)	1999年6月	167
		Hotai Leasing Corporation (HLC)	1999年6月	43

注) 2003年12月現在。 ※1一部会社については出資時期。 ※2ブルエルトリコを含む。

トヨタグループ

会社名	設立	事業内容	資本金 (百万円)	従業員数 (人)	売上高 (百万円)	出資比率 (%)
(株) 豊田自動織機 Toyota Industries Corporation	1926.11 (大正15年)	繊維機械、産業車両の製造・販売、乗用車のボディー及び部品の製造	68,046	9,841	747,638	23.08
愛知製鋼(株) Aichi Steel Corporation	1940.3 (昭和15年)	特殊鋼、鍛鋼品の製造・販売	25,016	2,535	127,537	24.72
豊田工機(株) Toyoda Machine Works,Ltd.	1941.5 (昭和16年)	工作機械、自動車用部品の製造・販売	24,805	3,888	158,369	23.62
トヨタ車体(株) Toyota Auto Body Co.,Ltd.	1945.8 (昭和20年)	乗用車、商用車、特殊車のボディー及び部品の製造	8,871	8,035	912,872	※1 50.01
豊田通商(株) Toyota Tsusho Corporation	1948.7 (昭和23年)	各種原材料、製品の売買・輸出入	26,748	1,671	2,197,648	22.99
アイシン精機(株) Aisin Seiki Co.,Ltd.	1949.6 (昭和24年)	自動車部品、住生活関連機器の製造・販売	41,140	10,205	555,277	22.67
(株) デンソー DENSO CORPORATION	1949.12 (昭和24年)	各種自動車用及びその他電装用品、空調設備並びに一般機械器具、電気機械器具の製造・販売	187,456	38,673	1,570,391	23.97
豊田紡織(株) Toyoda Boshoku Corporation	1950.5 (昭和25年)	綿糸布及びその他繊維の糸布、化成品、自動車部品、家庭生活用品の製造・販売	4,933	2,067	93,314	15.56
東和不動産(株) Towa Real Estate Co.,Ltd.	1953.8 (昭和28年)	不動産の所有・管理・売買・貸借	23,750	77	6,573	49.00
(株) 豊田中央研究所 Toyota Central Research and Development Laboratories, Incorporated	1960.11 (昭和35年)	総合技術の開発、利用に関する各種の研究試験・調査	3,000	872	17,538	54.00
関東自動車工業(株) Kanto Auto Works,Ltd.	1946.4 (昭和21年)	乗用車、商用車のボディー及び部品、住宅関連機器及び建築用部材の製造	6,850	5,406	559,826	※1 50.08
豊田合成(株) Toyoda Gosei Co.,Ltd.	1949.6 (昭和24年)	ゴム・合成樹脂・ウレタン製品、半導体関連製品、電気・電子製品、接着剤等の製造・販売	25,318	5,440	264,764	41.79
日野自動車(株) Hino Motors,Ltd.	1942.5 (昭和17年)	トラック、バス、乗用車、商用車、特殊車及び部品の製造・販売	72,717	8,555	659,342	50.11
ダイハツ工業(株) Daihatsu Motor Co.,Ltd.	1907.3 (明治40年)	乗用車、商用車、特装車及び部品の製造・販売	28,404	11,477	760,156	51.19

注) 1. 資本金、従業員数は各社決算期末。売上高は2002年4月～2003年3月。出資比率は2003年3月現在。但し※1は2003年9月現在。
 2. 当社は1966年10月に日野自動車工業(株)と業務提携。
 3. 当社は1967年11月にダイハツ工業(株)と業務提携。

主な国内出資会社の概要

会社名	事業内容	トヨタ出資比率(%)	資本金(億円)
トヨタ自動車九州(株)	自動車車体および部品の製造	100	450
トヨタ自動車北海道(株)	自動車部品の製造	100	275
アラコ(株)	自動車車体および部品の製造	81.35	32
東京トヨタ自動車(株)	自動車および同部品の販売	100	75
東京トヨペット(株)	自動車および同部品の販売	100	78
大阪トヨペット(株)	自動車および同部品の販売	100	30
トヨタ東京カローラ(株)	自動車および同部品の販売	100	72

注) 2003年3月現在。

■主な国内出資会社の概要

会社名		事業内容	設立年	トヨタ出資比率(%)	資本金(億円)	従業員数(人)
金融	トヨタファイナンシャルサービス(株)	販売金融を中心とする金融事業の統括会社	2000	100.0	750.2	53
IT	ケイディーディーアイ(株)	固定電話サービス(国内・国際)、携帯電話サービス、インターネットサービス、データセンターサービス	1984	11.7	1,418.5	8,957
	(株)トヨタデジタルクルーズ	VAN事業、イントラネットサービス、SI(システムインテグレーション)	1996	60.8	8.0	223
	(株)トヨタコミュニケーションシステム	設計～調達～生産～販売、管理のグローバル基幹システムの開発、保守、運用サービス、コンサルティング	2001	100.0	14.2	991
	(株)トヨタケーラム	CAD/CAMを始めとする製造業の業務改革システムの開発・販売・保守	1993	77.9	7.0	173
	(株)トヨタアイティー開発センター	IT関連の技術開発、ビジネスモデルの発掘・開発	2001	65.0	30.0	25
	デジタルメディアサービス(株) ^{※1}	G-BOOKを中心としたテレマティクス事業、GAZOOシステム機器販売・保守、システムインテグレーション	2000	75.0	1.5	61
	(株)タス	インターネットによる不動産の価格算定・情報提供サービス	2000	22.2	1.8	5
メディア	名古屋テレビ放送(株)	テレビ放送事業	1961	34.6	4.0	240
	ひまわりネットワーク(株)	有線テレビジョン放送事業、インターネットサービス	1989	21.5	23.1	59
	(株)エフエム名古屋	一般放送事業、音楽関係事業	1992	8.5	12.0	29
ITS	(株)衛星測位情報センター	カーナビへのGPSの誤差補正情報提供	1996	20.8	4.8	3
	(株)トヨタマップマスター	カーナビ用地図データベースの企画、調査、製作、販売	1998	51.1	4.8	92
	(株)日本緊急通報サービス	警察・消防などへの緊急通報接続サービス	1999	10.0	10.0	19
自動車周辺	(株)アムラックストヨタ	自動車ショールームの運営	1990	100.0	0.5	32
	(株)トヨタオートモールクリエイト	自動車販売施設、ショッピングセンターの企画・運営	1999	100.0	4.9	15
	富士スピードウェイ(株)	二輪・四輪自動車レースのサーキット場経営	1963	83.5	51.4	53
	ライフクリエーション(株)	オフロードコース(さなげアドベンチャーフィールド)の運営	1993	40.0	0.75	6
	(株)タクティー	自動車部品・用品の販売およびカーショップフランチャイズ事業	1996	80.0	4.5	388
	パナソニックEVエナジー(株)	EV/HEV用バッテリーおよび周辺機器の開発・製造・販売	1996	40.0	20.0	181
	(株)トヨタモデリスタ インターナショナル	カスタマイズ車両、関連部品・用品の開発および販売、個別カスタマイズへの対応	1997	85.0	1.0	73

注)2003年3月現在。 但し、※1は2003年4月社名変更(旧社名 ガズメディアサービス(株))。

■主な国内出資会社の概要

会社名		事業内容	設立年	トヨタ出資比率(%)	資本金(億円)	従業員数(人)
バイオ	(株)トヨタフローリテック	花卉の生産・販売	1999	50.0	1.0	40
	トヨタルーフガーデン(株)	屋上緑化の施工・花卉・園芸資材の販売	2001	70.0	0.55	19
エネルギー	(株)トヨタタービンアンドシステム	小型ガスタービンを利用したコージェネシステムの開発・製造・販売	1998	70.0	16.0	79
環境	(株)エコ・リサーチ	環境コンサルティング及び環境情報システムサービス	2001	51.0	1.0	5
生活・シニア	(株)ウエルネス・フロンティア・センター	ウエルネス分野のコンサルティング、各種事業企画	2000	14.2	1.51	11
	(株)グッドライフデザイン	地域医療機関のサポートと健康・シニア生活サービスを提供	2002	51.0	2.6	40
マリン	蒲郡海洋開発(株)	海洋レジャーを主体とした複合レクリエーション施設「ラグーナ蒲郡」の経営	1991	15.8	1.0	135
	長崎サンセットマリーナ(株)	マリーナ事業	1993	76.9	1.4	5
エアロ	エアフライトジャパン(株)	パイロット養成・飛行場運営	1992	75.0	4.0	43
	朝日航洋(株)	航空機運航、測量・地図情報事業	1955	97.4	31.93	1,105
新素材	(株)アドマテックス	酸化セラミックス粉(シリカ・アルミナ・複合酸化物)の製造・販売	1990	53.4	3.52	48
エンジニアリング	サンリツオートメーション(株)	組込み型ボードコンピュータとITSの開発・製造・販売	1971	30.0	1.33	84
	(株)トヨタマックス	各種計測器から計測・制御システムの開発	1990	57.0	1.0	831
	(株)BPA	車両生産技術に関する設計エンジニアリング	1991	100.0	4.0	95
	(株)MTA	生産設備、システムの開発設計、設備エンジニアリング	1991	100.0	2.5	71
	ラティス・テクノロジー(株)	3Dデータを超軽量化する技術の開発・販売	1997	30.2	4.25	37
起業家による 設立会社 ^{※1}	(株)カーテックフジ	プレーキ認証試験、車輛・車検整備	1996	24.5	0.2	31
	(株)テラ・コーポレーション	リジェネバーナーの開発・製造・販売	1996	85.0	1.0	6
	(株)クレストホームズ	木造2×4(ツーバイフォー)工法の輸入住宅販売	1996	98.0	4.0	8
	(株)バイク・ラボ	自転車の開発・製造・販売	2001	13.3	0.15	0
	(株)メディア・クリック	マスメディア連動のオンデマンド音楽生活情報サービス事業	2001	40.0	1.0	3
社会貢献・ 従業員福利厚生・ コンサルティング	トヨタ瑞浪開発(株)	ゴルフ場の経営	1989	37.6	2.5	51
	(株)名古屋グランパスエイト	プロサッカー試合の興行・運営	1991	22.5	4.0	30
	(株)トヨタアメニティ	ホテル・結婚式場、レストラン及びスポーツ施設の経営・管理・運営	1992	100.0	1.0	^{※2} 86
	(株)オー・ジェイティ・ソリューションズ	生産現場の診断、改善計画・人材育成プログラムの提案・実施	2002.4	51.0	2.5	54
	トヨタパーソナルサポート(株)	給与計算代行、福利厚生制度・施設・施策の企画・運営・管理およびそれに関するコンサルティング	2002.10	100.0	0.6	^{※2} 257

注)※1：社員自らが社長となって設立したベンチャー企業(起業家制度開始1995年～)。 ※2：2004年1月現在。他は2003年3月現在。

■主な連結対象子会社及び関連会社(持分法適用会社等)

国/地域	名称	出資比率	投資開始年	業務内容	従業員数	
欧州	ベルギー	トヨタモーターヨーロッパ(株)	トヨタ100%	2002年4月	欧州持株会社	25
	フランス	トヨタヨーロッパ デザインディベロップメント(有)	トヨタ100%	1998年11月	自動車デザインの 研究開発	32
	ドイツ	トヨタモータースポーツ(有)	トヨタ100%	1993年7月	競技用自動車の開発	600
	ポーランド	ポーランドトヨタ(有)	トヨタ100%	1993年4月	自動車および 同部品の販売	101
	ノルウェー	パウダ(株)	トヨタ40%、その他60%	1991年12月	持株会社	9
	ポルトガル	サルバドール・カエターノ 自動車工業(株)	トヨタ27%、その他73%	1972年3月	自動車および 同部品の組立・販売	1,270
中近東	インド	トヨタキルロスカ自動車(株)	トヨタ99.0%、その他1.0%	1997年12月	自動車および 同部品の製造・販売	2,329
		トヨタテクノパークインド(株)	トヨタ70%、豊田通商30%	1998年9月	固定資産のリースおよび その他のサービスの提供	11
		トヨタキルロスカ オートパーツ(株)	トヨタ64%、トヨタインダスト リーズ26%、その他10%	2002年7月	自動車部品の 製造・販売	430
	トルコ	トヨタサトヨタ・サバンジ マーケティングアンドセールス(株)	トヨタ25%、サバンジ65%、 三井物産10%	2000年9月	自動車および 同部品の販売	133
アフリカ	南アフリカ	南アフリカトヨタ(株)	トヨタ75%、その他25%	1996年11月	自動車および 同部品の製造・販売	7,410

注)2003年9月現在。

■主な連結対象子会社及び関連会社(持分法適用会社等)

国/地域	名称	出資比率	投資開始年	業務内容	従業員数	
アジア	ベトナム	ベトナムトヨタ(有)	トヨタ70%、その他30%	1995年10月	自動車および同部品の製造・販売	673
	マレーシア	UMWトヨタ自動車(株)	UMWC51%、トヨタ39%、豊田通商10%	1982年11月	自動車部品の製造・販売	1,968
	インドネシア	トヨタ・バイオ・インドネシア	トヨタ90%、三井物産10%	2001年5月	飼料製造	130
		トヨタモーターマニュファクチャリングインドネシア	トヨタ95%、現地5%	1971年12月	自動車および同部品の製造	4,388
		トヨタアストラ自動車	トヨタ49%、現地51%	1971年12月	自動車および同部品の販売	
	フィリピン	フィリピントヨタ自動車部品(株)	トヨタ95%、フィリピントヨタ5%	1990年8月	自動車部品の製造・販売	718
		フィリピントヨタ自動車(株)	トヨタ34%、その他66%	1988年8月	自動車および同部品の製造・販売	1,242
	シンガポール	トヨタモーターアジアパシフィック(株)	トヨタ100%	1990年7月	自動車および同部品の販売	157
	中国	天津豊津汽車伝動部件有限公司	トヨタ90%、その他10%	1996年3月	自動車部品の製造・販売	270
		天津豊田汽車鍛造部件有限公司	トヨタ100%	1997年4月	自動車部品の製造・販売	80
		トヨタ自動車(中国)投資(有)	トヨタ100%	2001年7月	販売などのマーケティング支援	150
		トヨタ自動車技術センター(中国)(有)	トヨタ100%	1998年4月	調査、研究、国産化に関する技術コンサルティングサービス	100
		トヨタモーター(中国)(株)	トヨタ75%、豊田通商25%	1993年6月	自動車および同部品の販売	114
		四川豊田泥炭開発有限公司	トヨタ100%	2002年6月	泥炭の採掘、加工・販売	24
		天津豊田汽車発動機有限公司	トヨタ50%、現地50%	1996年8月	自動車エンジンの製造・販売	730
		四川豊田汽車有限公司	トヨタ45%、豊田通商5%、現地50%	1999年1月	自動車の製造	1,150
		天津一汽豊田汽車有限公司	トヨタ40%、現地50% トヨタ自動車(中国)投資10%	2000年9月	自動車の製造	888
	韓国	韓国トヨタ自動車(株)	トヨタ100%	2000年3月	自動車および同部品の販売	53
	台湾	國瑞汽車股份有限公司	トヨタ51.7%、日野自動車5%、現地43.3%	1986年6月	自動車および同部品の製造・販売	2,826
	タイ	タイトヨタ自動車(株)	トヨタ86.4%、その他13.6%	1962年10月	自動車および同部品の製造・販売	4,360
サイアムトヨタマニュファクチャリング(株)		トヨタ96%、現地4%	1987年7月	自動車部品の製造・販売	1,266	
トヨタテクニカルセンターアジアパシフィック(タイ)(有)		トヨタ100%	2003年8月	自動車技術の研究開発	240	

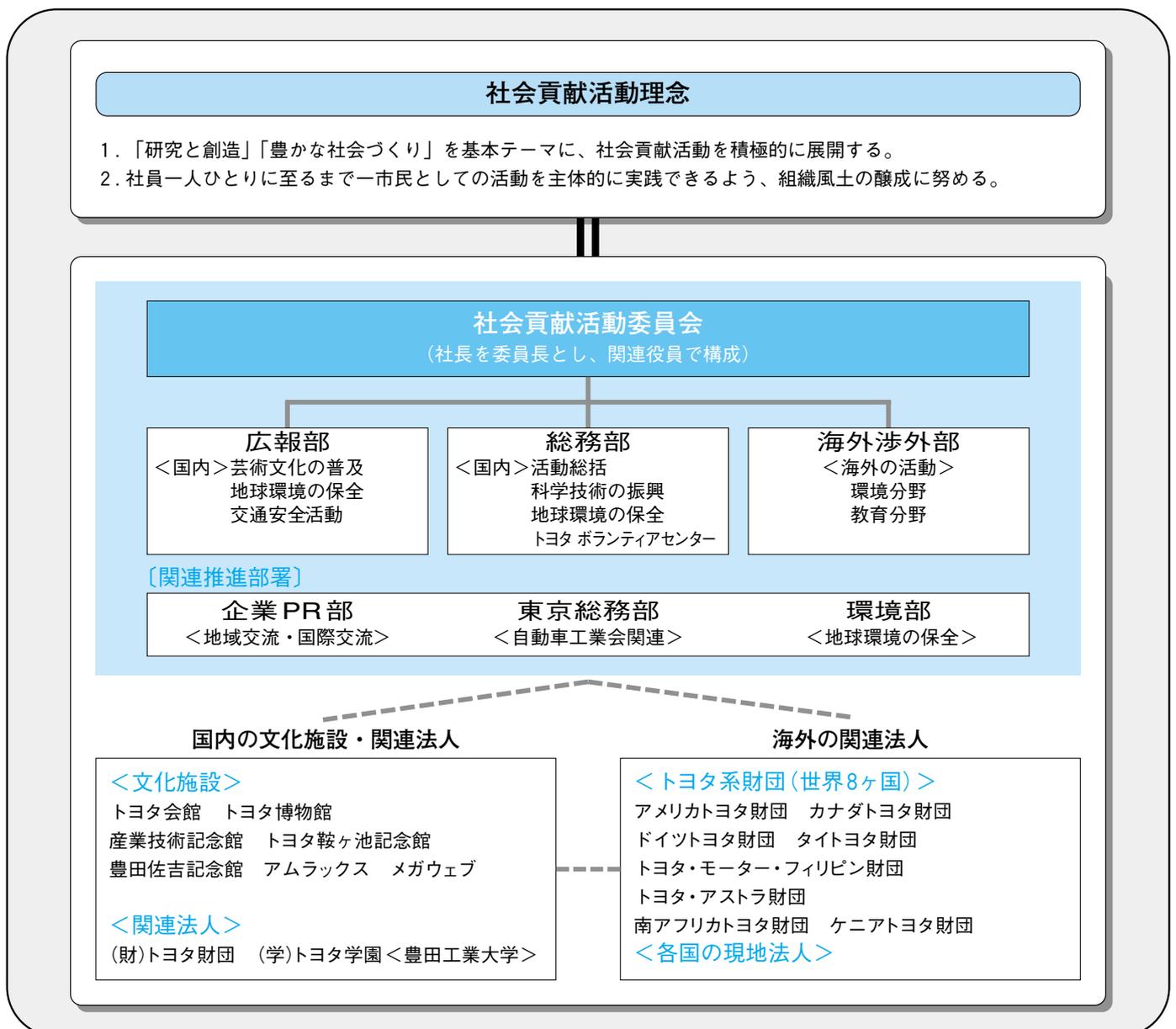
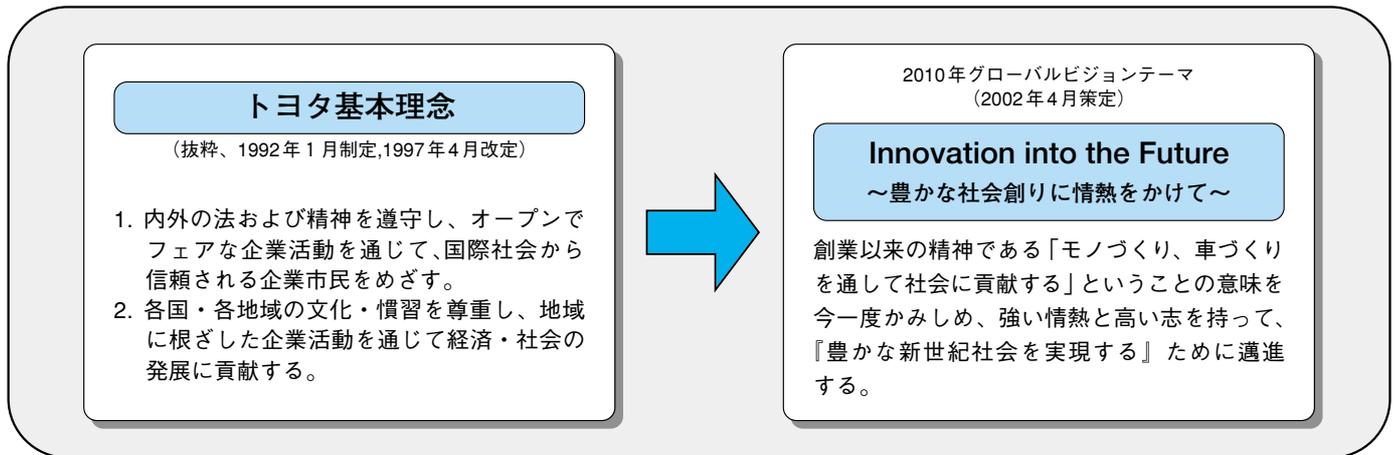
注)2003年9月現在。

国/地域	名称	出資比率	投資開始年	業務内容	従業員数	
オセアニア	オーストラリア トヨタモーターコーポレーション オーストラリア(株)	トヨタ100%	1971年7月	自動車、部品、 産業車両の製造・販売	4,700	
	オーストラリア アフォレステーション(株)	トヨタ90%、三井物産7%、 豪州三井物産3%	1998年8月	製紙用材料の 植林事業	—	
	トヨタテクニカルセンター アジアパシフィック (オーストラリア)(株)	トヨタ100%	2003年6月	自動車技術の 研究開発	90	
ニュージーランド	トヨタニュージーランド(株)	トヨタ100%	1977年2月	自動車および 同部品の販売	189	
北米	アメリカ トヨタモーターノースアメリカ (株)	トヨタ100%	1996年9月	米国関連会社の 持株会社	73	
	トヨタテクニカルセンター U.S.A.(株)	トヨタ80%、 米国トヨタ自動車販売10%、 アイシン精機5%、デンソー5%	1977年6月	自動車技術の 研究開発	684	
	キャルティデザインリサーチ(株)	トヨタ80%、 米国トヨタ自動車販売20%	1973年10月	自動車デザインの 研究開発	51	
	ニューユナイテッドモーター マニュファクチャリング(株)	トヨタ50%、GM50%	1984年2月	自動車および 同部品の製造・販売	5,630	
	カナダ	トヨタモーターマニュファク チャリングカナダ(株)	トヨタ100%	1986年3月	自動車および 同部品の製造・販売	4,231
		カナディアンオートパーツ トヨタ(株)	トヨタ100%	1983年4月	自動車部品の 製造・販売	235
		カナダトヨタ(株)	トヨタ50%、三井物産50%	1972年1月	自動車、同部品および 産業車両の販売	493
中南米	アルゼンチン アルゼンチントヨタ(株)	トヨタ100%	1994年12月	自動車および 同部品の製造・販売	1,053	
	ブラジル ブラジルトヨタ(有)	トヨタ100%	1958年1月	自動車および 同部品の製造・販売	1,834	
	ベネズエラ ベネズエラトヨタ(株)	トヨタ90%、現地10%	1989年11月	自動車および 同部品の組立・販売	761	
	ペルー ペルルトヨタ(株)	トヨタ49.8%、 三井物産49.8%、現地0.4%	1966年8月	自動車および 同部品の販売	56	

注) 2003年9月現在。

トヨタは「国際社会から信頼される企業市民」を目指し、国内はもとより、海外でも、様々な分野において社会貢献活動を展開しています。

■社会貢献活動の基本的な考え方



トヨタ財団

設立	昭和49年10月15日	基金規模	295億円
活動内容	国内及び海外諸国における、生活・自然環境、社会福祉、教育文化等に関する研究並びに事業を助成。		
所在地	〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階(TEL 03-3344-1701)		
会長	豊田達郎	理事長	木村尚三郎

(注)平成14年3月現在

豊田工業大学

開学	昭和56年4月	大学院設置	昭和59年4月
設置法人	学校法人 トヨタ学園		
理事長	豊田達郎	学長	永澤満
建学の精神等	建学の理念は「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」(豊田佐吉遺訓)。広く産業界から実務を経験した社会人を、1993年(平成5年)からは一般学生も受け入れ、設立当初から徹底した少人数の「塾的大学」として、21世紀社会が求める豊かな人間性と創造性あふれる技術者・開発者の育成を目指す。		
所在地	〒468-0034 名古屋市天白区久方2丁目12-1(TEL 052-802-1111)		
設置学部	工学部(入学定員80名)		
設置大学院	大学院工学研究科 修士課程(入学定員24名)／博士後期課程(入学定員12名)		
付置機関	半導体センター、総合情報センター、先端フロンテクノロジー研究センター、超高効率光起電力変換共同研究センター、宇宙ロボティクス研究センター、未来情報記録材料共同研究推進センター、ナノ格子新技術開発研究センター、TTI at Chicago(大学院大学)		

展示館

	<p>トヨタ鞍ヶ池記念館</p> <p>完成 昭和49年9月</p> <p>来場者 61,805人(平成15年実績)</p> <p>展示内容 豊田喜一郎とその仲間たちの大いなる夢、情熱の日々…。創業期の歩みとモノづくりのスピリッツを紹介。</p> <p>所在地 〒471-0001 豊田市池田町南250番地(TEL 0565-88-8811)</p> <p>開館時間 9:30～16:30、月曜休館(祝日の場合は翌日)春期・夏期・年末年始の会社連休日も休館</p>
	<p>トヨタ会館</p> <p>完成 昭和52年11月</p> <p>来場者 370,530人(平成15年実績)</p> <p>展示内容 「環境」「安全」「ITS」に対する取り組みを中心にトヨタのクルマづくりを分かりやすく紹介。</p> <p>所在地 トヨタ自動車(株) 本社地区内(TEL 0565-29-3355)</p> <p>開館時間 9:00～16:30、原則として日曜日及び春・夏・冬の会社連休日休館</p>
	<p>トヨタ博物館</p> <p>完成 平成元年4月</p> <p>来場者 172,614人(平成15年実績)</p> <p>展示内容 ガソリン自動車誕生から100年の自動車文化の歩みを体系的に展示。</p> <p>所在地 〒480-1131 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41番100号(TEL 0561-63-5151)</p> <p>開館時間 9:30～17:00(但し、入館は16:30まで)、原則として月曜日及び・年末・年始休館</p>
	<p>アムラックス東京</p> <p>完成 平成2年9月</p> <p>来場者 1,601,741人(平成15年実績)</p> <p>展示内容 トヨタ車を紹介するショールームとしての機能のほか、トヨタの新技术、環境や安全への取り組みなどを紹介。</p> <p>所在地 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-3-5 トヨタ自動車池袋ビル(TEL 03-5391-5900)</p> <p>開館時間 (2～4F)11:00～19:00、(B1～1F)11:00～21:00、月曜(祝祭日の場合翌日は休館)</p>
	<p>メガウェブ</p> <p>完成 平成11年3月</p> <p>来場者 6,195,800人(平成15年実績)</p> <p>展示内容 クルマのさまざまな楽しさを「見て、乗って、感じる」体験型クルマのテーマ施設。</p> <p>所在地 〒135-0064 東京都江東区青海1丁目パレットタウン(TEL 03-3599-0808)</p> <p>開館時間 11:00～21:00、不定休</p>
	<p>産業技術記念館</p> <p>完成 平成6年6月(トヨタグループ13社が共同して設立)</p> <p>来場者 155,376人(平成15年実績)</p> <p>展示内容 繊維機械技術や、自動車技術・生産技術の移り変わりの他、トヨタグループの歴史等を紹介。</p> <p>所在地 〒451-0051 名古屋市西区則武新町4-1-35(TEL 052-551-6115)</p> <p>開館時間 9:30～17:00(但し、入館は16:30まで)、月曜(祝祭日の場合は翌日)及び年末・年始休館</p>

国内：「文明と環境の調和」と「持続可能な発展」を前提に、各種自主活動を展開

<重点活動テーマ>科学技術の振興

トヨタのノウハウを活かして科学技術の振興に寄与

・青少年創造性啓発活動

1996年より、社内エンジニアを中心に組織されたトヨタ技術会と連携し社員ボランティア講師を全国の科学館・科学イベントに派遣。科学の不思議やモノづくりの楽しさを伝えるために「安全なクルマのボディの仕組み」「風洞実験」「からくり自動車」などの科学工作教室を開催。96年の開始以来、小学生を中心に延べ13,000人以上が参加。



・ITSによる交通モデル都市づくりへの支援

1996年に愛知県豊田市と連携して「豊田ITS研究会」を発足。関係省庁が指定する「ITSモデル地区実験」都市として選定され、1999年からはEV共同利用実験等、市内での渋滞緩和を狙った様々な実験を展開。2002年には産・官・学・民による「豊田市ITS推進会議」(会長：豊田市長)が設置され、まちづくり・交通施策と連携した本格的な地域でのITS推進を支援。2004年10月開催の「ITS世界会議 愛知・名古屋2004」では、豊田市と連携し「Street Value Adventure in Toyota / 街の、路の、車の未来を探しに行こう！」体験ツアーを開催(予定)。

<重点活動テーマ>芸術文化の普及

「文化の育成」「裾野の拡大」「地域文化の活性化」を重点に活動を展開

・トヨタ コミュニティコンサート

全国のトヨタ販売会社と共に、各地のアマチュアオーケストラを支援してコンサートを開催。1981年にスタートし、2004年3月までに全国44都道府県で1,054回開催。



・トヨタ アートマネジメント講座

1996年より、アートマネージャーの育成を目的に、音楽・美術・演劇をテーマとした講座を2004年3月までに全国26都道府県にて53回開催。

・トヨタ コレオグラフィーアワード

2001年より、次代を担う振付家の発掘を目的にコンテンポラリーダンスなどの舞踊分野における顕彰事業を東京の世田谷パブリックシアターと連携して開催。

海外：北米、ヨーロッパ、アジアを重点地域とし、環境・教育を中心に活動を展開、また、様々な国際交流プログラムも展開

北 米

・アメリカ：「親子教育プログラムへの支援」

全米家庭教育センター(NCFL)がアメリカ各地で展開するPACE(Parent and Child Education)プログラムを1991年より支援。このプログラムは「教育を受けられなかった親の子供もまた、十分な教育を与えられずに育つ」という悪循環を断ち切ることを目的とした就学前児童の親子教育プログラム。

1998年からは、新たに対象を小学校低学年レベルまで拡大したTFSP(Toyota Families in School Program)を実施。2002年より、ヒスパニック系の親子を対象としたESLP(the English as a Second Language Program)を支援。



ヨーロ ッパ

・フランス：「公園緑化整備活動への支援」

フランス各地の都市部での公園緑化整備プログラムを組織するフランス財団を通じて、2001年より当社販売拠点のある地域を中心とした緑化活動を支援。



・中央・東ヨーロッパ：「REC—環境教育プログラム」

2000年より、中央・東ヨーロッパ地域環境センター(REC)が行なう環境教育プログラムを支援。環境問題が深刻な中、東欧諸国の中学校を対象に、環境保全意識の向上を目指し、教材(Green Pack)の活用によるカリキュラムを実施。



＜重点活動テーマ＞地球環境の保全

地球温暖化防止への貢献のため環境緑化プログラムや環境啓発のための教育活動を実施

・「トヨタの森」と環境緑化活動

緑による環境改善を目指し、1997年より里山活性化モデル林「トヨタの森」での実践、学童の環境学習への協力、専用学習館での啓発活動などを推進。

・「エコのもりセミナー」の開催

「トヨタの森」フォレストヒルズ・モデル林で、(社)日本環境教育フォーラムと連携し、21世紀の森づくりを支える人材育成を狙いとする様々な環境教育プログラムを1998年より展開。



・トヨタ環境活動助成プログラムの実施

1999年、国連環境計画「グローバル500賞」受賞を記念し、“持続可能な発展”に貢献する環境技術・環境学習に関する国内外の活動に対し2000年から助成。

福祉・地域社会・ボランティア活動支援

災害救援や福祉団体への援助、全国の事業所周辺での各種行事の支援、社員のボランティア活動支援

＜福祉＞

・災害救援活動への支援

2002年にはUNHCRのアフガニスタン難民支援、ドイツ・チェコを中心とする中東欧大洪水に対する義捐金送付など、世界各地で発生した災害に対しての支援活動を実施。

・社会福祉法人への支援

身体障害者の養護や自立支援を目的とする社会福祉法人に対し、施設の運営や施設が開催するチャリティーコンサート、バザーなどのイベントを支援。



＜地域社会＞

・トヨタサマースクール

夏休み期間中に豊田市周辺の小学5年生を招待し、車に対する理解を深めてもらう工場見学や勉強会を1969年より実施。

＜ボランティア活動支援＞

「トヨタボランティアセンター」を1993年に設置し、社員への理解促進を目的とした啓発活動や、活動メニューの情報提供、コーディネート活動を実施。また、活動の拡大、人材育成を狙いとした、社内各種ボランティアサークル活動を支援。

アジア

・中国：「砂漠化防止のための植林活動」

近年急速に砂漠化が進行している北京近郊の河北省において、地球緑化センター、中国豊寧県林業局、中国科学院と共同で、2001年より植林活動を開始。耐乾燥性樹種の選抜技術・環境モニタリングなどの技術支援も実施。

・韓国：「日本研究者への研究助成」

日韓の相互理解・交流をさらに深めるための一助として、2001年より韓国内の博士課程修了者を含む日本研究を主とした人文科学系大学研究員(年間7名)に対して、研究費用を助成。

・カンボジア／タイ：「JAHDS(人道目的の地雷除去支援の会)への支援」

人道目的の地雷除去活動を行うNGOであるJAHDSを1999年より支援。当NGOは被害地域の一般市民を残存する地雷及び不発弾の被害から守るために、地雷探知技術・機材及び除去員、探知犬を活用し総合的な地雷除去活動を行っている。

・トヨタクラシックス

1990年より、アジア地域で一流オーケストラによるコンサートツアーを開催し、チケット収益金を各地域の社会事業団体へ寄付。

国際交流

工場見学や質疑応答、環境プレゼンテーション、エコカー試乗を通じ、トヨタの高品質な車づくりや環境への取り組みに関する理解活動を展開。

- ・海外ビジネススクール学生
- ・愛知県下留学生
- ・JICA(国際協力事業団)研修生 等



History of TOYOTA

トヨタの歩み

トヨタ自動車の創業者・豊田喜一郎は1894年(明治27年)に生まれました。自動織機の発明家として歴史に名を残す豊田佐吉の、「研究と創造」の精神を受け継いだ息子の喜一郎は、当時の日本ではまだ未知の分野であった自動車づくりに生涯をかけ、苦心の末、1935年(昭和10年)にA1型試作車を完成…。トヨタ自動車の歴史はこうして始まりました。そして、1999年(平成11年)10月、トヨタは、おかげさまで国内生産累計1億台を達成しました。



豊田佐吉



豊田喜一郎

1867

慶応3年～

事業展開/工場・施設展開

- 1867年(慶応3年)
 - 豊田佐吉 誕生
- 1890年(明治23年)
 - 豊田佐吉「豊田式木製人力織機」完成
- 1894年(明治27年)
 - 豊田喜一郎 誕生
- 1924年(大正13年)
 - 豊田佐吉「無停止杼換式豊田自動織機(G型)」完成
- '29年(昭和4年)
 - 豊田喜一郎 自動車事情視察などのため欧米へ出張
 - 自動織機の特許を英国のプラット社に譲渡
- '30年(昭和5年)
 - 豊田喜一郎 小型ガソリンエンジンの研究を開始
- '33年(昭和8年)
 - (株)豊田自動織機製作所に自動車部を設置
- '35年(昭和10年)
 - 日の出モータース(株) 営業開始
 - (現・愛知トヨタ(株))
- '36年(昭和11年)
 - トヨタマーク制定
- '37年(昭和12年)
 - トヨタ自動車工業(株) 設立
- '38年(昭和13年)
 - 挙母工場操業開始(現・本社工場)
 - 「ジャストインタイム」方式 本格的スタート



無停止杼換式豊田自動織機(G型)



挙母工場



1940

昭和15年～24年

- '40年(昭和15年)
 - 豊田製鋼(株)設立(現・愛知製鋼(株))
 - (財)豊田理化学研究所設立
- '41年(昭和16年)
 - 豊田工機(株) 設立
- '43年(昭和18年)
 - 東海飛行機(株) 創立(現・アイシン精機(株))
- '45年(昭和20年)
 - トヨタ車体工業(株) 設立(現・トヨタ車体(株))
- '46年(昭和21年)
 - 関東電気自動車製造(株) 設立(現・関東自動車工業(株))
- '48年(昭和23年)
 - 日新通商(株) 設立(現・豊田通商(株))
- '49年(昭和24年)
 - 名古屋ゴム(株) 設立(現・豊田合成(株))
 - 日本電装(株) 設立(現・(株)デンソー)

挙母工場生産ライン

新車発表/生産・販売・輸出実績

- '35年(昭和10年)
 - A1型試作乗用車完成
 - G1型トラック完成
- '36年(昭和11年)
 - トヨタAA型乗用車、AB型フェートン、GA型トラック発表
- '38年(昭和13年)
 - GB型トラック生産開始
- '41年(昭和16年)
 - AE型乗用車生産開始
- '42年(昭和17年)
 - KB型トラック生産開始
- '43年(昭和18年)
 - AC型乗用車、KC型トラック生産開始
- '47年(昭和22年)
 - BM型トラック、SB型小型トラック、SA型小型乗用車生産開始
- '49年(昭和24年)
 - SD型小型乗用車生産開始



A1型試作乗用車



G1型トラック



トヨタAA型乗用車



SB型小型トラック



急行列車と競争するSA型小型乗用車

- '36年(昭和11年)
 - トヨタ車(G1型トラック) 初輸出



- '47年(昭和22年)
 - 国内生産累計10万台達成



1950

昭和25年～34年

'50年(昭和25年)

- 経営危機／労働争議・人員整理
- トヨタ自動車販売(株)設立
- 民成紡績(株)設立(現・豊田紡織(株))

'51年(昭和26年)

- 創意くふう提案制度発足

'53年(昭和28年)

- 東和不動産(株)設立
- 会社代表標語「よい品よい考」制定



標語制定

'54年(昭和29年)

- 技術本館(テクニカルセンター)完成

'56年(昭和31年)

- トヨペット店営業開始
- 本社テストコース完成



米国トヨタ自動車販売

'57年(昭和32年)

- 米国トヨタ自動車販売(株)設立

'58年(昭和33年)

- トヨタ・ド・ブラジルS.A.社(ブラジルトヨタ)操業開始

'59年(昭和34年)

- 元町工場操業開始



元町工場

1960

昭和35年～44年

'60年(昭和35年)

- 新本館(現・事務本館)完成
- (株)豊田中央研究所設立

'61年(昭和36年)

- パブリカ店営業開始(現・トヨタカローラ店)
- TQCの全社的導入決定

'62年(昭和37年)

- 春日工場完成(現・春日センター)

'62年(昭和37年)

- 「労使宣言」に調印

- トヨタ・モーター・タイランド社設立

'65年(昭和40年)

- デミング賞実施賞受賞
- 上郷工場操業開始

'66年(昭和41年)

- 高岡工場操業開始
- 日野自動車工業(株)と業務提携

'67年(昭和42年)

- 東富士工場の自動車性能試験場完成

'67年(昭和42年)

- トヨタオート店営業開始(現・ネットトヨタ)
- ダイハツ工業(株)と業務提携

'68年(昭和43年)

- 三好工場操業開始

東富士自動車性能試験場



トヨタ本社新本館



労使宣言 調印式



デミング賞実施賞



1970

昭和45年～54年

'70年(昭和45年)

- 第1回日本品質管理賞受賞
- 堤工場操業開始

'73年(昭和48年)

- 明知工場操業開始
- キャルティデザインリサーチ設立

'74年(昭和49年)

- トヨタ鞍ヶ池記念館完成
- トヨタ財団設立

- 日進研修センター完成

'75年(昭和50年)

- 下山工場操業開始
- 住宅事業に参入

'77年(昭和52年)

- トヨタテクニカルセンターU.S.A設立
- トヨタ会館完成

'78年(昭和53年)

- 衣浦工場操業開始

'79年(昭和54年)

- 田原工場操業開始



日本品質管理賞受賞



日進研修センター



田原工場

'51年(昭和26年)

- BX型トラック、BJ型トヨタジープ発表(現・ランドクルーザー)
- SF型小型乗用車生産開始

'52年(昭和27年)

- SG型小型トラック生産開始

'53年(昭和28年)

- RH型トヨペット・スーパー、RK型小型トラック発表

'54年(昭和29年)

- SKB型小型トラック発表(現・トヨエース)

'55年(昭和30年)

- トヨペット・クラウン、トヨペット・マスター、クラウン・デラックス発表

'56年(昭和31年)

- RK52型小型トラック発表(現・ダイナ)



トヨペット・クラウン

'57年(昭和32年)

- DA60型ディーゼルトラック、トヨペット・コロナ発表

'61年(昭和36年)

- パブリカ発表

'63年(昭和38年)

- RK170B型ライトバス発表(現・コースター)

'64年(昭和39年)

- クラウン・エイト、FA100型・DA100型大型トラック発表

'65年(昭和40年)

- トヨタスポーツ800発表

'66年(昭和41年)

- カローラ発表

'67年(昭和42年)

- トヨタ2000GT、ハイエース、ミニエース発表

'68年(昭和43年)

- ハイラックス、カローラスプリンター、コロナマーク2発表



パブリカ



カローラ



トヨタ2000GT スピードトライアル

'70年(昭和45年)

- カリーナ、セリカ、ライトエース発表

'73年(昭和48年)

- パブリカスターレット発表

'76年(昭和51年)

- タウンエース発表

'77年(昭和52年)

- チェイサー発表

'78年(昭和53年)

- セリカXX発表(現・スープラ)

- ターセル、コルサ発表



セリカ

'57年(昭和32年)

- 国産乗用車対米輸出第1号(クラウン)



'62年(昭和37年)

- 国内生産累計100万台達成

'69年(昭和44年)

- 輸出累計100万台達成

- 年間国内販売100万台達成



'72年(昭和47年)

- 国内生産累計1,000万台達成

'75年(昭和50年)

- 輸出累計500万台達成

'79年(昭和54年)

- 輸出累計1,000万台達成



1980

昭和55年～64年(平成元年)

1990

平成2年～11年

2000

平成12年～

事業展開／工場・施設展開

- '80年(昭和55年)
 - トヨタビスタ店営業開始
- '81年(昭和56年)
 - 豊田工業大学開学
- '82年(昭和57年)
 - トヨタ自動車工業(株)、トヨタ自動車販売(株)合併
新社名トヨタ自動車(株)
- '84年(昭和59年)
 - 米国でのトヨタ・GM合併会社(NUMMI)生産開始
 - 士別試験場完成
- '85年(昭和60年)
 - 飛島センター完成
- '86年(昭和61年)
 - 貞宝工場操業開始
- '87年(昭和62年)
 - 春日井事業所操業開始
 - トヨタ記念病院完成
 - 欧州テクニカルセンター設立
- '88年(昭和63年)
 - TMM(現・TMMK)生産開始
- '89年(平成元年)
 - 広瀬工場操業開始
 - 栃木事業所操業開始
 - トヨタ博物館完成
 - 米国レクサス店設立
 - 東京デザインセンター設立



工販合併



NUMMI



TMM工場搬入式



レクサス店

- '90年(平成2年)
 - アムラックス オープン
 - TMME 設立
- '91年(平成3年)
 - 山梨事業所操業開始
- '92年(平成4年)
 - 「トヨタ基本理念」発表
 - 「トヨタ地球環境憲章」制定
 - TMUK 生産開始
- '94年(平成6年)
 - VW・Audi 車販売店舗 DUO オープン
 - トヨタ自動車北海道(株)操業開始
 - トヨタ自動車九州(株)操業開始
- '94年(平成6年)
 - 産業技術記念館オープン
- '96年(平成8年)
 - (株)コンボン研究所設立
- '98年(平成10年)
 - トヨタオート店 社名をネットヨタに変更
 - フランス新工場建設を発表
 - TMMI/TMMWV 操業開始
 - 天津トヨタ自動車エンジン有限会社操業開始
 - トヨタ自動車東北(株)操業開始
- '99年(平成11年)
 - MEGA WEB(メガウェブ)オープン
 - ニューヨーク・ロンドン株式上場
 - トヨタ・キルロスカ・モーター社操業開始



TMUK 全景



フランス工場建設発表



天津エンジン工場
操業開始

- '00年(平成12年)
 - 金融統括会社「トヨタファイナンシャルサービス株式会社」設立
 - 四川トヨタ自動車有限会社生産開始
- '01年(平成13年)
 - TMMF 生産開始
 - TMMAL 設立
- '02年(平成14年)
 - F1 参戦
 - TPCA 設立
 - 中国第一汽車集団公司と中国での自動車事業で協力関係構築
 - TMMBC 設立
 - TKAP 設立
 - TMIP 設立
- '03年(平成15年)
 - 国内の新「商品・流通政策」を策定
 - 住宅販売会社「トヨタホーム(株)」を設立
 - トヨタ車体(株)、アラコ(株)が車両事業統合を合意
 - TMMTX 設立
 - 一気トヨタ自動車販売有限会社を設立

新車発表／生産・販売・輸出実績

- '80年(昭和55年)
 - セリカ・カムリ(現・カムリ)、クレスト発表
- '81年(昭和56年)
 - ソアラ発表
- '82年(昭和57年)
 - ビスタ、カローラⅡ、スプリンターカブリ、マスターエース・サーフ発表
- '84年(昭和59年)
 - ハイラックスサーフ、MR2発表
- '89年(平成元年)
 - デリボーイ、セルシオ発表



ソアラ



セルシオ

- '90年(平成2年)
 - セラ、エスティマ発表
- '91年(平成3年)
 - サイノス、ウィンダム、アリスト発表
- '92年(平成4年)
 - セプター、カルディナ発表
- '94年(平成6年)
 - カレン、RAV4L、RAV4J発表
- '95年(平成7年)
 - アバロン、グランビア、トヨタキャバリエ、クラウン・コンフォート発表
- '96年(平成8年)
 - メガクルーザー、イブサム発表
- '97年(平成9年)
 - ハイエースレジアス(現・レジアス)、ラウム、プリウス、ハリヤー発表
- '98年(平成10年)
 - プログレ、ガイア、ナディア、デュエット、アルテッツァ発表
- '99年(平成11年)
 - ヴィッツ、キャミ、ブラッツ、ファンカーゴ、MR-S発表



プリウス



ヴィッツ

- '00年(平成12年)
 - Will Vi、bB、プロナード、オーバ、スパーキー、クルーガーV発表
- '01年(平成13年)
 - アレックス、WILL VS、プレビス、ヴェロッサ、エスティマハイブリッド、ヴェイクシー、ノア、プレミオ、アリオン発表
- '02年(平成14年)
 - イスト、アルファード、プロボックス、サクシード、ヴォルツ、WILL サイファ発表
 - 「トヨタFCHV」限定販売
- '03年(平成15年)
 - ウィッシュ、2代目プリウス、シエンタ、アベンシス発表

沿革

- '85年(昭和60年)
 - 輸出累計 2,000万台達成
- '86年(昭和61年)
 - 国内生産累計 5,000万台達成
- '88年(昭和63年)
 - 年間国内販売 200万台達成



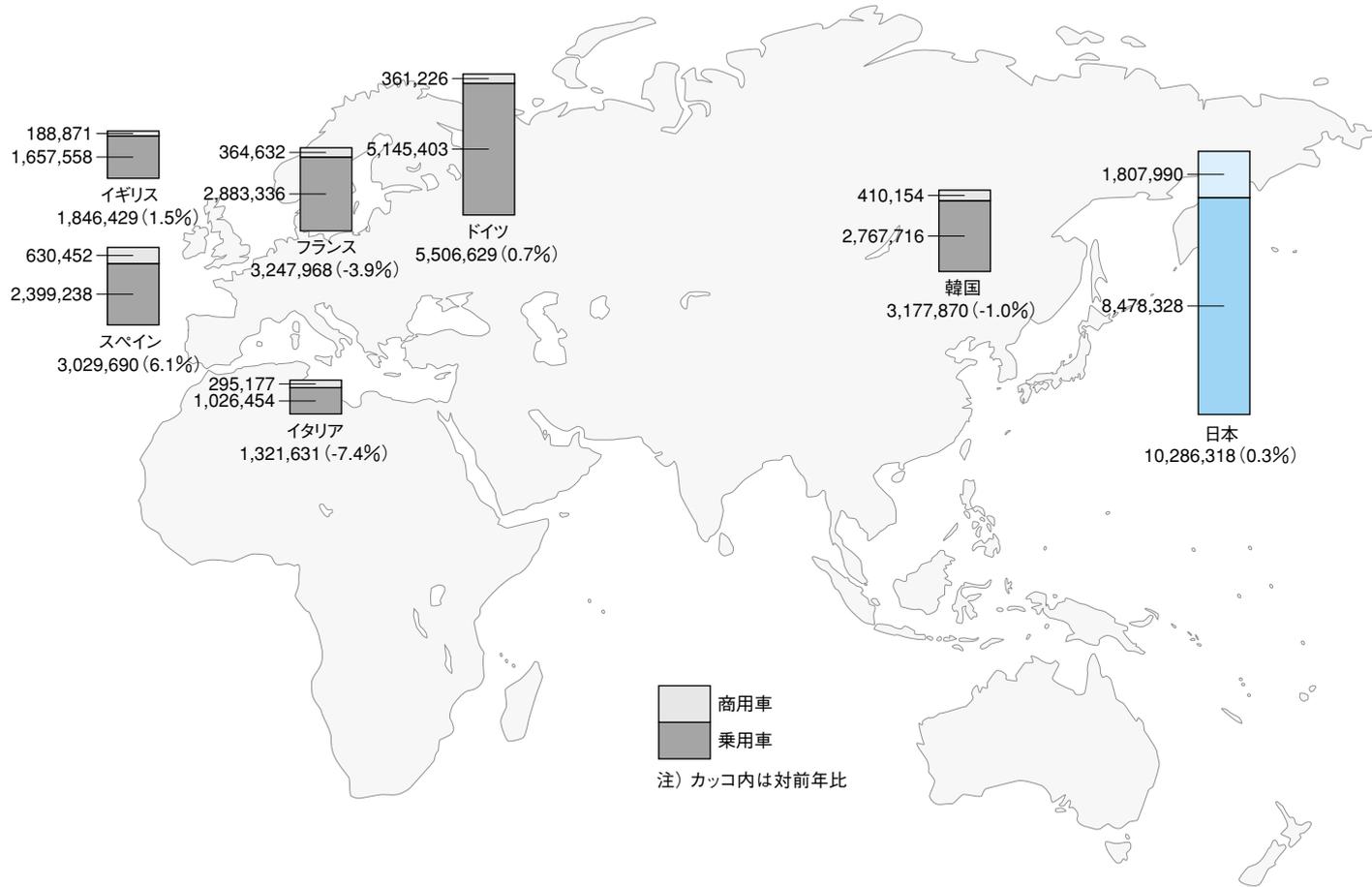
- '94年(平成6年)
 - 年間海外生産 100万台達成
- '99年(平成11年)
 - 国内生産累計 1億台達成
 - 年間海外販売 300万台達成



- '02年(平成14年)
 - 北米生産累計 1,000万台達成
 - プリウス販売累計 10万台突破

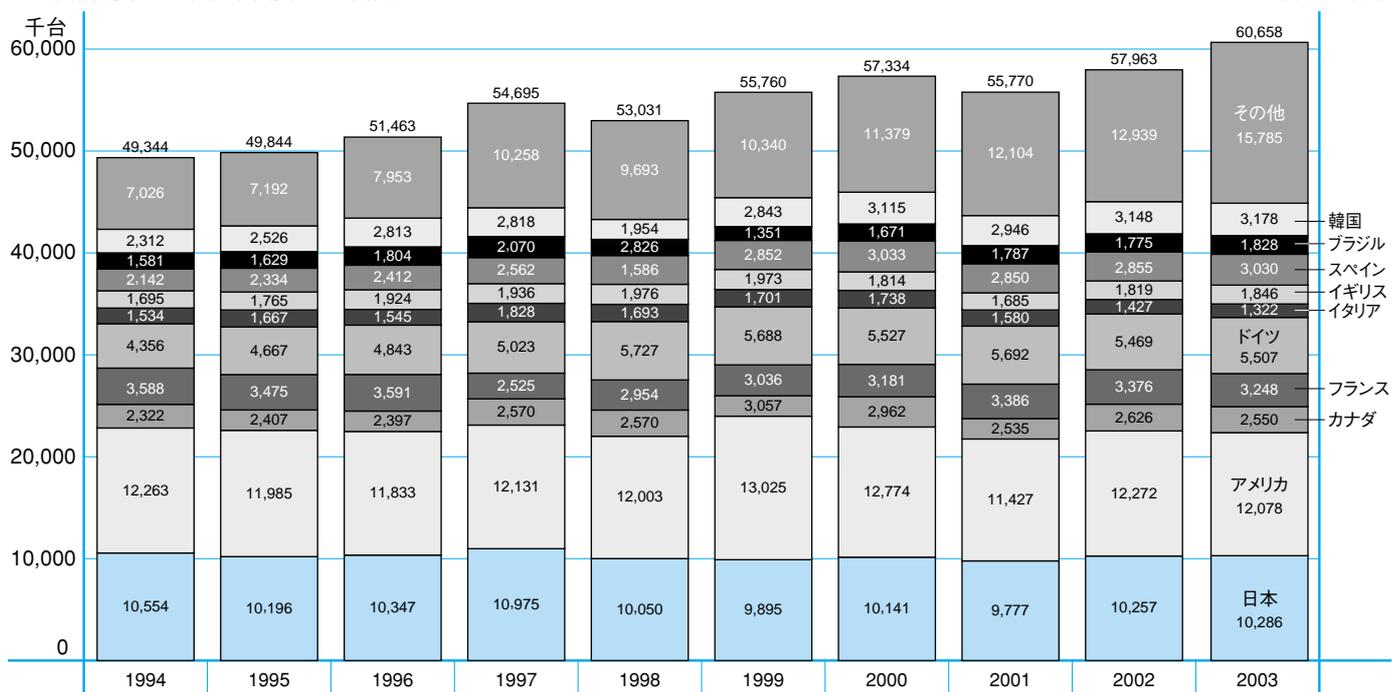
トヨタの概況 2004・データ編 目次

世界 ●			
自動車生産	台数推移 ●		56
	メーカー別 ●		58
主要市場の自動車販売	国／地域別 ●		59
	乗用車のメーカー別・車名別 ●		60
自動車保有	国／地域別 ●		61
日本 ●			
自動車生産	台数推移・メーカー別 ●		62
自動車登録・届け出台数	台数推移、メーカー別、 車名別登録・届け出台数ベスト10 ●		63
	都道府県別 ●		64
自動車輸出・海外生産	台数推移、メーカー別、国／地域別 ●		65
輸入車登録台数	台数推移、輸入国別 ●		67
自動車保有・運転免許保有 ●			68
交通事故発生状況 ●			70
自動車関係税制 ●			71
自動車リサイクル法 ●			72



■主要自動車生産国の自動車生産台数

(単位：千台)

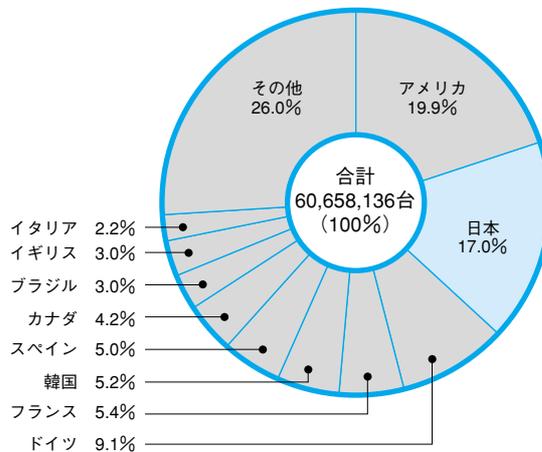


注) フランス自動車工業会は1998年から生産台数の算出方法を変更し1997年までさかのぼって修正。2003年の「その他」は推計。

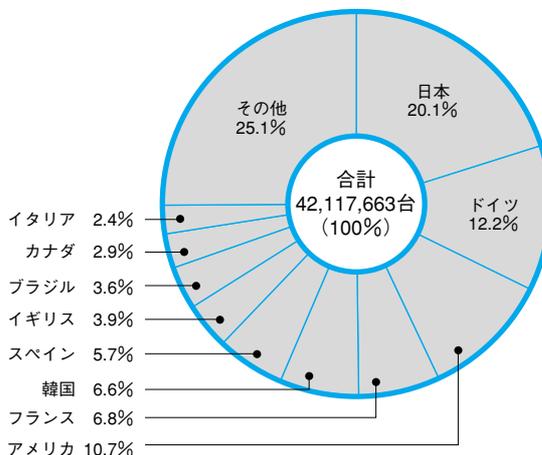
資料：各国自工会、OICA



2003年国別自動車生産（シェア）



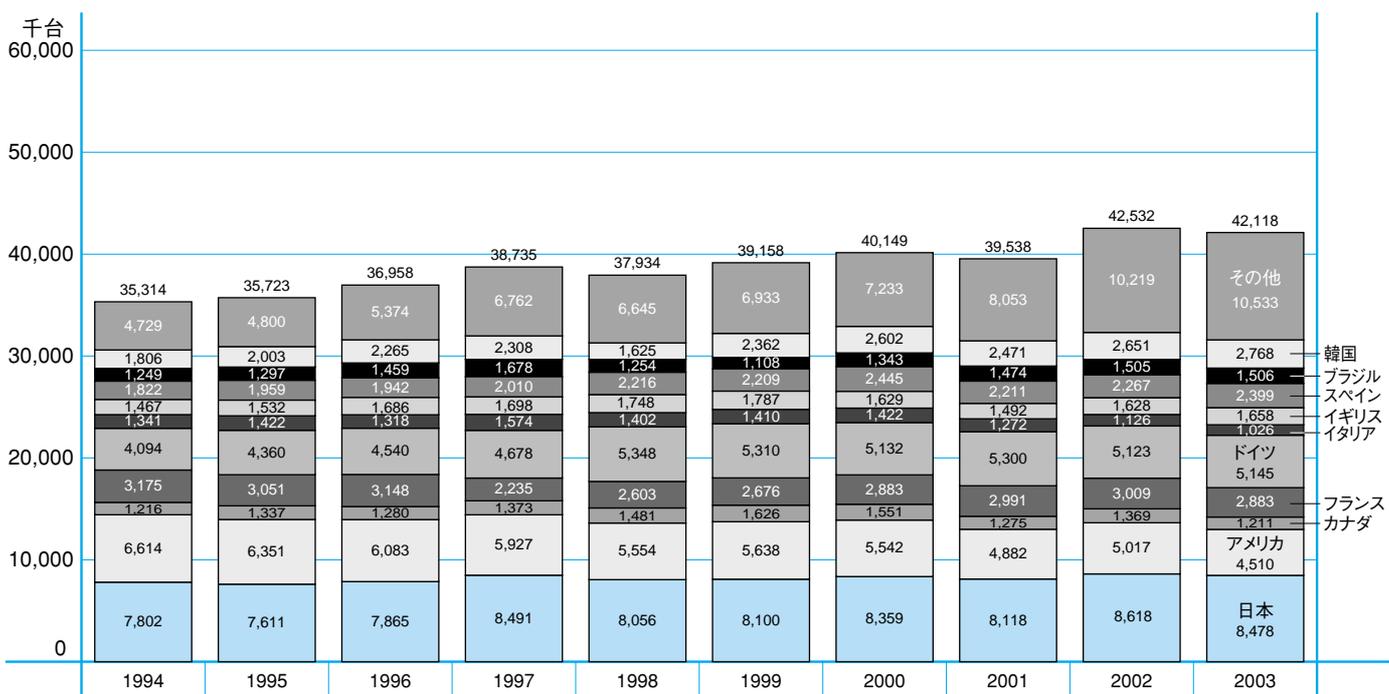
2003年国別乗用車生産（シェア）



資料：各国自工会、OICA

■主要自動車生産国の乗用車生産台数

（単位：千台）



注) フランス自動車工業会は1998年から生産台数の算出方法を変更し1997年までさかのぼって修正。2003年の「その他」は推計。

資料：各国自工会、OICA

■世界の国別メーカー別自動車生産台数(2003年)

国名	会社名	乗用車	商用車	合計	0	100	200	300	400	万台
アメリカ	GM	1,385,715	2,504,524	3,890,239						
	フォード	821,680	2,296,844	3,118,524						
	ダイムラー・クライスラー ^{※1}	363,027	1,362,977	1,726,004						
	トヨタ ^{※2}	669,370	453,082	1,122,452						
イギリス	日産	331,924	—	331,924						
	トヨタ	210,617	—	210,617						
	ボグゾール	124,061	18,193	142,254						
	MGローバー	132,789	768	133,557						
ドイツ	VW	1,103,747	100,982	1,204,729						
	ダイムラー・クライスラー ^{※3}	964,917	199,064	1,163,981						
	オベル	848,030	—	848,030						
	アウディ	726,675	—	726,675						
フランス	ルノー	1,076,945	249,314	1,326,259						
	プジョー	1,208,461	64,111	1,272,572						
	シトロエン	597,930	51,168	649,098						
	トヨタ	184,514	—	184,514						
イタリア	フィアットグループ ^{※4}	955,943	203,895	1,159,838						
韓国	現代	1,409,828	236,557	1,646,385						
	起亜	709,335	142,928	852,263						
日本	トヨタ ^{※5}	3,575,364	669,303	4,244,667						
	日産	1,242,481	229,114	1,471,595						
	ホンダ	1,117,120	53,821	1,170,941						
	三菱	645,525	103,846	749,371						

注) ※1 メルセデスベンツを含まない。 ※2 NUMMIの台数(含むプリズム)を含む。 ※3 クライスラー部門を含まない。 ※4 アルファロメオ、ランチア、イベコを含む。 ※5 ダイハツ、日野を含む。 資料: Ward's、各国自工会

■世界のメーカー別自動車生産台数(2003年)

メーカー	生産台数	0	200	400	600	800	1,000	万台
GM	8,245,000							
トヨタ	6,826,166							
VWグループ	5,020,733							
ダイムラー・クライスラー	4,264,734							
PSAプジョー・シトロエン	3,310,368							
ホンダ	2,968,316							
日産	2,957,757							
現代	2,796,724							
ルノー	2,385,087							
スズキ	1,904,903							
三菱	1,580,167							
BMW	1,118,940							
マツダ	1,041,905							

注) 1. GMはオペル、サブ、ボグゾール、いすゞを含む。 2. トヨタはダイハツ、日野を含む。 3. VWグループはアウディ、セアト、スコダ、ベントレーを含む。 4. ダイムラー・クライスラーには三菱を含まない。 5. 現代は起亜を含む。 6. ルノーはダチア、ルノー・サムスン・モーターズを含む。 7. フォードは生産台数未発表。 資料: PSAプジョー・シトロエン、ルノーはフランス自工会(CCF)、その他は各社資料

■ 国/地域別新車販売台数(2002年)

国/地域	総数	乗用車	0	500	1000	1500
アメリカ	17,138,652	8,103,229	乗用車 総数			
日本	5,792,091	4,441,354				
ドイツ	3,523,465	3,252,898				
中国	3,248,058	1,126,029				
イギリス	2,888,373	2,563,631				
フランス	2,606,008	2,145,071				
イタリア	2,550,916	2,270,900				
カナダ	1,731,823	934,057				
スペイン	1,637,779	1,331,878				
ブラジル	1,487,657	1,229,550				
韓国	1,318,312	1,001,874				
ロシア	1,293,533	1,050,000				
メキシコ	1,003,747	711,372				
インド	898,386	719,936				
オーストラリア	824,309	540,240				
オランダ	606,281	510,744				
ベルギー	527,785	467,569				
マレーシア	434,953	375,357				
南アフリカ	350,054	231,602				
台湾	340,866	238,770				
ポーランド	324,700	308,158				
スイス	319,613	293,034				
ポルトガル	310,823	226,092				
オーストリア	310,811	279,493				
スウェーデン	289,152	254,589				

資料：アメリカ、カナダはWard's、その他はSMMT、各国自工会

■ 世界の主要自動車メーカーの自動車販売台数(2003年) (単位:千台)

会社名	販売台数
GM	8,098
トヨタ	6,783
フォード	6,720
VW	5,015
ダイムラー・クライスラー	4,300
PSA ブジョー・シトロエン	3,286
日産	2,968
ホンダ	2,910
現代	2,758
ルノー	2,389

注) 1.GMはボグズール、オペル、サーブを含む。
 2.トヨタはダイハツ、日野を含む。
 3.フォードはジャガー、ボルボ、ランドローバー、アストンマーチンを含む。
 4.VWはアウディ、セアト、スコダ、ベントレー、ランボルギーニを含む。
 5.ダイムラー・クライスラーは三菱を含まない。
 6.現代は起亜を含む。
 7.ルノーはダチア、ルノー・サムスン・モーターズを含む。
 資料：各社資料

■ 世界の主要自動車メーカーの売上高(2003年) (単位:百万円)

会社名	売上高
GM	21,502,232
フォード	19,030,316
ダイムラー・クライスラー	17,982,397
トヨタ	16,054,290
VW	11,486,765
ホンダ	7,971,499
PSA ブジョー・シトロエン	7,148,568
日産	6,828,588
ルノー	4,945,795
現代	2,396,857

注)連結ベース。ただし現代は単独ベース。日本メーカーは2003年3月期。それ以外は2003年12月末決算。
 為替レートは決算期の期中平均(1ドル=115.9円、1ユーロ=131.8円、100ウォン=9.6円)。
 資料：日本メーカーは決算報告書。その他は各社資料。為替レートは日本銀行。

■主要自動車市場のメーカー別乗用車販売台数(2002年)

国名	会社名	販売台数
アメリカ	GM	2,069,205
	フォード	1,325,716
	トヨタ	985,835
	ホンダ	838,603
	ダイムラー・クライスラー ^{※1}	527,056
カナダ	GM	268,653
	ホンダ	121,328
	トヨタ	113,693
	フォード	92,781
	ダイムラー・クライスラー ^{※1}	61,767
ドイツ	VW	604,347
	ダイムラー・クライスラー ^{※2}	388,545
	オペル	337,237
	BMW	226,648
	フォード	185,874
イギリス	フォード	400,782
	オペル/ボグゾール	318,633
	プジョー	208,920
	ルノー	194,685
	VW	178,924
フランス	ルノー	579,618
	プジョー	431,678
	シトロエン	288,550
	VW	137,812
	オペル	122,549
イタリア	フィアット	508,254
	オペル	186,138
	フォード	185,874
	VW	168,458
	ルノー	156,822
スペイン	ルノー	168,081
	シトロエン	148,450
	プジョー	146,763
	セアト	143,502
	GM/オペル	141,952
日本	トヨタ	1,330,612
	ホンダ	844,272
	日産	544,174
	スズキ	458,613
	ダイハツ	358,093

■主要自動車市場の乗用車車名別販売台数(2002年)

国名	車名	会社名	販売台数
アメリカ	Camry	トヨタ	434,145
	Accord	ホンダ	332,692
	Taurus	フォード	332,690
	Civic	ホンダ	313,159
	Focus	フォード	243,199
カナダ	Civic	ホンダ	98,814
	Cavalier	GM	53,614
	Corolla	トヨタ	52,117
	Sunfire	GM	46,036
	Focus	フォード	40,228
ドイツ	Golf	VW	274,162
	3 Series	BMW	148,086
	C Class	ダイムラー・クライスラー	125,206
	A4, S4	アウディ	120,320
	Astra	オペル	112,494
イギリス	Focus	フォード	151,209
	Corsa	ボグゾール	105,199
	Astra	ボグゾール	102,107
	206	プジョー	96,938
	Fiesta	フォード	93,591
フランス	Clio	ルノー	188,210
	206	プジョー	181,929
	Megane	ルノー	158,486
	307	プジョー	154,986
	Xsara	シトロエン	126,096
イタリア	Punto	フィアット	208,497
	Panda	フィアット	100,382
	Focus	フォード	84,725
	206	プジョー	83,171
	Corsa	オペル	76,683
スペイン	Xsara	シトロエン	87,791
	Megane	ルノー	85,660
	Focus	フォード	65,283
	Ibiza	セアト	63,861
	206	プジョー	62,288
日本	フィット	ホンダ	250,790
	カローラ	トヨタ	226,222
	マーチ	日産	139,332
	イスト	トヨタ	103,579
	ヴェイツ	トヨタ	100,801

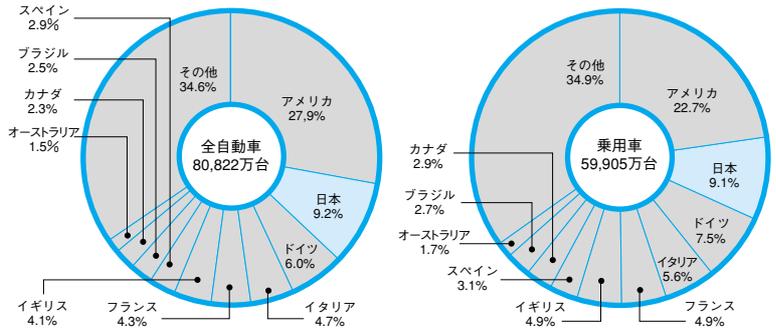
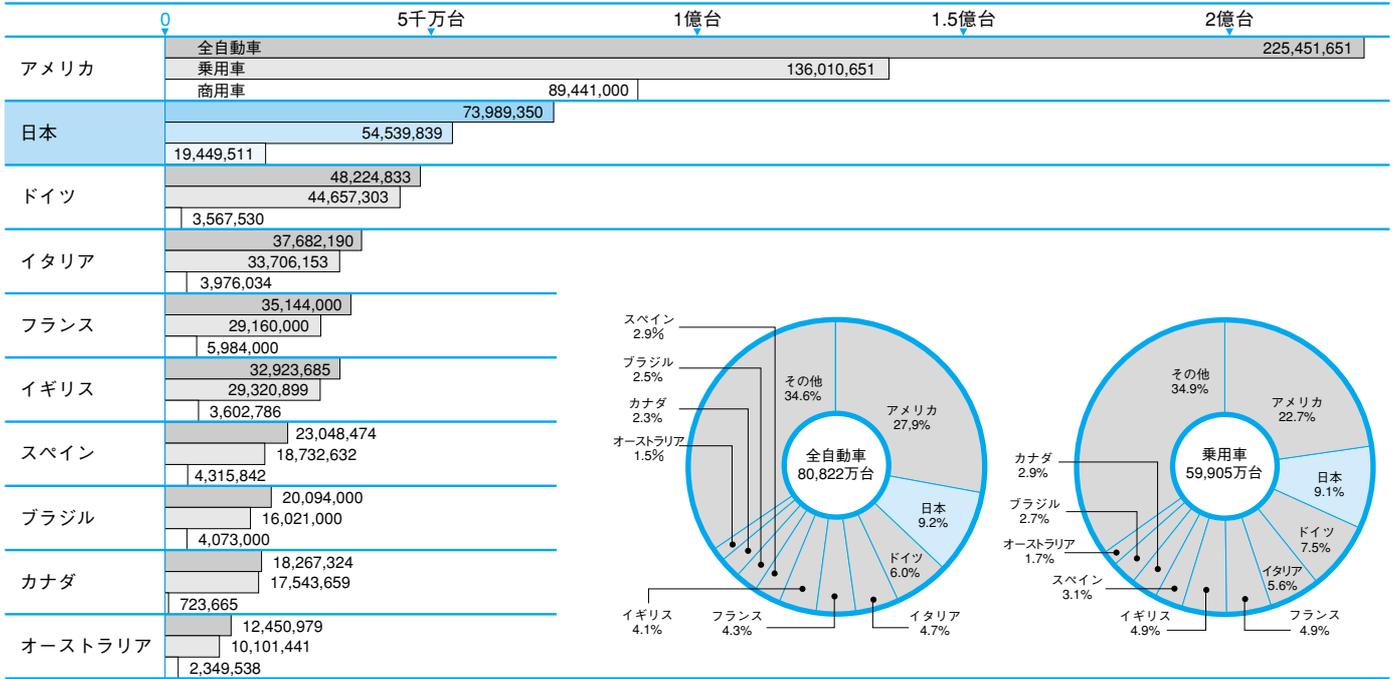
注)日本は輸入車、軽自動車を含む。
 ※1メルセデスベンツは含まない。
 ※2クライスラーは含まない。

資料:日本は日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合
 それ以外はWard's, SMMT

注)日本は軽自動車、輸入車を除く。

資料: SMMT, Ward's, 日本自動車販売協会連合会

■主要市場の自動車保有台数（2002年）



資料：SMMT

■主要市場の自動車普及率（2002年）

国	自動車種別	人/台	台/千人								
			0	100	200	300	400	500	600	700	
アメリカ	全自動車	1.3									789
	乗用車	2.1						476			
日本	全自動車	1.7								581	
	乗用車	2.3					428				
ドイツ	全自動車	1.7								588	
	乗用車	1.8						545			
イタリア	全自動車	1.5								655	
	乗用車	1.7								586	
フランス	全自動車	1.7								591	
	乗用車	2.0					490				
イギリス	全自動車	1.8								551	
	乗用車	2.0						491			
スペイン	全自動車	1.7								577	
	乗用車	2.1						469			
ブラジル	全自動車	8.6	116								
	乗用車	10.8	93								
カナダ	全自動車	1.7								592	
	乗用車	1.8								568	
オーストラリア	全自動車	1.6								644	
	乗用車	1.9						522			

資料：SMMT

■地域別自動車普及率

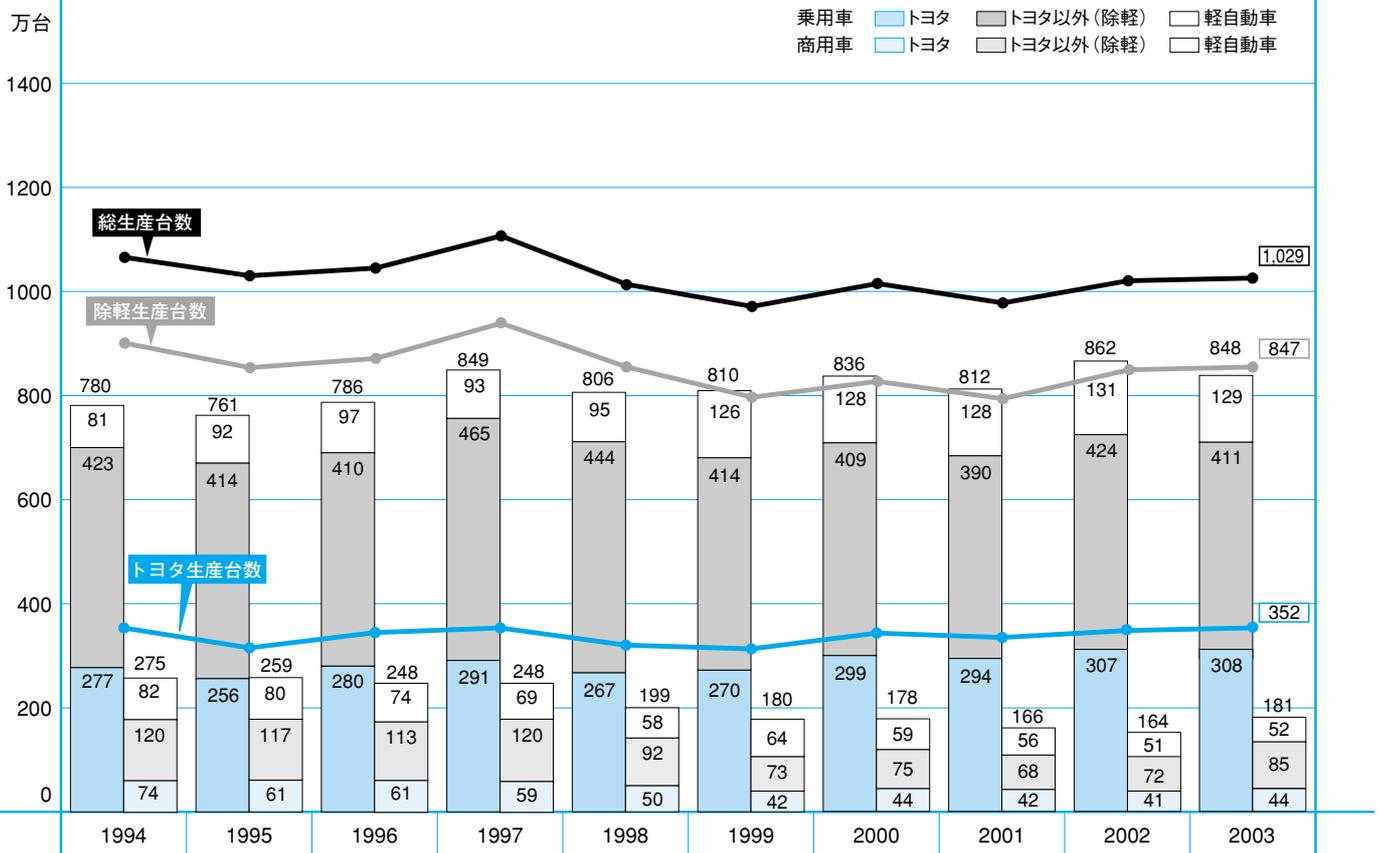
(単位：人/台)

地域	1998		1999		2000		2001		2002	
	全自動車	乗用車								
ヨーロッパ	3.3	3.9	3.3	3.8	3.1	3.7	2.7	3.1	2.6	2.9
うちEU	1.9	2.2	1.9	2.1	1.8	2.1	1.8	2.0	1.8	2.0
南北アメリカ	3.0	4.7	3.0	4.6	2.8	4.3	2.7	4.1	2.7	4.2
アジア	24.9	38.3	24.2	37.1	23.5	35.6	21.4	32.3	21.4	31.6
アフリカ	44.6	67.0	44.0	66.7	42.6	64.4	42.0	61.6	40.2	59.2
オセアニア	2.0	2.5	1.9	2.4	1.9	2.3	1.9	2.4	1.9	2.4
全世界	8.5	11.6	8.3	11.4	8.0	11.0	7.6	10.4	7.6	10.2

注) 中近東は、アジアとヨーロッパに含まれる。

資料：SMMT

国内生産台数の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料: 日本自動車工業会

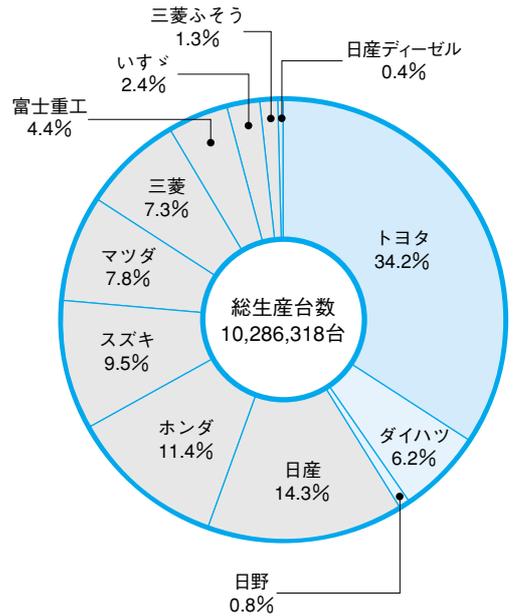
メーカー別自動車生産台数(含軽) (2003年)

(単位: 台、%)

会社名	総生産台数		乗用車	
	生産台数	前年比	生産台数	前年比
トヨタ	3,520,317	101.0	3,082,044	100.4
ダイハツ	641,236	107.0	493,390	111.1
日野	83,122	153.4	—	—
日産	1,471,595	105.7	1,242,481	104.2
ホンダ	1,170,941	84.5	1,117,120	84.1
スズキ	980,731	98.1	799,275	97.8
マツダ	801,084	103.6	733,295	102.4
三菱	749,371	86.0	645,525	94.2
富士重工	450,062	103.1	363,357	102.2
いすゞ	244,575	105.9	710	8.4
三菱ふそう	132,745	—	—	—
日産ディーゼル	38,848	145.1	—	—
その他	1,691	201.1	1,131	469.3
合計	10,286,318	100.3	8,478,328	98.4

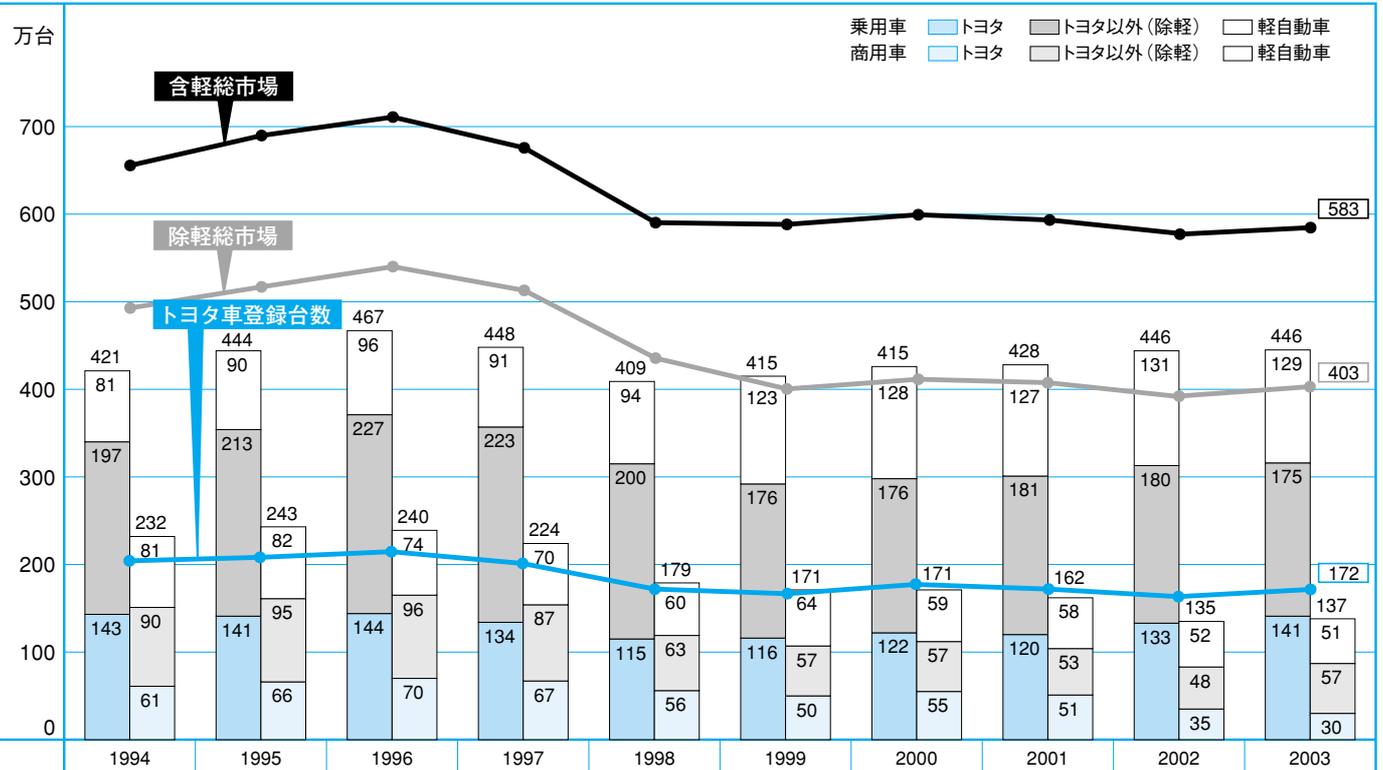
資料: 日本自動車工業会

メーカー別生産シェア(含軽) (2003年)



資料: 日本自動車工業会

国内登録・届け出数の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

メーカー別登録・届け出数(2003年)

(単位: 台、%)

会社名	登録台数(除軽)					登録・届出数(含軽)				
	乗用車	商用車	合計	前年比(%)	シェア(%)	乗用車	商用車	合計	前年比(%)	シェア(%)
トヨタ*	1,413,681	302,300	1,715,981	102.1	42.6	1,413,681	302,300	1,715,981	102.1	29.4
ダイハツ	4,608	4,876	9,484	64.6	0.2	401,822	140,036	541,858	107.4	9.3
日野	-	47,871	47,871	144.1	1.2	-	47,871	47,871	144.1	0.8
日産	548,679	232,613	781,292	106.0	19.4	586,094	238,996	825,090	106.6	14.2
ホンダ*	477,009	2,959	479,968	78.2	11.9	682,956	52,094	735,050	81.4	12.6
マツダ	195,667	38,816	234,483	107.1	5.8	231,179	46,604	277,783	105.6	4.8
三菱	117,451	21,580	139,031	78.8	3.5	270,507	96,533	367,040	88.1	6.3
富士重工	110,755	-	110,755	105.8	2.8	162,338	81,486	243,824	95.5	4.2
いすゞ*	3	86,104	86,107	153.6	2.1	3	86,104	86,107	153.6	1.5
スズキ	55,120	8,642	63,762	117.1	1.6	464,093	162,781	626,874	100.0	10.8
日本GM	1,226	-	1,226	-	0.0	1,226	-	1,226	-	0.0
日産ディーゼル	-	22,245	22,245	141.7	0.6	-	22,245	22,245	141.7	0.4
三菱ふそう	-	87,504	87,504	-	2.2	-	87,504	87,504	-	1.5
輸入車	243,996	3,610	247,606	95.0	6.1	246,120	3,610	249,730	94.6	4.3
	275,194	3,610	278,804	100.6	6.9	277,318	3,610	280,928	100.1	4.8
合計	3,168,195	859,120	4,027,315	101.5	100.0	4,460,019	1,368,164	5,828,183	100.6	100.0

注) ※海外生産車を含む。「輸入車」の上段は輸入車から日本メーカーブランドとして登録されたものを除いた数字、下段は含む数字。

資料: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

国内販売車両の乗用車系車名別登録・届け出数ベスト10(2003年)

除軽	順位	車名	会社名	登録台数	前年比(%)
	1	カローラ	トヨタ	198,904	87.9
	2	フィット	ホンダ	182,285	72.7
	3	ウィッシュ	トヨタ	158,658	-
	4	キューブ	日産	139,570	185.6
	5	マーチ	日産	123,709	88.8
	6	イスト	トヨタ	103,946	100.4
	7	デミオ	マツダ	88,170	139.8
	8	ノア	トヨタ	86,922	92.7
	9	アルファード	トヨタ	83,529	156.3
	10	エスティマ	トヨタ	74,940	78.3

注) カローラにはカローラスパシオ、カローラランクス、カローラフィールダーを含む。

含軽	順位	車名	会社名	登録・届出数	前年比(%)
	1	カローラ	トヨタ	198,904	87.9
	2	ムーヴ	ダイハツ	187,545	125.6
	3	フィット	ホンダ	182,285	72.7
	4	ワゴンR	スズキ	177,151	110.8
	5	ウィッシュ	トヨタ	158,658	-
	6	トゥデイ・ライフ	ホンダ	147,007	98.2
	7	キューブ	日産	139,570	185.6
	8	ミラ	ダイハツ	126,604	191.2
	9	マーチ	日産	123,709	88.8
	10	アルト・アルトラバン	スズキ	120,104	108.2

資料: 日本自動車販売協会連合会、トヨタ自動車

都道府県別の登録台数とメーカー別シェア(除軽、2003年)

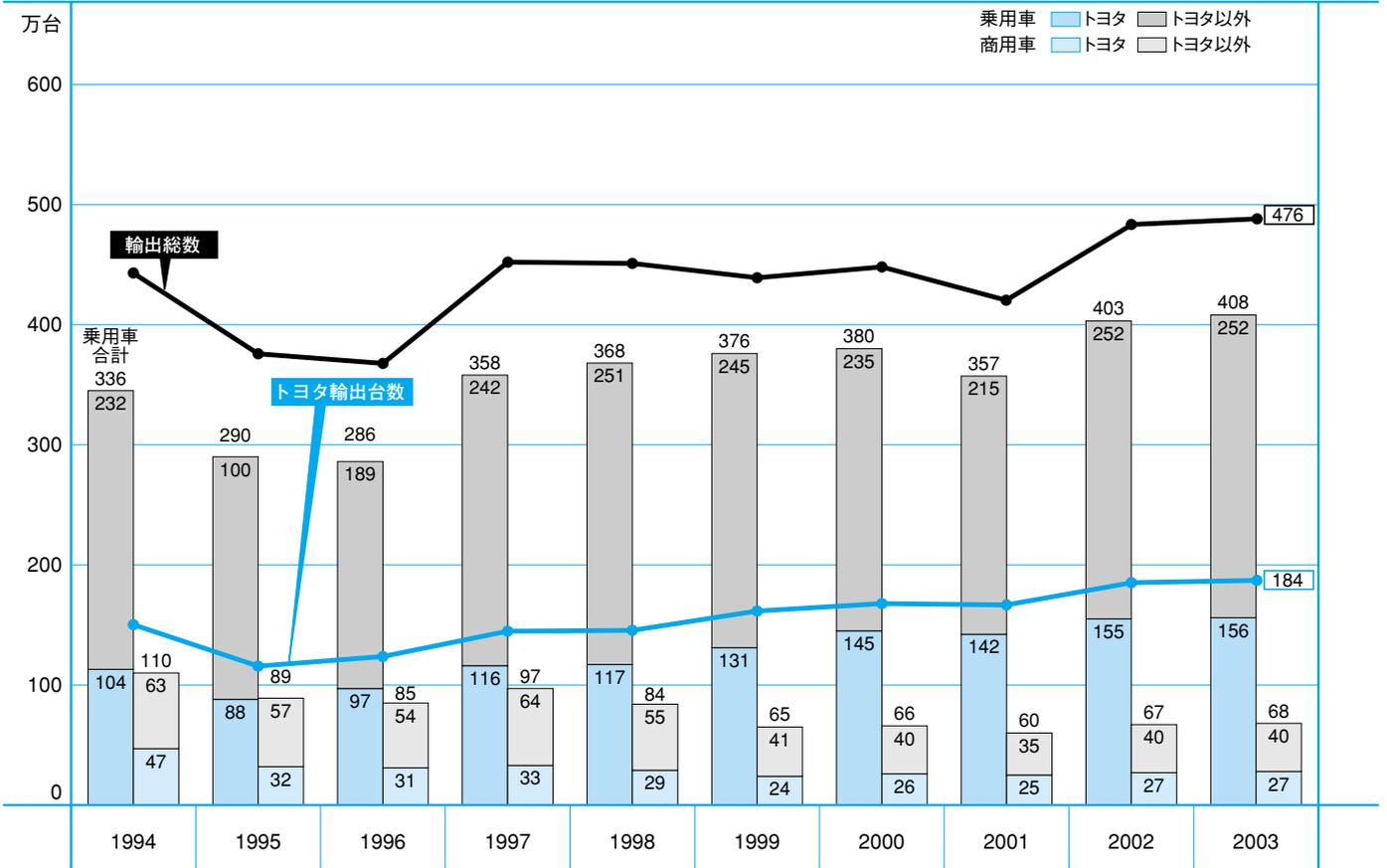
(単位:台、%)

	シェア						除軽総市場(前年比)	軽自動車〔シェア〕
	トヨタ(登録台数)	日産	ホンダ	三菱	マツダ	その他		
北海道	45.0 (76,425)	17.4	12.4	8.0	5.5	11.7	169,804 (97.4)	61,850 [26.7]
青森	43.4 (15,231)	18.5	14.2	5.9	3.1	14.9	35,118 (97.1)	26,085 [42.6]
岩手	43.9 (15,503)	18.4	12.9	7.3	4.3	13.2	35,336 (98.0)	23,093 [39.5]
宮城	41.0 (30,207)	20.1	14.4	6.6	4.5	13.4	73,660 (99.7)	36,704 [33.3]
秋田	37.1 (12,141)	25.9	14.2	5.0	6.2	11.6	32,682 (99.0)	22,000 [40.2]
山形	43.1 (16,333)	19.4	12.4	7.0	4.8	13.3	37,886 (97.4)	23,029 [37.8]
福島	39.4 (25,297)	23.0	12.4	6.3	6.3	12.6	64,220 (100.3)	31,264 [32.7]
茨城	40.2 (41,566)	19.3	13.9	5.6	7.3	13.7	103,422 (103.4)	41,633 [28.7]
栃木	41.6 (32,910)	21.0	14.5	4.6	5.2	13.1	79,115 (101.1)	31,632 [28.6]
群馬	39.5 (34,099)	22.8	10.5	5.3	5.0	16.9	86,227 (104.1)	36,185 [29.6]
埼玉	37.5 (95,948)	20.5	12.4	7.1	5.9	16.6	255,715 (111.4)	69,357 [21.3]
千葉	41.3 (83,197)	18.5	13.2	6.5	4.2	16.3	201,681 (109.3)	62,036 [23.5]
東京	37.4 (137,931)	21.0	8.4	5.7	4.2	23.3	367,488 (109.8)	68,353 [15.7]
神奈川	40.6 (121,930)	22.9	9.6	5.6	3.5	17.8	300,094 (107.4)	60,270 [16.7]
新潟	40.1 (29,539)	20.2	15.1	6.1	5.9	12.6	73,664 (98.9)	49,671 [40.3]
山梨	44.6 (12,618)	17.6	13.5	5.6	5.0	13.7	28,293 (98.9)	16,009 [36.1]
富山	46.4 (18,076)	15.9	13.1	5.8	6.7	12.1	38,956 (97.7)	20,624 [34.6]
石川	47.8 (20,103)	16.4	12.8	5.0	6.2	11.8	42,017 (97.7)	19,485 [31.7]
福井	44.5 (13,042)	15.7	12.3	6.8	7.8	12.9	29,329 (96.1)	17,332 [37.1]
長野	40.1 (31,467)	23.4	12.4	4.7	6.2	13.2	78,504 (98.7)	48,943 [38.4]
岐阜	48.8 (40,029)	16.1	11.1	4.6	6.9	12.5	81,945 (99.0)	43,673 [34.8]
静岡	39.8 (55,805)	21.6	13.1	4.8	6.5	14.2	140,276 (97.5)	72,113 [34.0]
愛知	56.0 (184,588)	13.2	9.3	4.8	4.8	11.9	329,696 (97.2)	114,888 [25.8]
三重	43.0 (32,309)	18.9	16.5	3.7	6.5	11.4	75,189 (99.5)	39,693 [34.6]
滋賀	46.6 (20,587)	17.8	11.4	4.8	6.4	13.0	44,196 (102.0)	28,102 [38.9]
京都	43.3 (31,593)	19.4	11.7	5.9	5.5	14.2	72,915 (98.8)	33,542 [31.5]
大阪	41.8 (98,780)	20.5	11.3	4.6	8.0	13.8	236,080 (99.5)	88,514 [27.3]
兵庫	42.0 (64,450)	20.2	11.2	4.6	7.0	15.0	153,508 (100.2)	66,193 [30.1]
奈良	47.0 (18,794)	15.9	13.6	3.9	6.5	13.1	39,988 (98.4)	18,994 [32.2]
和歌山	44.2 (11,383)	18.7	15.2	4.4	3.8	13.7	25,763 (97.5)	20,189 [43.9]
鳥取	39.3 (6,579)	17.5	15.5	9.2	5.7	12.8	16,737 (95.7)	15,585 [48.2]
島根	42.9 (9,685)	20.9	13.4	7.3	5.1	10.4	22,596 (96.8)	20,559 [47.6]
岡山	42.1 (24,018)	14.7	14.6	8.8	6.5	13.3	56,988 (99.3)	40,687 [41.7]
広島	41.2 (34,587)	15.9	10.9	5.9	13.0	13.1	83,856 (97.8)	52,582 [38.5]
山口	43.3 (21,033)	19.1	13.1	6.2	7.1	11.2	48,531 (96.3)	36,348 [42.8]
徳島	45.1 (9,640)	14.4	15.0	4.4	6.0	15.1	21,393 (94.7)	16,896 [44.1]
香川	46.0 (12,768)	13.5	16.6	5.9	4.4	13.6	27,753 (97.8)	23,027 [45.3]
愛媛	45.4 (15,410)	18.3	11.3	4.3	7.6	13.1	33,946 (96.9)	26,257 [43.6]
高知	40.6 (7,929)	24.1	12.7	5.2	7.2	10.2	19,548 (91.5)	17,644 [47.4]
福岡	42.6 (63,167)	22.1	11.5	4.8	6.8	12.2	148,183 (100.8)	72,620 [32.9]
佐賀	42.3 (8,707)	19.9	14.0	5.9	4.2	13.7	20,586 (97.9)	20,148 [49.5]
長崎	36.9 (11,243)	19.6	17.3	6.8	5.9	13.5	30,460 (97.4)	30,510 [50.0]
熊本	42.5 (18,580)	21.2	13.7	4.4	6.3	11.9	43,763 (96.2)	34,311 [43.9]
大分	38.7 (12,635)	22.3	14.1	5.1	6.4	13.4	32,612 (96.4)	23,905 [42.3]
宮崎	43.1 (13,159)	19.1	15.1	4.3	8.0	10.4	30,537 (98.2)	25,883 [45.9]
鹿児島	44.4 (17,660)	18.9	15.1	4.2	6.0	11.4	39,818 (97.9)	32,830 [45.2]
沖縄	43.6 (7,767)	14.5	13.1	8.0	7.7	13.1	17,801 (101.7)	19,620 [52.4]
全国	42.6 (1,715,908)	19.4	11.9	5.6	5.8	14.7	4,027,875 (101.5)	1,800,868 [30.9]

注) 1.〔〕内は含軽総市場に占める軽自動車のシェア。 2. 海外生産車を含む。

資料: トヨタ自動車

日本の自動車輸出の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料: 日本自動車工業会

メーカー別自動車輸出台数 (2003年)

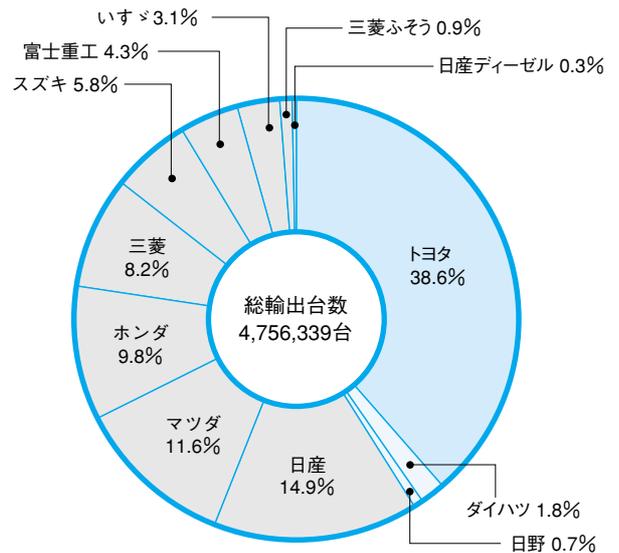
(単位: 台、%)

会社名	総輸出台数		乗用車	
	輸出台数	対前年比	輸出台数	対前年比
トヨタ	1,835,991	101.1	1,562,451	100.8
ダイハツ	83,846	110.2	72,742	116.5
日野	33,258	145.1	—	—
日産	708,623	105.3	587,831	106.7
マツダ	554,001	106.3	547,323	106.6
ホンダ	465,653	97.9	465,653	97.9
三菱	389,947	86.4	375,056	93.5
スズキ	274,696	97.3	259,157	97.4
富士	202,713	107.2	202,713	107.2
いすゞ	148,977	84.1	7,568	39.1
三菱ふそう	42,150	—	—	—
日産ディーゼル	16,484	127.0	—	—
合計	4,756,339	101.2	4,080,494	101.3

注) 合計には国際機関向け輸出を含む。

資料: 日本自動車工業会

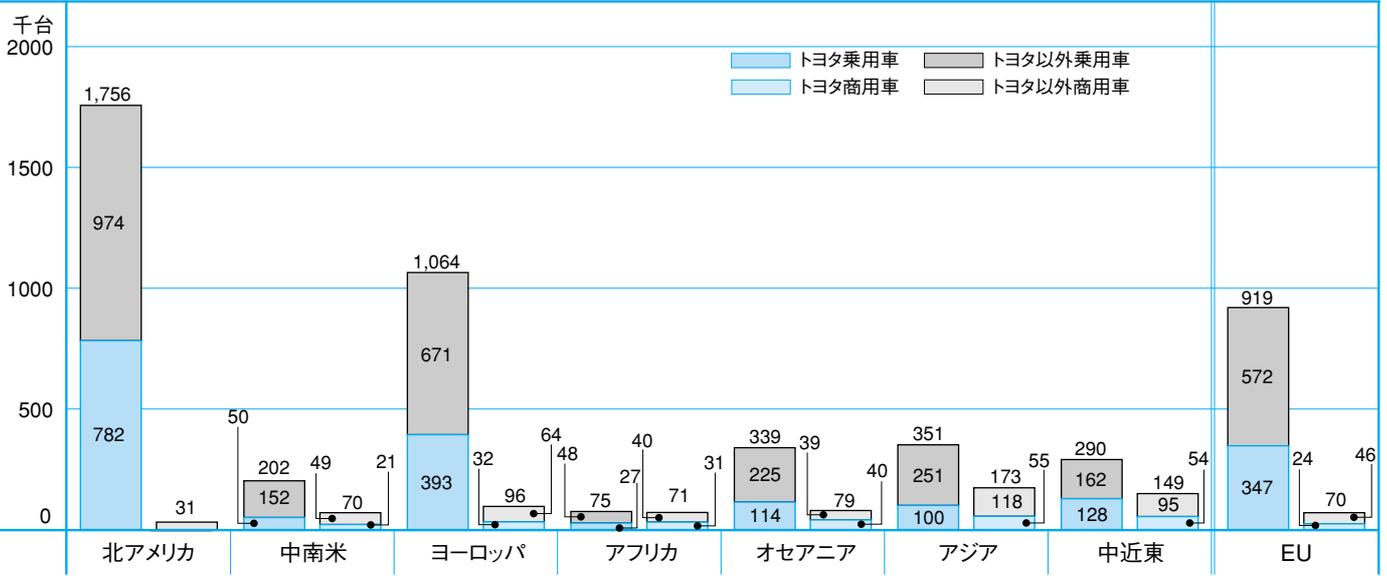
メーカー別輸出シェア (2003年)



注) 合計には国際機関向け輸出を含む。

資料: 日本自動車工業会

日本の自動車輸出 (2003年)



資料：日本自動車工業会、トヨタ自動車

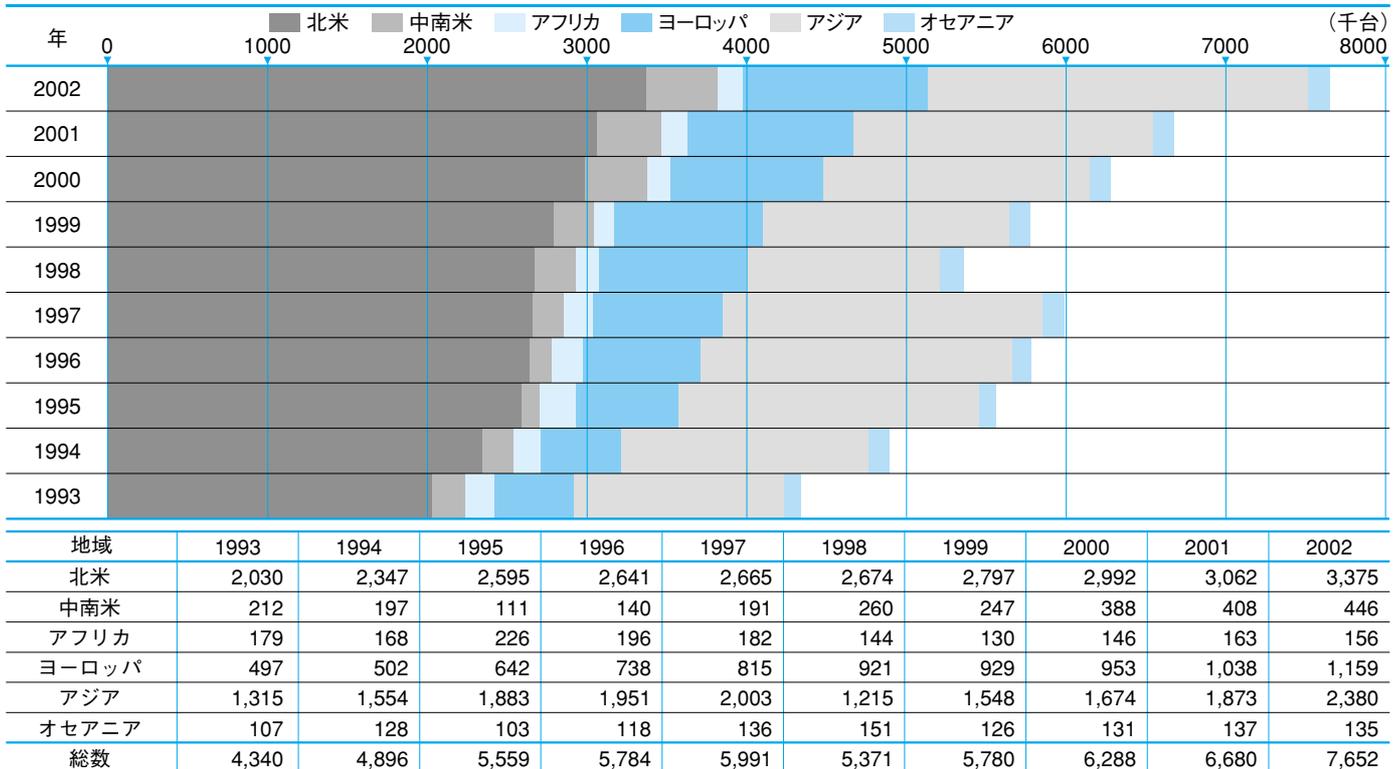
日本の自動車輸出相手国ベスト10 (2003年)

(単位：台、%)

順位	国名	輸出総数		乗用車		商用車	
		輸出台数	対前年比	輸出台数	対前年比	輸出台数	対前年比
1	アメリカ	1,594,152	86.6	1,564,840	86.1	23,113	126.8
2	オーストラリア	367,215	108.6	302,150	112.6	69,759	90.2
3	ドイツ	221,907	112.3	215,409	111.8	4,833	134.5
4	イギリス	209,977	128.9	193,890	129.3	12,908	124.6
5	カナダ	192,230	81.9	190,888	81.7	1,028	130.5
6	サウジアラビア	149,825	91.0	80,361	107.4	89,766	97.0
7	中国	139,807	145.2	123,384	157.9	18,152	83.7
8	イタリア	128,301	105.9	123,757	106.6	5,027	90.4
9	フランス	85,505	113.3	80,196	113.0	4,510	117.7
10	U.A.E.	79,529	102.1	57,057	119.1	29,952	68.9

資料：日本自動車工業会

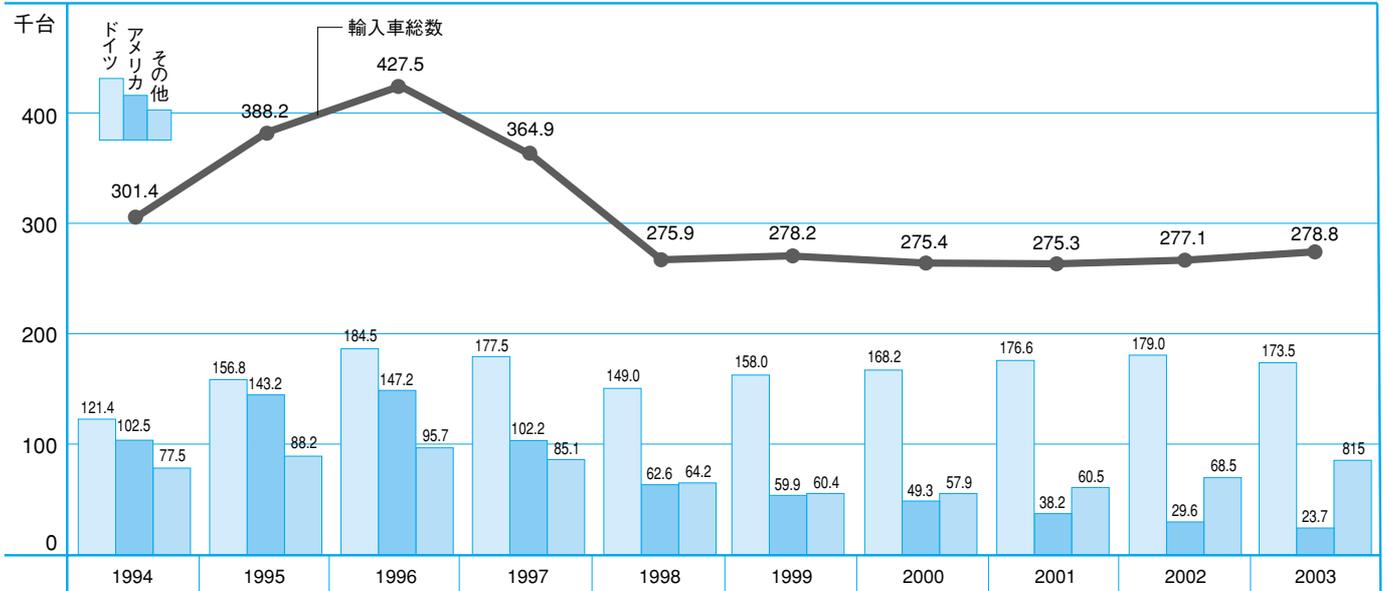
日本メーカーの海外生産台数の推移



注) 他ブランド分を除く。四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料：日本自動車工業会

■輸入自動車登録台数の推移



注) 四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料：日本自動車輸入組合

■輸入車の国別登録台数

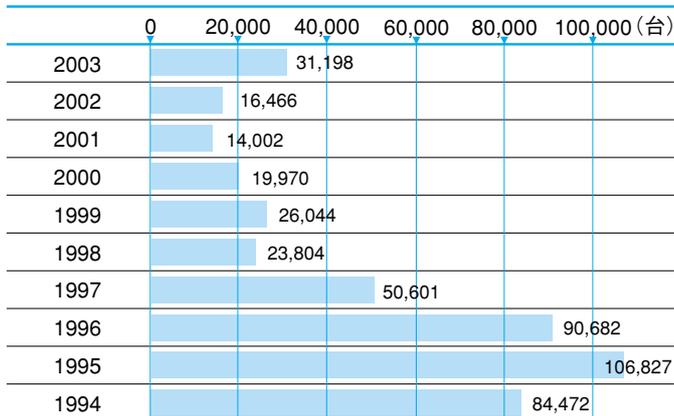
(単位：台)

年次 国名	1998		1999		2000		2001		2002		2003	
	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車	乗用車	商用車
アメリカ 計	53,462	9,182	53,636	6,240	42,196	7,169	31,986	6,193	26,438	3,203	21,251	2,481
うちGM	17,596	7,787	16,201	4,875	10,796	5,504	6,438	826	5,895	382	3,953	227
フォード	4,426	889	2,689	658	2,536	792	2,300	729	2,671	461	2,870	670
ダイムラー・クライスラー	8,318	505	6,377	706	7,469	873	8,708	1,025	7,279	888	6,373	706
イギリス	19,413	2	17,067	8	9,428	—	8,583	1	10,917	371	15,159	225
ドイツ 計	148,607	388	157,645	322	167,808	391	176,305	336	178,750	287	173,095	451
うちVW	50,397	137	53,608	75	65,453	104	69,248	92	71,581	48	69,311	20
BMW	30,185	—	32,352	—	33,544	—	32,711	—	45,948	—	49,074	—
ダイムラー・クライスラー	39,745	218	48,149	235	46,267	271	55,668	231	48,603	231	46,463	418
オペル	24,223	—	19,433	—	15,318	—	12,626	—	7,846	—	3,890	—
フランス	10,157	—	11,339	—	14,092	—	16,207	—	18,776	—	19,340	41
イタリア	8,052	—	7,369	—	7,258	—	9,193	—	10,362	—	8,629	76
スウェーデン	13,348	86	12,833	101	14,463	123	15,126	189	13,673	210	12,889	336
その他	12,809	363	11,547	118	12,522	2	11,160	—	14,078	—	24,831	—
合計	265,848	10,021	271,436	6,789	267,767	7,685	268,560	6,719	272,994	4,071	275,194	3,610

注) 1. アメリカのダイムラー・クライスラーは、2000年よりクライスラーとメルセデスベンツの合計値。
2. ドイツのダイムラー・クライスラーは、2000年よりメルセデスベンツとスマートの合計値。

資料：現代文化研究所

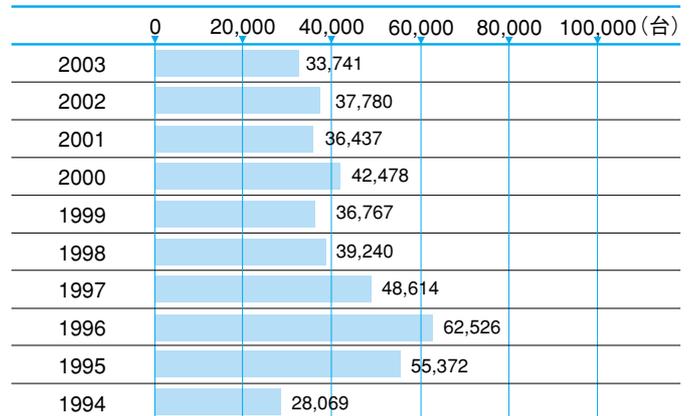
■日本メーカーの海外生産車輸入台数の推移



注) 対象メーカーはトヨタ、ホンダ、いすゞ。

資料：日本自動車輸入組合

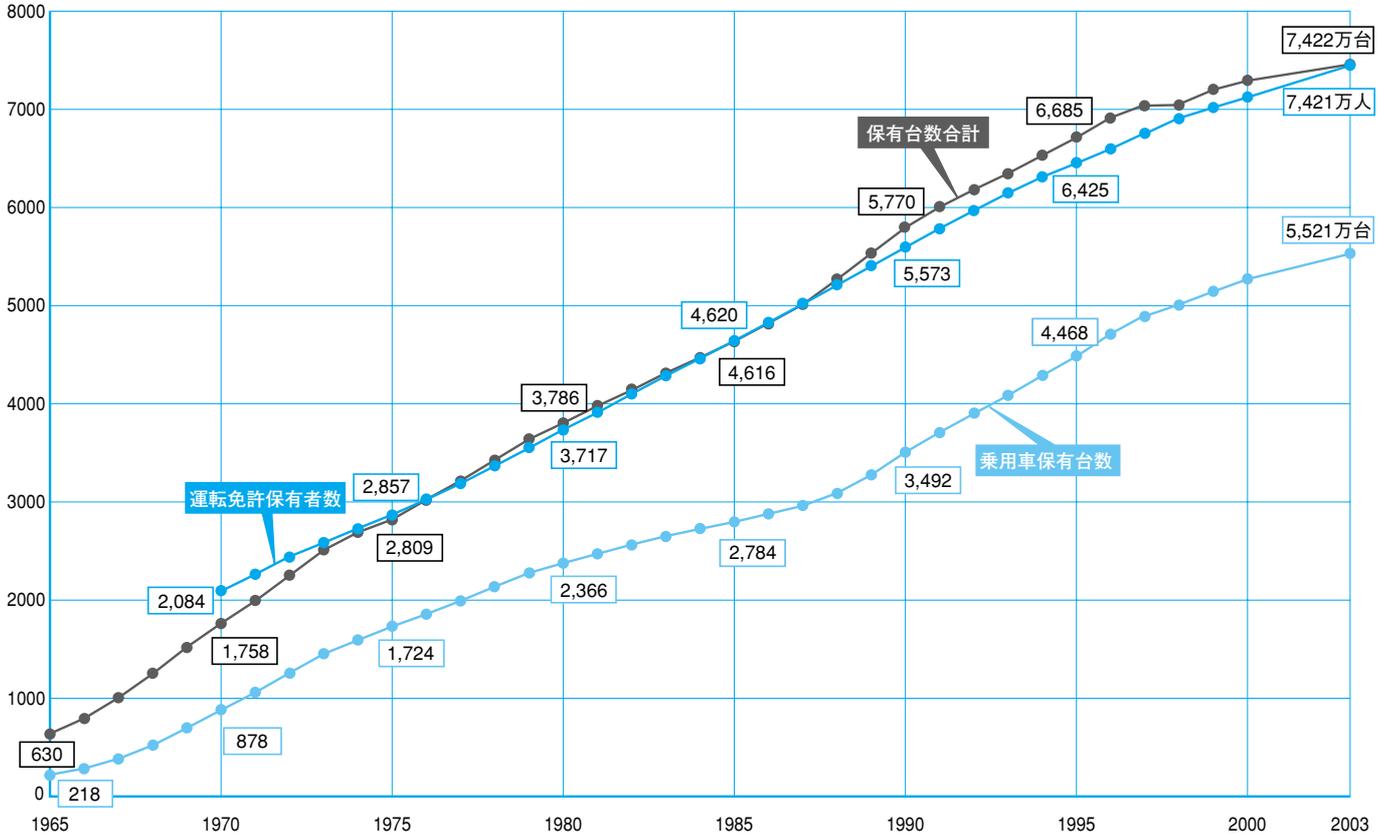
■トヨタ取り扱い輸入車登録台数の推移



注) 2002年の対象車種はVW、プロナード、ヴォルツ。
(対象車種は年度により変動あり)

資料：トヨタ自動車

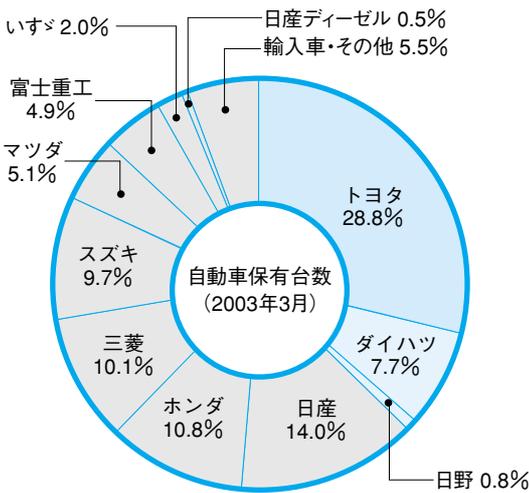
自動車保有台数と運転免許保有者数の推移



注) 各年12月末。軽自動車を含む。二輪、三輪、被けん引車を除く。
1969年以前の運転免許保有者数は不明。運転免許は大型特殊、大型特殊二種、小型特殊、けん引二種、原付、自動二輪免許を除く。

資料：日本自動車工業会、警察庁

メーカー別保有台数シェア(2003年)



注) 軽自動車、特種(殊)用途車を含む。

資料：自動車検査登録協会
全国軽自動車協会連合会

運転免許保有率(2003年)

(単位：万人)

年齢層	人口	免許保有者数	0	20	40	60	80	%
18~19	295	107			36.3			
20~24	782	616				78.8		
25~29	912	820					89.9	
30~34	969	907					93.6	
35~39	845	791					93.6	
40~44	785	713					90.8	
45~49	793	690					87.0	
50~54	1,001	800					79.9	
55~59	917	685					74.7	
60~64	830	521				62.8		
65~69	739	364			49.3			
70~74	635	245			38.6			
75歳以上	1,048	163	15.6					
全体	10,551	7,421					70.3	
内男性	5,099	4,340					85.1	
内女性	5,452	3,081					56.5	

注) 第一種の大型・普通、第二種の大型・普通の合計。

四捨五入の結果、内訳の合計は必ずしも総数と一致しない。

資料：人口は国立社会保障・人口問題研究所、運転免許保有者数は警察庁

都道府県別世帯当たり自動車保有台数(2003年) (単位:台)

順位	都道府県名	乗用車	バス・トラック	合計
1	福井	1.740	0.588	2.328
2	群馬	1.704	0.551	2.255
3	長野	1.598	0.656	2.254
4	富山	1.731	0.521	2.252
5	山形	1.632	0.620	2.251
6	岐阜	1.690	0.521	2.211
7	茨城	1.623	0.536	2.159
8	栃木	1.644	0.501	2.146
9	山梨	1.541	0.590	2.131
10	新潟	1.524	0.547	2.072
11	佐賀	1.462	0.594	2.056
12	福島	1.503	0.545	2.048
13	鳥取	1.411	0.601	2.012
14	三重	1.498	0.514	2.012
15	石川	1.529	0.442	1.971
16	滋賀	1.475	0.474	1.949
17	島根	1.362	0.582	1.944
18	静岡	1.463	0.464	1.927
19	秋田	1.369	0.551	1.920
20	岩手	1.358	0.555	1.913
21	徳島	1.345	0.564	1.909
22	岡山	1.387	0.505	1.892
23	香川	1.317	0.502	1.819
24	宮崎	1.233	0.557	1.790
25	熊本	1.266	0.500	1.766
26	愛知	1.394	0.359	1.752
27	大分	1.250	0.475	1.725
28	沖縄	1.288	0.431	1.719
29	宮城	1.309	0.408	1.717
30	青森	1.220	0.494	1.714
31	和歌山	1.184	0.518	1.702
32	山口	1.208	0.413	1.621
33	鹿児島	1.094	0.519	1.614
34	高知	1.058	0.509	1.567
35	愛媛	1.095	0.468	1.564
36	奈良	1.158	0.329	1.487
37	広島	1.122	0.353	1.474
38	福岡	1.112	0.343	1.455
39	長崎	1.046	0.407	1.453
40	北海道	1.061	0.309	1.370
41	埼玉	1.100	0.259	1.360
42	千葉	1.076	0.281	1.356
43	兵庫	0.978	0.275	1.253
44	京都	0.929	0.280	1.209
45	神奈川	0.838	0.175	1.013
46	大阪	0.741	0.225	0.966
47	東京	0.561	0.147	0.708
	全国	1.121	0.354	1.475

注) 保有は二輪・三輪被けん引・特種(殊)車を除く。
 全世帯数は 49,260,791 世帯

資料: 保有台数は自動車検査登録協会、世帯数は総務省

世帯当たり自動車保有率 (単位:%)

	乗用車			トラック・バンのみ
	乗用車のみ	トラック・バンと併用		
1993年	72.0	56.4	15.6	5.7
1995年	75.0	60.5	14.5	4.7
1997年	76.9	64.1	12.8	4.1
1999年	78.6	63.2	15.4	3.5
2001年	79.0	64.6	14.4	3.7
2003年	79.2	67.5	11.7	3.3

注) 1. 日本自動車工業会アンケート調査による。
 2. 例えば、2003年は79.2%の世帯が乗用車を保有(複数保有を含む)していることと答えたことを示す。

資料: 日本自動車工業会

乗用車の平均車齢と平均使用年数 (単位:年)

	1999	2000	2001	2002	2003
平均車齢	5.60	5.84	6.04	6.23	6.39
平均使用年数	9.60	10.00	10.40	10.55	10.77

注) 平均車齢は新車新規登録時から各年3月末までの年数。
 平均使用年数は、新車新規登録から廃車までの期間の平均年数。
 軽自動車を除く。

資料: 自動車検査登録協会

乗用車の燃料別保有台数 (単位:台)

	1999	2000	2001	2002	2003
ガソリン	36,697,638	37,182,918	37,794,496	38,292,828	38,842,461
軽油	4,808,621	4,564,078	4,253,971	3,895,537	3,456,370
LPG	275,695	270,380	265,233	263,486	263,421
併用	368	399	208	339	448
電気	156	169	402	447	405
その他	398	37,761	50,759	75,095	1,824
合計	41,782,876	42,055,705	42,365,069	42,527,732	42,654,929

注) 軽自動車を除く。各年3月末、併用はガソリン・LPGとガソリン・灯油等の併用車。
 その他は天然ガス、灯油と燃料不明等。
 但し、ハイブリッド車は2000年からその他に分類、それ以前はガソリン車に含まれる。

資料: 自動車検査登録協会

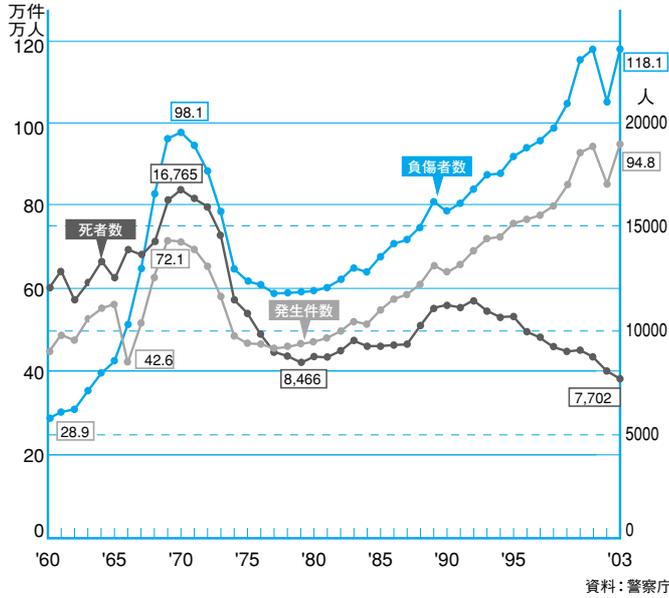
乗用車の塗色別保有台数 (単位:台、%)

塗色	2003年3月		1993年3月	
	保有台数	構成比	保有台数	構成比
白	20,553,915	48.19	21,823,152	61.94
灰	10,067,106	23.60	4,694,729	13.32
青	3,641,615	8.54	2,456,128	6.97
黒	3,169,916	7.43	2,042,017	5.80
緑	2,275,934	5.34	1,157,701	3.29
赤	1,690,209	3.96	1,687,039	4.79
茶	686,498	1.61	972,661	2.76
黄	288,128	0.68	191,438	0.54
紫	189,694	0.44	117,969	0.33
橙	87,938	0.21	85,817	0.24
その他	3,976	0.01	5,816	0.02
合計	42,654,929	100.00	35,234,467	100.00

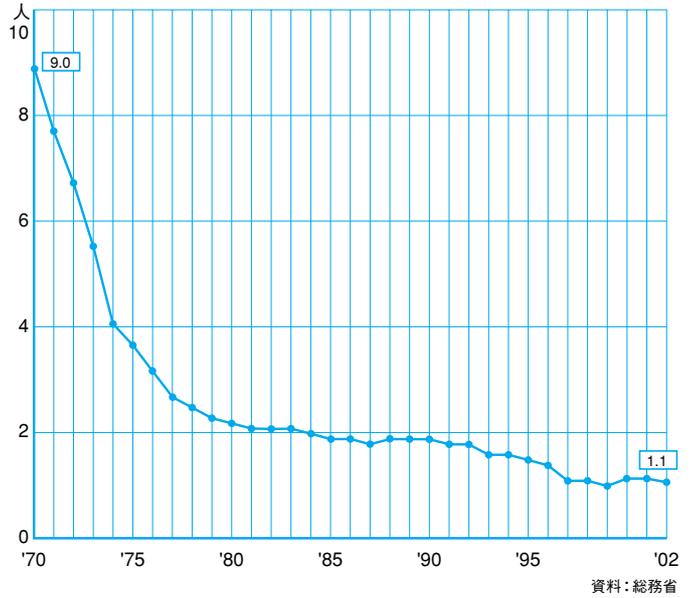
注) 軽自動車を除く。

資料: 自動車検査登録協会

交通事故発生状況の推移

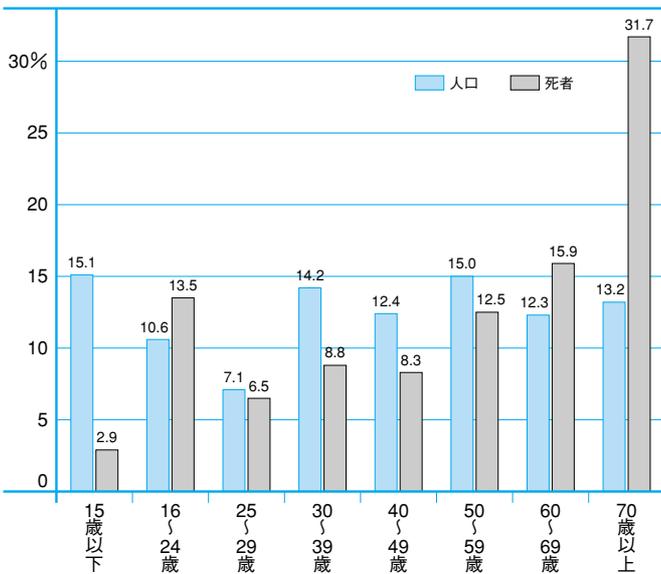


自動車1万台当たりの交通事故死者数

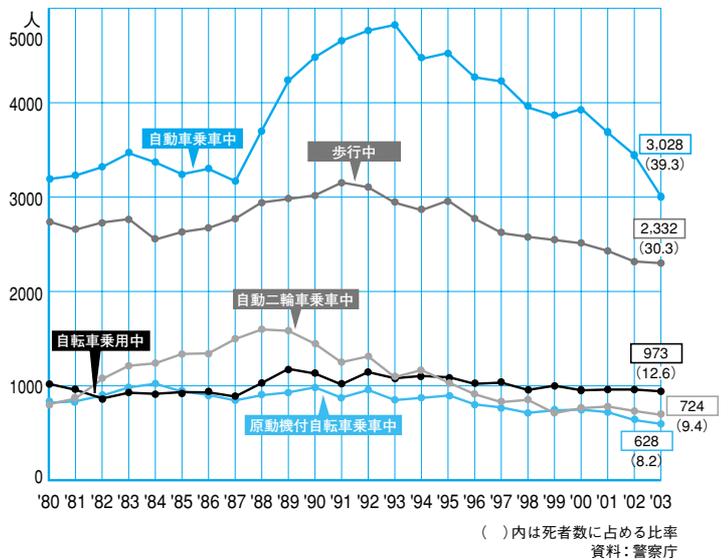


交通事故死者および人口の年齢層別構成率

(単位：%)



状態別交通事故死者数



シートベルトの効果

	死者	負傷者	合計
着用(人)	1,337	647,578	648,915
構成比 (%)	0.2	99.8	100
非着用(人)	1,973	82,189	84,162
構成比 (%)	2.3	97.7	100

注) 2002年データ。
資料：(財)交通事故総合分析センター

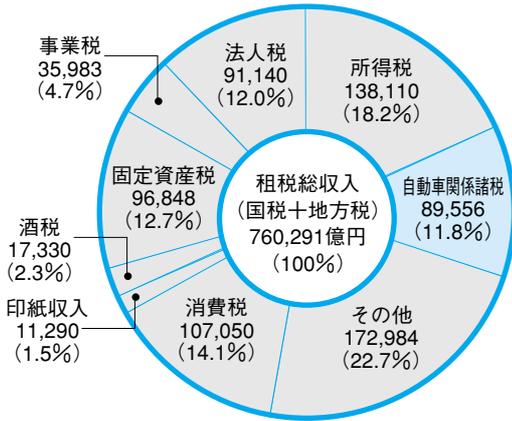
自動車乗車中死傷者(6歳未満)のチャイルドシート着用状況

	被害者数(人)			被害率(%)	
	死者数	重傷者数	軽傷者数	死亡率	死亡重傷率
着用	8	77	7,502	0.10	1.10
非着用	22	86	5,297	0.29	1.40

注) 2003年データ。
※大破事故による被害および着用・非着用不明の事故による被害を除く。
※死亡率=死者数/全死傷者数×100 (%)
※死亡重傷率=(死者数+重傷者数)/全死傷者数×100 (%)
資料：警察庁

自動車関係諸税は、1954年の道路特定財源制度導入以降、道路整備の財源として大きな役割を果たしてきました。しかし、これまで増税、新税創設が繰り返された結果、日本の自動車ユーザーは多種多様で国際的にみても重い税額を負担しています。

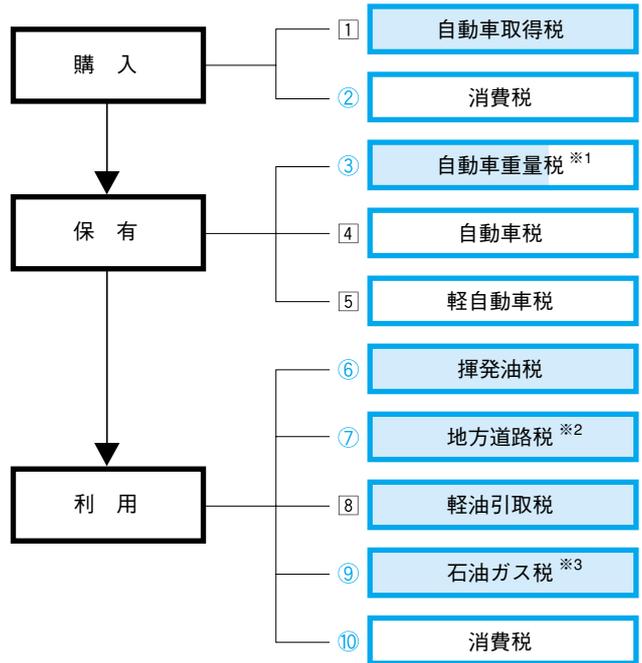
2003年度租税総収入の税目別内訳並びに自動車関係諸税の税収額（当初見積り額）



注) 1. 自動車関係諸税の消費税収は自工会推定。
2. 租税総収入内訳の消費税収は自動車関係諸税に含まれる消費税を除く。
3. 消費税収には地方消費税収を含む。

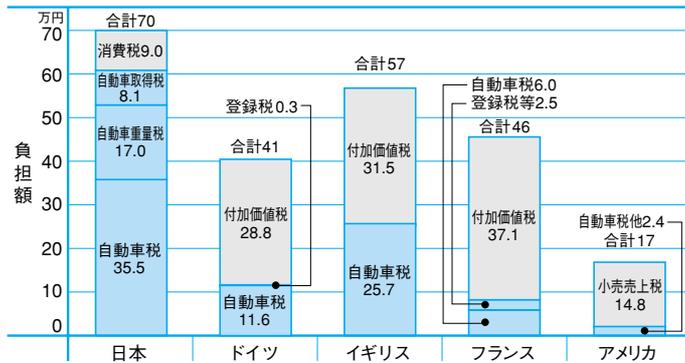
資料：財務省、総務省、日本自動車工業会

自動車をめぐる税制



日本
自動車関係税制

自動車関係諸税の国際比較



前提条件：(1) 排気量1800cc (2) 車両重量1,100kg (3) 車体価格180万円 (4) 9年間使用(平均寿命) (5) 為替レートは2002年4月～2003年2月の平均

資料：日本自動車工業会

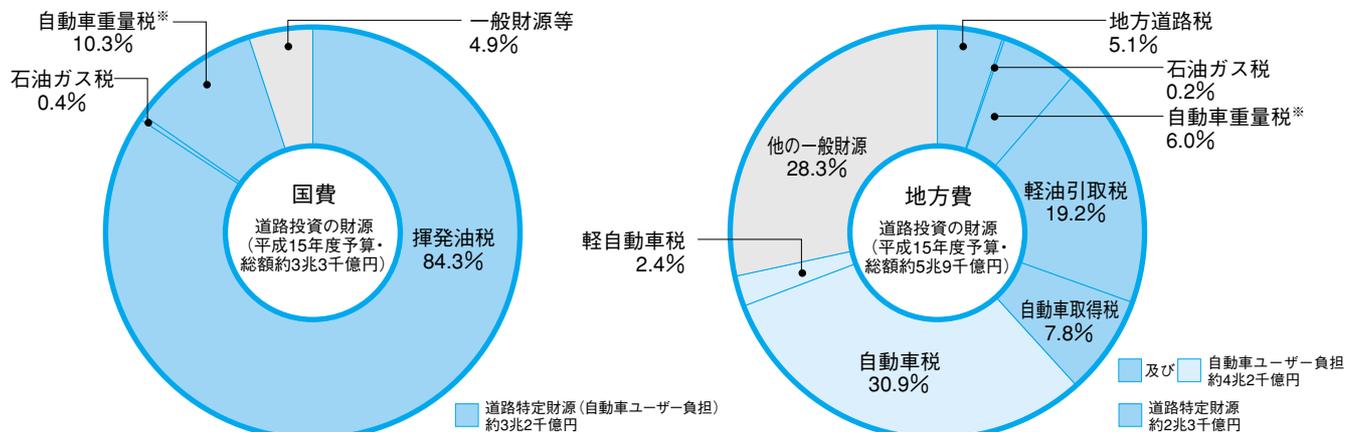
- 国税
- 地方税
- 目的税(道路整備特定財源)
- 普通税(使途が限定されない)

※1. 「自動車重量税」は国税・普通税であるが、税収の1/3(平成15年度から)は地方へ譲与され「自動車重量譲与税」(道路整備特定財源)となり、残りの約8割は道路整備に充当される。
※2. 「地方道路税」は国税であるが、税収の全額が地方へ譲与され「地方道路譲与税」となる。
※3. 「石油ガス税」は国税であるが、税収の1/2は地方へ譲与され「石油ガス譲与税」となる。

資料：日本自動車工業会

道路特定財源制度

道路特定財源制度は、受益者負担の考え方を根拠として、自動車ユーザーに対して、道路整備という特定の目的を使い道とすることを前提に、特別の負担を求めている制度のことで、

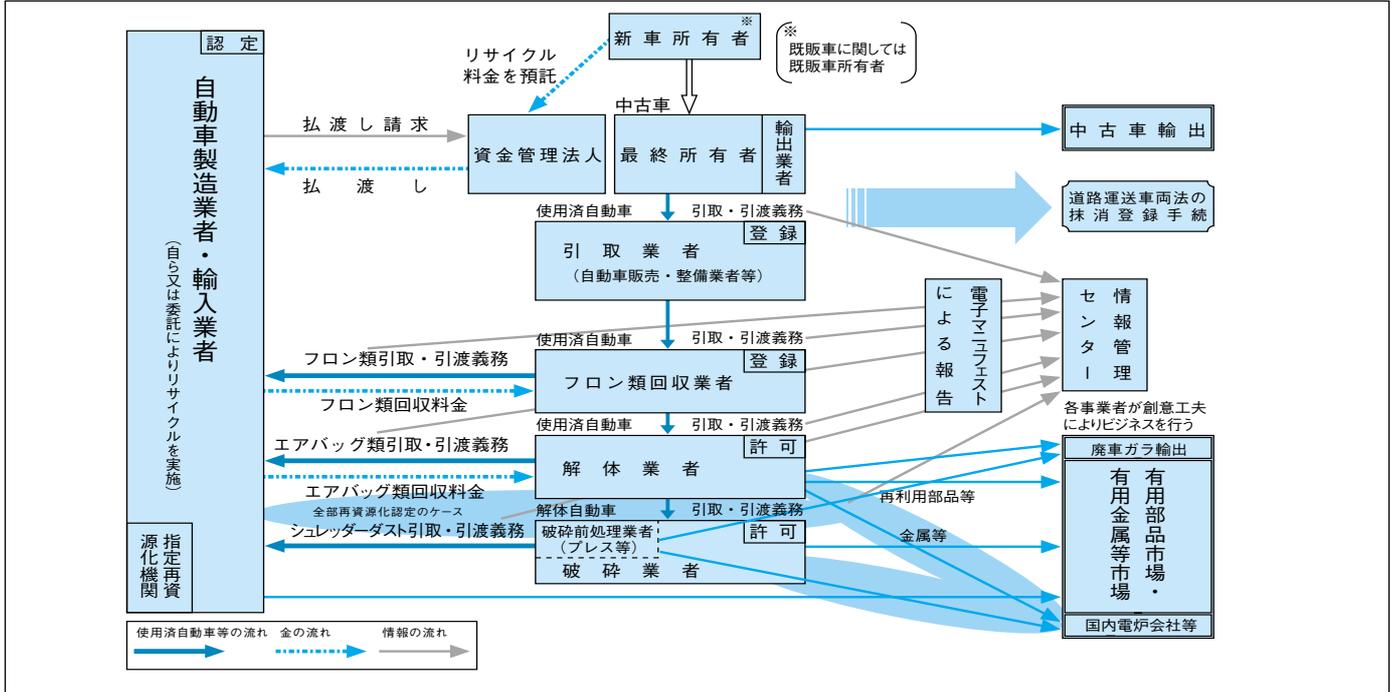


※自動車重量税の2/3は国の一般財源(ただし8割は国の道路特定財源)、1/3は地方の道路特定財源。

資料：国土交通省、日本自動車工業会

年間 500 万台にも及ぶ国内で発生する使用済み自動車の再利用は資源保護の観点からも重要な課題となっており、2005 年 1 月から自動車リサイクル法が完全施行されます。

リサイクル法概念図



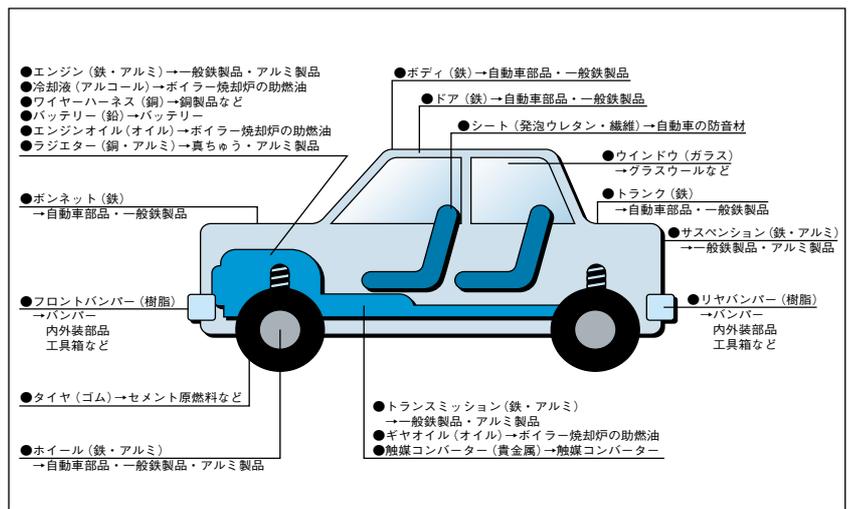
資料：経済産業省、環境省

日本自動車工業会における削減物質削減目標

削減物質	四輪車(自動車リサイクル法対象車両)の目標
鉛	2006年1月以降：10分の1以下(96年比) ただし大型商用車(バスを含む)は4分の1以下とする。 (1)削減の基準は、従来通り、1996年の1台当たりの鉛使用量代表値である1,850gとする。従って、2006年の10分の1以下は185g以下とする。 (2)バッテリーは除く。
水銀	自動車リサイクル法施行時以降：以下を除き使用禁止 <交通安全上必須な部品の極微量使用を除外とする> ・ナビゲーション等の液晶ディスプレイ ・コンビネーションメーター ・ディスプレイヘッドランプ ・室内蛍光灯 ・除外部品(極微量に含有)も、代替技術の積極的な開発を行う。
六価クロム	2008年1月以降：使用禁止 ・ボルト等の安全部分で長期使用のための防錆処理に含有。
カドミウム	2007年1月以降：使用禁止 ・電気、電子部品(ICチップ等)で、極微量に含有。

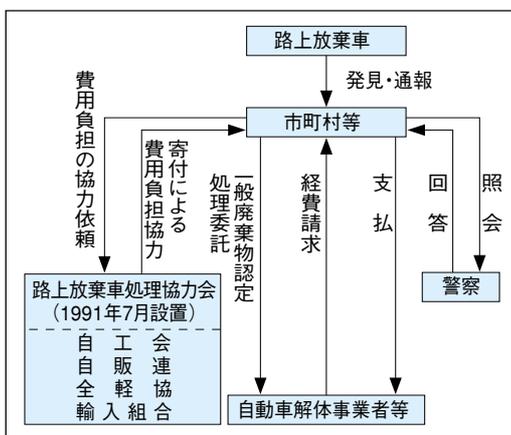
資料：日本自動車工業会

使用済み自動車のリサイクル用途



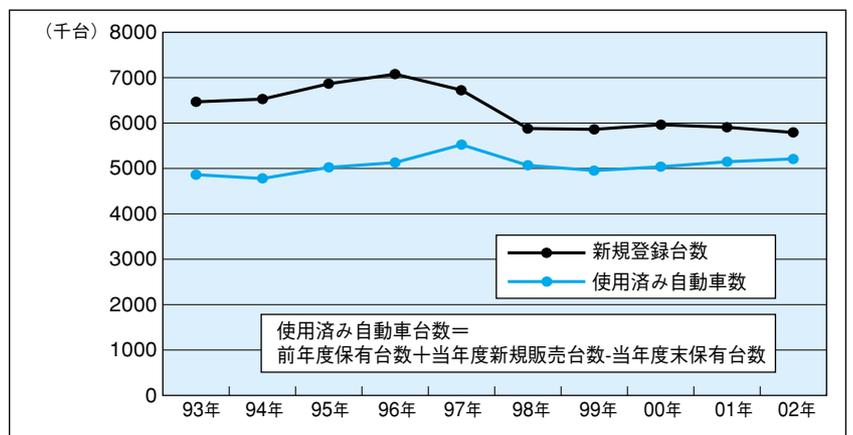
資料：日本自動車工業会

路上放棄車防止対策



資料：日本自動車工業会

使用済み自動車台数の推移



資料：日本自動車工業会、自動車検査登録協会

スピードはひかえめに。
シートベルトやチャイルドシートを忘れずに。

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
www.toyota.co.jp

発行:トヨタ自動車株式会社 広報部 発行年月:2004年4月
お問い合わせは 東京本社/広報部 Tel(03)3817-7111(代)



森林資源保護のため再生紙を使用いたしました。
Printed In Japan (420062)